

令和5年度版（令和4年度実績）

大牟田の教育

～ 教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価 ～

大牟田市教育委員会
大 牟 田 市

目 次

はじめに	1
点検及び評価の概要	1
教育委員会の活動状況	
教育委員会の概要	3
教育委員会の主な活動実績	4
活動の評価	6
教育施策の推進状況	
(教育委員会関係分)	
令和4年度大牟田市学校教育振興事業計画	
趣旨	8
令和4年度の教育委員会の方針	9
成果指標の令和4年度実績値	10
基本方針に係る成果指標の令和4年度達成状況	11
令和4年度重点事業	13
基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開	
主要施策1 ESDの推進	23
主要施策2 郷土を愛する心の育成	25
主要施策3 英語教育の充実	27
主要施策4 各学校における特色ある教育活動の推進	29
基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる	
主要施策1 確かな学力の育成	31
主要施策2 豊かな心の育成	34
主要施策3 健やかな体の育成	37
主要施策4 特別支援教育の推進	40
基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実	
主要施策1 学校再編整備の推進	43
主要施策2 安全で快適な学校施設の整備	45
基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	
主要施策1 安心して学べる学校づくり	50
主要施策2 学校・家庭・地域の連携	56
基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	
主要施策1 人権・同和教育の推進	59

(市長部局関係分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より	6 4
成果指標の令和 4 年度実績値	6 5
令和 4 年度重点事業	6 6
第 1 編第 4 章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち	
視点 1 次世代を担う子どもをはぐくむ	6 9
視点 2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり	7 9
視点 3 学習環境の整備・充実	8 2
視点 4 青少年の問題行動や悩みへの対応	8 6
その他 社会教育委員の会議	8 9
第 1 編第 5 章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち	
視点 1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり	9 2
視点 2 スポーツ活動を支える仕組みづくり	9 6
視点 3 スポーツがしやすい環境づくり	1 0 2
その他 計画の策定	1 0 4
第 1 編第 6 章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち	
視点 1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ	1 0 6
視点 2 文化芸術事業の充実	1 1 0
視点 3 文化芸術の環境づくり	1 1 4

学識経験者意見	1 1 7
---------	-------

資 料 編

歴代教育委員等	1 2 4
機構と職員数	1 2 6
教育財政	
令和 4 年度当初予算	1 2 8
令和 4 年度決算	1 2 9
教育費の当初予算・決算推移	1 3 0
各種委員会等	1 3 1
市立学校一覧	1 3 4
市立学校の通学区域	1 3 5
学校別児童生徒・教職員数	1 3 8
児童生徒数の推移	1 4 0
卒業後の状況	1 4 0
学校施設一覧	1 4 1

教育施設一覧	1 4 2
社会教育施設等の状況	
地区公民館	1 4 3
多目的活動施設リフレスおおむた	1 6 3
大牟田文化会館	1 6 6
三池カルタ・歴史資料館	1 7 0
図書館	1 7 3
スポーツ施設	1 8 1
指定・登録文化財一覧	1 8 3

はじめに

このたび、大牟田市教育委員会と大牟田市（市長の関係事務部局）は、令和４年度の本市教育行政の実績を報告書「大牟田の教育」にまとめ、この中で教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

この点検及び評価は、令和４年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」について実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価の結果を今後の教育委員会の活動や教育施策の推進に生かすとともに、本市の教育行政が、市民の皆様の御理解のもとで効果的に推進できるよう、取組の充実を目指していきます。

点検及び評価の概要

１ 点検及び評価の対象並びに実施方法

（１）「教育委員会の活動状況」の評価は、教育委員会会議の実施状況や、学校訪問、各種行事、研修会等への参加状況などの教育委員会の活動とその情報発信について実施しました。

（２）「教育施策の推進状況」の評価は、以下の方法で実施しました。

① 教育委員会関係分

ア 「令和４年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる基本方針について、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

イ 「令和４年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

② 市長部局関係分

大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

なお、市長部局関係分のうち、点検及び評価の対象となるのは、スポーツ及び文化芸術に関する事務などの市長が管理・執行する事務を除いた部分です。具体的には、６４～８５ページ、１０２ページの学校体育施設開放事業及び１０６～

109ページが対象となります。

③ 教育委員会関係分・市長部局関係分共通

令和4年度に重点的に取り組んだ事業については、個票を作成し、内容の充実を図りました。

2 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

点検及び評価の客観性の確保の観点から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項が規定する「教育に関して学識経験を有する者の知見の活用」については、教育学を専門とする大学教授に外部評価を依頼し、意見書を作成していただきました。

2〔教育委員会の活動状況〕

1 教育委員会の概要

(1) 教育委員会の位置付け

大牟田市教育委員会は、地方自治法に基づく行政委員会であり、市長から独立した執行機関として設置されています。市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の委員で構成され、本市の教育行政における重要事項や基本方針について審議決定を行っています。

(2) 教育委員会の所管事務

大牟田市教育委員会は、学校教育、社会教育、人権・同和教育等に関する事務を所管しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきH24年12月に制定した大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例により、次の事務については、H25年4月から、市長が管理し、及び執行しています。

- ・スポーツに関すること（学校における体育に関することを除きます。）
- ・文化に関すること（文化財の保護に関することを除きます。）

また、大牟田市教育委員会補助執行規程（H25年3月制定）に基づき、次の事務については、H25年4月から、市長の事務部局の職員が補助執行しています。

- ・文化財の保護及び活用に関すること
- ・社会教育の振興に関すること
- ・地区公民館、リフレスおおむた、図書館、三池カルタ・歴史資料館に関すること など

(3) 教育長の職務

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどるとともに、事務を統括し、事務局の指揮監督を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（H27年4月1日施行。以下「法改正」といいます。）により、従前の教育委員会を代表する委員長と事務局を統括する教育長が一本化された新たな教育長を置くこととなり、本市では、法改正をふまえ、H27年4月1日から新たな教育長が任命されています。

(4) 委員の職務

委員は、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行っています。また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に出席しています。このような活動を通して、教育における政治的中立性及び継続性・安定性を確保するとともに、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現を図っています。

(5) 令和4年度における教育委員会の構成（歴代委員等は『資料編』に掲載）

大牟田市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です（再任可）。教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、その職務を行います。

氏名（職名）	任期
谷本 理佐（教育長）	R3年4月1日～R6年3月31日
山本 和夫（委員、教育長職務代理者（R5年3月12日まで））	H31年3月13日～R5年3月12日 R5年3月13日～R9年3月12日
嶋田 桂子（委員、教育長職務代理者（R5年3月13日から））	R3年6月1日～R7年5月31日

氏名（職名）	任期
東 秀樹（委員）	R2 年 3 月 22 日 ～ R6 年 3 月 21 日
笹井 葉子（委員）	H30 年 6 月 1 日 ～ R4 年 5 月 31 日
木場 真帆（委員）	R5 年 6 月 1 日 ～ R9 年 5 月 31 日

2 教育委員会の主な活動実績

（１）教育委員会会議の実施

原則として、定例会は毎月 1 回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適切に審議しました。

R 4 年度は、定例会を 1 2 回、臨時会を 2 回開催しました。なお、傍聴者は 3 人でした。

開催日	会議	議案番号	議案名等
4 月 15 日	4 月定例	—	報告事項 6 件（令和 3 年度末教職員異動状況について 等）
5 月 19 日	5 月定例	1	大牟田市就学支援委員会委員の任命について
		2	大牟田市いじめ防止対策委員会委員の任命について
		3	大牟田市立学校結核対策委員会委員の任命について
		—	報告事項 5 件（令和 4 年度児童生徒数及び学級数について 等）
6 月 3 日	6 月定例	4	大牟田市社会教育委員の委嘱について
		5	大牟田市立学校通学区域審議会委員の任命について
		6	大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会委員の任命について
		7	大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会への諮問について
		—	報告事項 3 件（令和 3 年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて 等） 協議事項 3 件（令和 4 年度大牟田市一般会計補正予算（案）について 等）
7 月 13 日	7 月定例	8	大牟田市社会教育委員の委嘱について
		—	報告事項 5 件（令和 4 年度教育講座について 等） 協議事項 1 件（令和 4 年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意について）
8 月 4 日	8 月定例	9	令和 3 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和 4 年度版「大牟田の教育」）について
		—	報告事項 2 件（令和 4 年度大牟田市立小・中・特別支援学校 PTA 連合会「対市陳情」について 等）
8 月 25 日	第 1 回臨時	—	報告事項 1 件（大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について） 協議事項 1 件（令和 4 年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）

開催日	会議	議案 番号	議案名等
9月26日	9月定例	—	報告事項1件（令和4年度（後期）大牟田市就学支援委員会報告書について）
10月28日	10月定例	10	大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
		11	大牟田市立小中学校等の通学区域を定める規則の一部改正について
		12	令和5年度大牟田市事務局等職員及び教職員人事異動方針等について
		13	教職員の服務上の措置について
		—	報告事項3件（第75回はたちの集いについて 等）
11月25日	11月定例	—	報告事項4件（令和5年度児童生徒数及び学級数（推計）について 等） 協議事項1件（令和4年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
12月21日	12月定例	14	令和5年度教職員の人事について
		15	令和5年度市職員の人事について
		—	報告事項2件（学校給食週間の実施について 等）
R5年1月18日	1月定例	—	報告事項3件（令和4年度全国学力・学習状況調査結果の報告について 等） 協議事項1件（大牟田市スポーツ推進計画（案）について）
R5年2月2日	第2回臨時	—	報告事項1件（令和5年度教職員の人事について） 協議事項1件（「教育委員会だより」第23号の紙面について）
R5年2月14日	2月定例	16	大牟田市立学校管理規則の一部改正について
		—	報告事項3件（令和4年度大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会「対市陳情」に対する回答案について 等） 協議事項3件（令和5年度大牟田市学校教育振興事業計画（案）について 等）
R5年3月24日	3月定例	17	大牟田市公民館条例施行規則の一部改正について
		18	大牟田市教育委員会事務局事務分掌規則の一部改正について
		19	大牟田市教育研究所条例施行規則の一部改正について
		20	令和5年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について
		21	大牟田市文化財保護審議会委員の委嘱について
		22	大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
		23	令和5年度市職員の人事について
		—	報告事項3件（令和4年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について 等）

（２）総合教育会議への出席

法改正を受けて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長及び教育委員会で構成される大牟田市総合教育会議がH27年度に設置されました。

R4年度の会議は、10月26日に開催され、大牟田市小中一貫教育制度の取組について

協議や意見交換等が行われました。

(3) 学校訪問

学校訪問は、市立学校の学校経営、教育活動及び施設・設備等の現状を視察し、教育施策の改善に資することを目的とするもので、授業参観や学校関係者との協議等を通して、学校の教育活動全般について指導・助言を行っています。R4年度は、小学校8校、中学校3校に対して実施しました。

(4) 各種行事への出席

R4年度は、中学校卒業式、教育研究所研究報告会、成人式（本市では「はたちの集い」として実施）、スポーツ関連行事等の14行事に出席しました。

(5) 研修会等への出席

R4年度は、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、南筑後地区教育委員会連絡協議会が主催する3つの研修会に出席しました。

(6) 勉強会の開催

教育委員会会議の円滑な運営と議論の活性化に資するよう、本市の教育の主要な課題等について、必要に応じ勉強会を開催しています。R4年度は、学力向上、小中一貫教育制度、学校再編整備等の様々なテーマを設定し、延べ15回開催しました。

3 活動の評価

(1) 教育委員会会議について

大牟田市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じ開催しました。事前に送付された会議資料により理解を深めた上で会議に臨み、常に市民の視点に立って議論を行うよう留意し、教育施策の議論等においては、改善点や要望等を示しました。また、必要に応じ勉強会を開催し、事務局に説明を求め、内容の理解に努めました。

今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策等の重要な議題について積極的に情報収集を行うとともに、本市の教育の主要な課題について継続的に勉強会を開催していきます。

(2) 教育委員会会議以外の活動について

学校訪問や各種行事に出席し、関係者との協議や意見交換、情報交換等を行うことを通して、教育現場の状況の把握を行いました。

今後も、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関から積極的に情報収集を行うとともに、研修会への出席等を通じた資質の向上に努めていきます。

(3) 教育委員会活動の情報発信について

教育委員会会議の開催情報については、大牟田市教育委員会会議規則に基づき、開会の日前3日までに市庁舎掲示場に告示するとともに、教育委員会のウェブサイト上にも掲載し周知に努めました。会議は原則として公開しており、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにしています。また、ウェブサイト上で会議録を公開しています。

H27年度からは、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を持ってもらうため、「教育委員会だより」を発行しています。R4年度は7月・12月・3月の3回発行し、情報発信の充実を図りました。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(教 育 委 員 会 関 係 分)

令和 4 年度 大牟田市学校教育振興事業計画

趣 旨

- 1 本計画は、本市における令和 2 年度から 5 年度までの教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン 2020～2023」に基づく令和 4 年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するものです。
- 2 本計画は、令和 4 年度の教育委員会の方針、成果指標の令和 4 年度目標値、令和 4 年度に特に重点的に取り組む事業（以下「重点事業」といいます。）の内容等について掲載しています。

令和4年度の教育委員会の方針

1 基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる子どもたちの育成を目指します。

2 基本方針（令和4年度の実施方針）

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するとともに、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成します。

そのため、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとともに、持続可能な開発のための教育（E S D）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

さらに、災害に強い学校施設の整備や、地域と連携した防災・減災教育を進めます。加えて、学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、児童生徒の健やかな学習機会の確保に取り組みます。

目指す児童生徒の姿 「おおむたっ子」

- | | |
|-----------|----------------------|
| おお | 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒 |
| む | 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒 |
| た | たくましい心と体を備えた児童生徒 |

重点事業

- ・ 未来を創る E S D 推進事業
- ・ 小中一貫教育推進事業
- ・ 「学びに向かう力」育成推進事業
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業
- ・ 人権・同和問題啓発事業

成果指標の令和4年度実績値

1 基本方針に係る成果指標

指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	達成度 (R4年度)
将来に向けて意欲をもって取り組もうとする中学3年生の割合	将来の夢や目標を持って努力していこうという生徒の割合(中学3年生へのアンケート)	78.6%	80.0% (毎年度維持)	83.1%	103.9%

2 主要施策の成果指標

基本施策	主要施策	指標名	指標の概要	現状値 (H30年度)	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	達成度 (R4年度)
Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開	1 ESDの推進	ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	地域や世界のために頑張りたいという児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.7%	90.0% (毎年度維持)	91.2%	101.3%
	2 郷土を愛する心の育成	郷土大牟田に対する興味・関心	郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.0%	90.0% (毎年度維持)	91.4%	101.6%
	3 英語教育の充実	英語の授業の理解度	外国語科(英語科)の授業はよく分かると答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	84.2%	85.0% (毎年度維持)	86.1%	101.3%
	4 各学校における特色ある教育活動の推進	小中連携・小中一貫教育の取組実績	全小中学校において小中連携・小中一貫教育に関する事業を実施した回数の合計	62回	64回	80回	125.0%
Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる	1 確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査の標準化得点(小・中)	全国学力・学習状況調査における小・中それぞれの標準化得点(全国平均を100とする)	小:95.3 中:92.8 (R3年度)	前回調査を上回る	小の算数のみ達成	—
	2 豊かな心の育成	児童生徒の規範意識	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	95.6%	95.0% (毎年度維持)	96.8%	101.9%
	3 健やかな体の育成	体力向上のための授業以外での取組実績	児童生徒の体力向上のため、授業以外での取組を実施した学校の割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
	4 特別支援教育の推進	特別支援教育支援員の配置効果	保護者・学校へのアンケートで、特別支援教育支援員の配置効果を認める割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
Ⅲ 学校教育環境の充実	1 学校再編整備の推進	学校再編に対する地域の理解と協力	歴木中・白光中・田隈中・橘中・甘木中の5校を3校に再編することを目指し、R5年度に2つの学校再編協議会を設置(なお、もう1つはR7年度に設置)	—	—	—	—
	2 安全で快適な学校施設の整備	校舎トイレの洋式化率	市立学校の校舎トイレを洋式に改修した割合	61.5%	70.0%	70.8%	101.1%
Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	1 安心して学べる学校づくり	児童生徒の学校生活への満足度	学校に行くのは楽しいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	89.3%	90.0% (毎年度維持)	91.1%	101.2%
	2 学校・家庭・地域の連携	学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	各学校の教育活動に対し、ゲストティーチャーとして支援をいただいた保護者や地域の方の延べ人数	1,898人 (H28~30年度平均)	1,900人	1,544人	81.3%
Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	1 人権・同和教育の推進	人権尊重意識の醸成度	人権・同和教育推進のための諸事業後の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と答えた人の割合	96.5%	100% (毎年度維持)	91.0%	91.0%

基本方針に係る成果指標の令和4年度達成状況

基本方針

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するとともに、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成します。

そのため、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとともに、持続可能な開発のための教育（E S D）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

さらに、災害に強い学校施設の整備や、地域と連携した防災・減災教育を進めます。加えて、学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、児童生徒の健やかな学習機会の確保に取り組みます。

成果指標の達成状況

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来に向けて意欲を持って取り組もうとする中学3年生の割合	目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	現状値を踏まえ80%以上を目指します。 〔現状値：78.6%（H30年度実績）〕
	実績値（%）	82.6	82.8	83.1		
	達成度（%）	103.3	103.5	103.9		

指標達成度に対する要因分析

- ・本施策の成果指標の令和4年度の実績値は83.1%となり、目標を達成することができました。その要因として、次のようなことが考えられます。
- ・本市では、児童生徒が持続可能な社会の創り手となるために、「確かな学力（知）」「豊かな心（徳）」「健やかな体（体）」のバランスのとれた教育を進めており、児童生徒一人一人の興味・関心等に応じた教育活動を展開し個性や能力を伸ばしてきました。タブレット端末を活用した授業が浸透し、教育委員会は活用に向けた支援を行いました。その結果、児童生徒が個に応じた学びを深めるとともに自己のよさを様々な場面で発揮し、達成感を味わうことができたと考えられます。
- ・各学校では、児童生徒の発達段階に応じた系統的なキャリア教育に取り組んでいます。児童生徒が未知の体験や社会に関心を持ち、仲間と協働して学ぶことを通して、様々なことにチャレンジする勇氣と価値を体得し、生涯にわたって学び続ける意欲を維持する基盤をつくることができます。そのため、地域の方々と連携した「職業講話」や、「上級学校調べ」「オープンキャンパスへの参加」等の啓発的体験を行い、児童生徒が自己実現のための意欲を持つことができるようにしています
- ・SDGs未来都市として、E S D（持続可能な開発のための教育）の深化を図ってきました。各学校は、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じ、E S Dで重視する「自ら考え行動する」児童生徒の育成を目指した教育活動を展開しています。教育委員会は、各学校の支援を行う一方、学校と地域との新たな協働を支援しました。その結果、児童生徒は、仲

間と協力して学ぶことを通して非認知能力を高め、目標に向けて頑張ったことによる達成感を味わうことができたと考えられます。

今後の方向性

- ・これまでの継続的な取組の結果が令和4年度目標の達成につながったと考えられることから、今後も、知・徳・体のバランスが取れた教育を推進することにより、児童生徒が達成感を味わい、新たな目標と将来に向けた意欲を持つことができるようにします。また、児童生徒の発達段階に応じて、系統的なキャリア教育に取り組みます。
- ・児童生徒が夢や目標に向かって意欲的に学ぶ力を育成するために、地域の様々なステークホルダーと協働した啓発的体験を継続して推進し、児童生徒が自己実現のための意欲を持つことができるようにします。
- ・自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を育成するために、各学校が特色ある教育活動を展開することによって、児童生徒一人ひとりが自己のよさを発揮し、目標を持って主体的に学ぶことができるよう支援します。
- ・本施策を構成する事業の重点化を図り、効果的・効率的に取り組めます。

令和４年度重点事業

施策体系		事業名	ページ
基本施策	主要施策		
I	1	未来を創るE S D推進事業	1 4
I	4	小中一貫教育推進事業	1 6
II	1	「学びに向かう力」育成推進事業	1 8
IV	1	スクールソーシャルワーカー活用事業	2 0
V	1	人権・同和問題啓発事業	2 2

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	未来を創るESD推進事業（23ページを参照）				
	基本施策：I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開				
	主要施策：1 ESDの推進				

目的						
本市の特色あるSDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）の取組をさらに発展・拡充させ、持続可能な社会の創り手としての児童生徒の育成を目指します。また、ESDの先進都市・交流拠点都市として、SDGs／ESDを市全体に広めるとともに、「SDGs／ESDのまち・おおむた」のブランド化をさらに進めます。						
事業内容						
1 「大牟田市ユネスコスクールの日」（1月17日）の制定と「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた宣言」を記念する「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」を開催し、児童生徒による学習成果の発表や他地域の学校との交流を行います。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」の期間中に各学校が行うESDの学習発表会等を支援します。 2 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みます。 （1）各学校が行う世界遺産学習、環境学習、福祉学習、国際理解学習等の教育活動や、全国・世界のユネスコスクールとの交流活動の充実を支援します。 （2）市立学校の児童生徒を対象に、自然体験などのESD体験講座を開催し、体験を通して主体的に考え行動する態度を育成します。 3 先進的にSDGs／ESDに取り組んでいる学校の実践報告や地域、関係機関、団体等との意見交換等の機会として、「ユネスコスクール・SDGs／ESD交流会」を開催します。この交流会を通して、各学校の特色を活かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を強化し、SDGs／ESDのさらなる深化を図ります。 4 先進的にSDGs／ESDに取り組んでいる地域と交流します。 （1）国内（特に、災害からの復興に取り組んでいる地域）の教育委員会や学校との交流を進めます。 （2）国際連合大学が認定・推進する地域のESDの拠点「RCE」（Regional Centre of Expertise on ESD）として、国内及び世界のRCEとの交流を進めます。 5 市民を対象とする講座、展示会等を開催し、SDGs／ESDに対する理解を促進します。						
指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	地域や世界のために頑張りたいと答えた小学5年生と中学2年生の割合（H30年度実績・89.7%）を、毎年度90%以上を維持することを目標とします。
	実績値（%）	91.0	91.7	91.2		
	達成度（%）	101.1	101.9	101.3		

取組実績	
1 4月の定例校長会で「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」での学校の発表について周知し、発表校を募集し、小学校3校（天の原小学校・羽山台小学校・倉永小学校）と中学校1校（甘木中学校）から応募がありました。R5年1月14日（土）に大牟田文化会館でサミットを開催し、発表校の児童生徒自らが学校の取組の内容等についてステージで発表しました。また、各学校がR4年度に実践したことをパネルにまとめて展示し、参観者に紹介しました。 2 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みました。 （1）各学校は、学校や地域の特色に応じたESDのテーマを設定して特色ある教育活動を展開しました。教育委員会は、学校の要請に応じて、校内研修に指導主事を派遣し、ESDに関する理論研修や実践のポイント等についての指導助言を行いました。 （2）5月29日（日）と10月29日（土）に「ネイチャーガイドおおむた」の柿川和機さんを講師として、ESD体験講座（環境学習）「おおむたネイチャースクール in 延命公園」を開催し、それぞれ20人と9人の児童生徒が参加しました。 （3）市内の教職員を対象に「ESDマスターティーチャープログラム」を実施し、ESD推進体制を整えるとともに、指導的立場にある教職員の指導力の向上を図りました。 （4）各学校でのSDGs／ESDの実践を共有し、さらなる実践の質の向上を図るため、ESD実践事例集を作成し、関係者に配布しました。また、これらの実践は、ユネスコスクールの公式ホームページにも掲載され、全国のユネスコスクール関係者と情報共有しました。 （5）毎月、「ユネスコスクールだより」を発行し、市立学校の全職員に電子配信を行い、実践の共有やESDに関する情報提供、研修の紹介等を行いました。また、教育委員会のホームページにも掲載し、広く市民に内容を周知しました。 （6）SDGsカレンダーを作成し、各学校に配布するとともに、SDGsに関わる啓発を行いました。	

- (7) R4 年度に市立学校に教諭等として新規採用された職員及び他市町村から転入してきた職員を対象に「ESD 講座」を実施し、ESD に関する基礎的な研修を行うとともに、ユネスコスクールとしての市立学校の 10 年間の歩みについて共通理解を図りました。
- 3 8 月 20 日(土)に「ユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会」を開催しました。学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生など 108 人の参加があり、「大牟田の未来を持続可能なものにするにはどうすればよいか」という課題の解決に向けた意見交換を行いました。当日は、学校、市役所関係者、企業、各種団体等が、大牟田の未来について語り合うとともに、目指す未来に向けた取組について協議し合い、SDGs の達成を目指した ESD の充実について学び合いました。また、福岡教育大学の石丸哲史副学長により、「大牟田の SDGs/ESD これまでの成果とこれからの課題」と題して基調講演が行われました。
- 4 SDGs/ESD に取り組んでいる学校や地域との交流を進めました。
- (1) 駛馬小学校が志免町立志免中央小学校・北九州市立花尾小学校・中間市立中間東小学校と、吉野小学校が気仙沼市立鹿折小学校と、みなと小学校が天領小学校と、駛馬小学校が唐津市立東唐津小学校・糸満市立糸満南小学校・竹富町立小浜小中学校等・与論町立与論小学校等と、上内小学校が気仙沼市立唐桑小学校と、大牟田特別支援学校が新潟県見附市立見附特別支援学校と、それぞれオンラインで結んで、また、学習の成果物をお互いに送り合うなどして学校間交流を行いました。
- (2) 「RCE 大牟田」として、国内及び世界の RCE との交流を行いました。R5 年 2 月に愛知県長久手市で開催された日本国内 RCE 事務局会議に出席し、今後の交流の在り方や方向性について協議を行いました。
- 5 SDGs/ESD に対する理解促進のため、7 月 28 日(木)に中央地区公民館において、市民を対象とする講座を開催し、28 人の参加がありました。また、イオンモール大牟田において、ESD に関する展示を常時行いました。
- 6 各種団体の会合等に指導主事が随時出向き、SDGs/ESD について講話を行いました。また、校区まちづくり協議会等に指導主事が出向いて講話を行いました。
- 7 ホームページや SNS 等により、随時、本市の ESD の取組を紹介しました。
- 8 大牟田市 ESD 推進協議会と連携し、教育委員会だけではなく、広く市民及び関係団体とも連携した ESD の推進を図りました。
- 9 福岡県教育委員会や九州大学、福岡教育大学、九州地方 ESD 活動支援センターからの要請に応じて、本市の SDGs/ESD に関わる取組について紹介し、広く周知しました。
- 7 月 28 日(木)に行われた九州大学社会教育主事講習、8 月 5 日(金)に熊本市立城南中学校で行われた「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」、10 月 18 日(火)に福岡県立社会教育総合センターで行われた「社会教育×SDGs に学ぶ人づくり・地域づくりセミナー」、10 月 23 日(日)に福岡教育大学で行われた「ユネスコスクール九州・沖縄ブロック大会」において発表を行い、本市の取組を紹介しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	985 千円 千円)				985

問題点及び課題

今後は、さらに、市民団体や地元企業等と連携し、各学校が重点とする SDGs の達成を目指した ESD の充実を図っていく必要があります。また、小中一貫教育を見通した SDGs/ESD を推進するため、中学校区内の小中学校間で協議を進める必要があります。その上で、各学校の ESD をリードする教員を今後も養成する必要があります。

今後の方向性（具体策）

全ての市立小・中・特別支援学校がユネスコスクールへの加盟承認を受けて 10 年が経過しました。今後は、各学校が自校の児童生徒の実態や地域の特性を踏まえて、「大牟田版 SDGs(Ver.2)」を参考にして、学校が掲げる教育目標の達成に向けて、目指す SDGs を推進し、重点化していきます。

そのためにも、学校だけではなく、広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進し、その取組を「ユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」で共有し、学習の充実を図ります。

評 価

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、体験活動も徐々に再開され、オンライン等を併用しながら、事業を展開することができるようになりました。

R4 年度は、教育委員会が学校と様々な団体をつなぐ取組を進め、少しずつ成果も上がっています。今後も、各学校の特色を踏まえた ESD の充実を図るとともに、地域に根付いた SDGs/ESD の取組を進めていきます。

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課)

事業名	小中一貫教育推進事業（29ページを参照）				
	基本施策：I 未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開				
	主要施策：4 各学校における特色ある教育活動の推進				

目的

市立の小学校と中学校に、順次、小中一貫教育制度（原則として併設型）の導入を進め、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある指導により、児童生徒の学力向上や心身の健全な育成、「中1ギャップ」や不登校の解消を目指します。また、校区の小・中学校がより密接な関係を築き、教育内容・活動の充実を図ることで、教職員の指導力の向上を図ります。さらには、学校・家庭・地域の「つながり」を深め、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を推進します。

事業内容

- 宮原中学校区内の小・中学校（宮原中学校・駿馬小学校・天の原小学校・玉川小学校）への小中一貫教育制度の導入効果等の検証を行います（R3年度に引き続き2年目）。R4年度は、R3年度に編成した、義務教育9年間を見通した教育課程に基づき制度の試行等を行うとともに、円滑な制度導入（R5年度予定）に向けた準備を進めます。
 - 教育課程の検証と見直しを行うための検討会を開催します。
 - 外部講師を招へいし、小中一貫教育における学習内容についての拡大校内研修会を開催します。
 - 「地域とともにある学校」の実現のため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置するとともに、地域学校協働活動推進員を配置します。
 - 生徒指導面の課題への対応や家庭への支援のため、宮原中学校区に専任のスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置します。
 - 制度導入に対する理解が得られるよう、保護者、地域住民等を対象とする説明会を実施するとともに、啓発資料を作成し配布します。
- 全小中学校において、小・中学校相互の授業公開や小中学校合同による教職員研修等の小中連携・小中一貫教育の取組を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値(回)	63	63	64	65	小・中学校相互の授業公開や中学校が実施する小学校との合同研修の回数（H30年度実績値・62回）
	実績値(回)	74	77	80		
	達成度(%)	117.5	122.2	125.0		

取組実績

- R4年度は、義務教育9年間を見通した教育課程に基づき制度の試行等を行うとともに、円滑な制度導入（R5年度予定）に向け、次のことに取り組みました。
 - 義務教育9年間を見通し、系統性・連続性を重視した教育課程の編成・実施に向けた協議を行うため、月1回程度、宮原中学校区内の小・中学校（宮原中学校・駿馬小学校・天の原小学校・玉川小学校）による会議（各校の英語表記の頭文字をとって「M-HAT会議」と命名）を行いました。また、学期1回程度、宮原中学校区内で授業参観を実施し、子どもの姿を通した学習指導・生徒指導の改善に取り組んだり、中学校の教員が小学校の授業にチームティーチングのT2（全体の授業を進める役割を担う教員（T1）を補助したり、特定の子どもへの支援などを行う教員）として関わるなどにより、相互の乗り入れ授業等の内容について協議を行いました。
 - 小中一貫教育における学習内容の充実に向けて、11月17日（木）に大正小学校において、外部講師を招へいした拡大校内研修会を行いました。なお、大正小学校は、R2～4年度の3年間、市教育委員会研究指定・委嘱校として、「主体的に学び、未来を拓く子供を育てる小中一貫教育」を研究主題に、小学校と小学校、小学校と中学校をつなぐカリキュラムの工夫を通した研究を行いました。
 - 宮原中学校区内に専任の地域学校協働活動推進員を配置し、9年間を見通した教育課程編成や各小中学校区における地域と学校の協働体制の仕組みづくりを行いました。また、「地域とともにある学校」の実現のため、学校運営協議会を設置しました。
 - 宮原中学校区内に専任のスクールソーシャルワーカーを配置し、支援が必要な児童生徒や家庭に対して、各学校が連携して継続的に支援を行ったことで、不登校生徒の出現率が低下しました。
 - 宮原中学校区の保護者・地域住民等を対象とした地域説明会を5月26日（木）に実施し、制度導入について理解を図りました。また、啓発資料を作成し、関係学校等に配布しました。
- 市内の中学校区において、定期的に教職員の研修会（学力向上部会、生徒指導部会等）、合同授業研究会や児童生徒の連携による取組の交流等を実施しました。

決 算			国	県	起債	その他	一般財源
決算額	6,973	千円		476			6,947
(次年度への繰越							
千円)							
問題点及び課題							
小中学校における各教科の系統的な教科指導の充実を図る乗り入れ授業の内容や方法、中学校進学後の不登校の増加などの「中1ギャップ」の解消、生徒が自己肯定感を高めることができるような取組などを進める必要があります。							
今後の方向性（具体策）							
宮原中学校区において、R5年度から制度を本格導入し、引き続き月1回程度の「M－HAT会議」や学期1回程度の授業参観後の研修会において具体的な取組についての協議を進めます。また、児童生徒が関わり合う活動を定期的に位置付け、自主的・自発的な態度を育成します。そして、専任の地域学校協働活動推進員及びスクールソーシャルワーカーの活用により、学校と家庭・地域をつなぎ、協働体制の仕組みづくりを引き続き推進します。さらに、R5年度から、宅峰中学校区と松原中学校区において、試行的に小中一貫教育制度を導入します。							
評 価							
宮原中学校区において、小中一貫教育制度の試行を進めるとともに、学校運営協議会の設置、専任の地域学校協働活動推進員及びスクールソーシャルワーカーの活用などにより一定の成果が得られたことで、当初の計画どおり R5年度から制度を本格導入することができました。 今後も、中学校区単位での教育活動の充実を図るとともに、学校と家庭・地域のつながりを深める取組を推進します。							

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	「学びに向かう力」育成推進事業（32ページを参照）					
	基本施策：Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる					
	主要施策：1 確かな学力の育成					

目的
本市のこれまでの学力向上の取組の成果と児童生徒の学習状況等を踏まえ、さまざまな学習機会の提供や指導方法の工夫改善等を行い、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能と思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育成します。

事業内容
1 各小・中学校が放課後等を実施する補充学習「アフタースクール」や夏季休業期間中に実施する強化学習「サマースクール」に学習サポーターを派遣し、個に応じたきめ細かな指導を支援します。
2 さまざまな教科・領域における発展的・応用的な学習への関心や意欲を高める機会とするため、「学びのグランプリ」を開催し、優れた作品を制作した児童生徒を表彰します。
3 各学校や小・中連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。
4 学力向上に関する校内研修等を行う学校に「学力向上アドバイザー」を派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行います。
5 日々の授業づくりや学力向上プランの充実を図り、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるようにするため、教職員を対象とする学力向上実践報告会を開催します。

指標名	目標値等	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
全国学力・学習状況調査の標準化得点	目標値	—	—	前回調査を上回る	100 以上	小学6年生と中学3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の標準化得点（全国平均を100とする）を全国平均以上にすることを目標とします。
	実績値	—	小：95.3 中：92.8	小の算数のみ達成		
	達成度（%）	—	—	—		

取組実績
1 各小・中学校が放課後等を実施する補充学習「アフタースクール」に学習サポーターを1,765時間派遣しました。また、夏季休業期間中に実施した強化学習「サマースクール」に学習サポーターを224時間派遣しました。「アフタースクール」「サマースクール」とともに、全ての小・中学校に派遣し、派遣人数は学校の状況に応じて1又は2人でした。
2 R4年度は、学力向上のため、一人一人の児童生徒の学力実態に応じた指導に注力することとし、夏季休業期間中の「サマースクール」が基礎・基本を重視した内容となるよう各小・中学校への支援を行いました。そのため、「学びのグランプリ」は休止しました。
3 毎月11日（“いい日”）を「家庭学習の日」と定め、各中学校区単位で小学校と中学校が連携し、家庭学習強化週間を設定するなどの家庭学習習慣の定着の取組を支援しました。今後も、小中一貫教育を推進する観点から、この取組の充実を図っていきます。
4 学力向上に関する校内研修等を行う学校に「学力向上サポートチーム」を延べ54回派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行いました。また、市内小・中・特別支援学校に対して、「学校課題サポート訪問」を実施しており、全校訪問しました。
5 全小中学校の担当者が参加して、学力向上実践報告会をR5年2月24日（金）に開催しました。学力向上実践報告会では、実践発表や協議等を通して、各学校が学力向上に向けて取り組んできたことを市全体で共有し、さらなる学力向上の充実に資することができるようになりました。また、小中一貫教育を見据えて、各中学校区での学力向上に向けた協議を校区ごとに行いました。これらの発表や協議等を踏まえ、福岡県教育庁南筑後教育事務所の古賀信浩主幹指導主事より、講評とともに指導助言をいただきました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	2,019 千円 千円)		210		1,809

問題点及び課題
学力調査等において、児童生徒の国語科・算数・数学科の記述式の問題について課題があります。基礎的事項を活用して解く問題や複数の事項を関連付けて考える問題について課題があります。

今後の方向性（具体策）

R5 年度は、小・中学校が実施する補充学習や強化学習に対して、これまでのように放課後や夏季休業期間中に限定せずに「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。

「主体的・対話的で深い学び」を実践できるようにするため、各学校において教職員研修を実施し、さらなる授業改善を進めます。

小中連携を進め、中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援し、学校と家庭が連携した学力向上の取組を推進します。

評 価

指標である全国学力・学習状況調査の標準化得点で、R4 年度に R3 年度の結果を上回ったのは小学校の算数のみとなり、R4 年度目標の達成には至りませんでした。R5 年度には全国平均以上にすることを目標としており、授業改善はもとより、全ての教育活動を通した非認知能力の向上や学習習慣の定着等に向けた取組を進めます。

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課指導室)

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業（51ページを参照）				
	基本施策：Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり				
	主要施策：1 安心して学べる学校づくり				

目的

スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）が有する社会福祉の専門的知識・技術を活用して、問題を抱える児童生徒とその保護者への支援を行い、問題行動等の事案の解決や改善を図ります。また、教師の援助力の向上、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める取組等を行い、学校の相談体制を支援することで、不登校を生まない、児童生徒が安心して登校できる学校づくりを目指します。

事業内容

- 1 教育相談室にＳＳＷを配置し、関係機関とのネットワークを活用した支援や、学校、家庭等への訪問を行うなどにより、問題行動等の事案の解決や改善を図ります。また、特に複雑で深刻な事案については、大学等の高度な専門機関と連携し、その知見を活用しながら、解決や改善を目指します。
- 2 学校の相談体制の支援のため、事業の推進校1校を指定するとともに、専任のＳＳＷを配置して、次のことに取り組みます。
 - (1) 教師の対人援助力の向上や不登校の早期発見・早期対応の具体的な手立てに関する研修会を開催します。
 - (2) 教師とＳＳＷの協働による、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める授業づくりを行います。
 - (3) 個々の不登校等の事案に係る相談対応の実施や関係機関とのケース会議等を開催します。
 - (4) 児童相談所や福祉事務所等の関係機関との連携を強めるためのネットワークの構築を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
ＳＳＷが関わることで解決又は好転した事案の割合	目標値（％）	78.0	78.0	78.0	78.0	複雑かつ深刻な内容の相談や問題行動が増加する中であっても、その解決や改善に向けて取り組んでいく必要があります（H30年度実績値：78.1％）。
	実績値（％）	78.2	78.6	78.6		
	達成度（％）	100.3	100.8	100.8		

取組実績

- 1 教育相談室にＳＳＷを配置し、学校からの要請に基づいて、児童相談所や医療機関などの関係機関とのネットワークを活用した支援や、学校、家庭等への訪問を行い、問題行動等の事案の解決や改善を図りました。

特に複雑で深刻な事案については、大学などの高度な専門機関と連携（福岡県立大学の奥村賢一准教授）し、その知見を活用しながら、解決や改善を目指しました。この連携に係る研修会を7月22日（金）、10月7日（金）、12月2日（金）に実施し、それぞれ6人のＳＳＷや教育相談室員等が参加しました。

毎月第4金曜日に開かれる本市の要保護児童対策協議会「子ども支援ネットワーク実務者会議」にＳＳＷが参加し、情報共有等を図ることにより、関係諸機関との連携を進めました。
- 2 学校の相談体制の支援のため、事業の推進校に橘中学校を指定するとともに、専任のＳＳＷを配置して、次のことに取り組みました。
 - (1) ＳＳＷが講師となり、教師の対人援助力の向上や不登校の早期発見・早期対応の具体的な手立てに関する研修会を9回開催し、各回約20人の橘中学校職員が参加しました。この研修会の成果を生かして、教師が「子どもとの対話」を重視した生徒との関わり方の工夫改善に取り組んだ結果、R3年度に比べ、橘中学校の不登校生徒の出現率が低下しました。
 - (2) 教師とＳＳＷの協働による、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める体験型ワークショップを取り入れた授業づくりを11回行いました。その結果、社会参加型のプロジェクトが生まれ、子どもたち自身が、専門業者等とともに中学生の朝食向けに開発した「レジェンドバーガー」「シグナルロール」の開発を通して、子どもの思いや考えを具現化することを学ぶとともに、自ら考え決定する力を育むことができました。
 - (3) 個々の不登校等の事案について相談体制を充実させるとともに、関係機関とのケース会議等を適宜開催しました。その結果、不登校生徒全員を何らかの関係機関につなぐことができました。
 - (4) 不登校生徒児童生徒の背景は複雑化・多様化しており、個に応じた最適な支援を行うためには、児童生徒がどのような環境に置かれ、どのような支援が必要かの「見立て」が重要なポイントとなります。ＳＳＷは、市の関係部局、児童相談所や福祉事務所等の関係機関との連携を強めるためのネットワークの構築を行い、「見立て」を踏まえた最適な支援に取り組みました。
- 3 スクールソーシャルワーカースーパーバイザーを配置し、本市のＳＳＷの機能強化を図りました。
 - (1) 各ＳＳＷの職務遂行に当たり、ベテラン専門職による指導助言、及び児童生徒に対するアセスメントの妥当性について助言を受けることは、職務の継続性及び資質向上の観点から必要であることから、

月に1回、各SSWがスクールソーシャルワーカースーパーバイザー（SSWSV）からスーパービジョン（専門職育成の視点からの指導助言）を受ける機会を設定しました。

- (2) SSWSVは、SSWの人材育成に関わる研修会の企画立案及び運営を行うとともに、各SSWが一人で抱え込むことがないよう、適宜、支援を行うとともに、市内全体のケース管理を行いました。
- (3) 多様化したケース対応を速やかに行うことができるよう、教育委員会と関係機関等との連携を図りました。
- (4) 市内全体のケース管理を行う上で、潜在的ニーズの発掘、信頼関係の構築、個別案件のアセスメントは重要な業務であり、これらについて各SSWと連携した取組を行いました。
- (5) 教育委員会が主催し、8月29日(月)に実施した「生徒指導に関わる研修会」において、講師を務め、SSWとスクールカウンセラーの役割について、教職員に向けた研修を行いました。
- (6) 様々な社会資源とケースをつなぐことはもとより、社会資源を開拓しニーズを踏まえた、「子どもの居場所づくり」の支援やネットワークの構築、連携・調整を行いました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	11,051 千円 千円)		1,418		9,633

問題点及び課題

相談件数は年々増加し、相談内容も多様化・複雑化しており、様々な関係機関と連携して、よりきめ細かな対応ができるよう、相談体制の充実を図る必要があります。

また、学校現場において、R4年12月に文部科学省が公表した「生徒指導提要」（改訂版）の趣旨や内容についての研修を深め、新しい視点に立つ生徒指導の展開や「チーム学校」におけるSSWの役割に対する教職員の認識を高めていく必要があります。

「チーム学校」として児童生徒の指導にあたっていることを保護者や地域に周知するために、児童生徒と諸機関をつなぐSSWの役割について知識の普及を図る必要があります。

今後の方向性（具体策）

SSWと関係機関との更なる連携を図るとともに、拠点校型や派遣型等、児童生徒一人一人の状況に応じたきめ細かな対応ができるよう、相談体制を充実させます。

小中一貫教育推進事業で中学校区単位に配置しているSSWとの連携を図り、中学校区内の小学校と中学校に対する支援が一層円滑にできるようにします。

評 価

SSWの配置の拡充により、支援が必要な児童生徒や家庭を関係諸機関につなぐことができるケースが増え、個に応じた対応ができやすくなりました。また、SSWが常駐している学校では、児童生徒の不登校の兆候を見逃さない速やかな対応をとりやすくなってきました。これらの結果、不登校生徒の復帰率の向上が見られるようになってきました。今後も、SSWの専門的知識・技術を活用し、支援の充実を図っていきます。

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：人権・同和教育課)

事業名	人権・同和問題啓発事業（59・60ページを参照）				
	基本施策：V 人権に関する教育・啓発の推進				
	主要施策：1 人権・同和教育の推進				

目的

学校、家庭、地域、職場など日常生活のあらゆる場を通して、市民一人ひとりが人権・同和問題を自らの課題として捉え、人権・同和問題に対する理解と認識を深めながら、「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことにより、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。

事業内容

「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。

- 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）の趣旨を踏まえて、「人権・同和教育講演会」を開催します。
- 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月）の期間中に市内商業施設等において、市・県関係者、人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施します。
- 人権意識の向上のため、地区公民館等において「人権学習会」を開催します（4回を予定）。
- 職場で行われる研修会等に講師を派遣するほか、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料（DVDや図書等）の案内を行うとともに、「広報おおむた」や「愛情ねっと」等に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供の充実を図ります。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値(%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 (H30年度に実施した諸事業の参加者アンケートでの回答割合96.5%を踏まえて設定。)
	実績値(%)	93.4	93.1	91.0		
	達成度(%)	93.4	93.1	91.0		

取組実績

- 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）にあわせて、7月9日（土）に労働福祉会館において、九州大谷短期大学人権論研究会主査の組坂幸喜さんを講師に招き、「情報×人権」と題して人権・同和教育講演会を開催したところ、90人の参加があり、人権尊重意識の醸成度は95.1%でした。
- 福岡県同和問題啓発強調月間中の7月7日（木）及び人権週間の12月2日（金）に、ゆめタウン大牟田において、市長・教育長はじめ市・県関係者及び人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施しました。
- 人権・同和問題に対する正しい認識と理解を深めるため、地区公民館等の4会場において「炭鉱と人権～与論島から来て大牟田の礎を築いた人たち～」と題して人権学習会を開催したところ、111人の参加があり、人権尊重意識の醸成度は92.0%でした。
- 啓発用DVDについては貸出しを33件行い、地域や職場での研修に活用されました。また、7月の同和問題啓発強調月間の周知及び事業案内については、「広報おおむた」、市ホームページのほか、「愛情ねっと」、フェイスブックを活用し、周知・啓発を図りました。企業等の職場における研修会には、28回講師を派遣し、1,347人の参加がありました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	376 千円 千円)		183		193

問題点及び課題

人権や同和問題等に対する理解と認識を深めるためには、初めて参加する人の割合を増やすことが重要となってきます。講演会等のアンケート結果において、初めて参加した人の割合は、人権・同和教育講演会は13.8%、人権連続講座では8.3%となっており、参加者が固定化している状況が見られます。

今後の方向性（具体策）

諸事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式LINE等を活用し、民生委員・児童委員協議会等の各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

評 価

R3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため人権学習会が中止となりましたが、参加者アンケートによる醸成度については、人権・同和教育講演会や人権連続講座ともに、90%を超えており、講演会等の内容については参加者に伝わったものと思われます。

今後も、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。

基本施策Ⅰ 未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開

持続可能な社会の創り手をはぐくむ教育であるE S Dをさらに推進するほか、英語教育の充実、世界遺産学習や海洋教育の推進、I C Tの活用、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の一層の充実、学び直す教育の機会の確保などの特色ある学校教育を展開します。

主要施策1 E S Dの推進

持続可能な社会の創り手として、自分にできることについて考え、実践できる児童生徒を育成するため、ユネスコスクールである全ての市立学校において、世界遺産学習や、環境、国際理解、福祉などのE S Dを推進するとともに、市内外へのE S Dの普及・啓発に取り組みます。

【主な事業】

●未来を創るE S D推進事業〔指導室〕（14・15ページを参照）

○人と未来と世界をつなぐ海洋教育推進事業〔指導室〕

（1）海洋教育推進校が行うカリキュラム開発等の研究の支援

本市の海洋教育推進校（以下「推進校」）の公開授業に指導主事を派遣したり、学習交流会に講師を招いたりする等の支援を行いました。

（2）推進校が行う公開授業や研究成果の発信、研究紀要の作成の支援

推進校の公開授業や研究成果の発信・交流の支援や、推進校と九州・沖縄の海洋教育推進拠点の学校の児童生徒との学習成果の発表と交流を行いました。

（3）推進校と関係機関との連携の支援

推進校が行う校外学習にゲストティーチャーを紹介する等、関係機関との連携を支援しました。

（4）教職員研修会の開催

8月20日（土）に開催した「ユネスコスクール・SDGs／E S D交流会」において、「川・海の環境」をテーマの1つに設定し、教職員が市内の企業・団体、学生、市職員等の多様な参加者とワークショップを行い、子どもたちに育みたい力とそのために必要な学びなどについて協議しました。

○ユネスコスクール支援センターを活用したE S Dの推進

「ユネスコスクール支援センター」に専属職員1名を配置し、関係機関等との連携、E S Dに関する資料収集を行うとともに、各学校へユネスコスクールの情報を発信しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
E S Dを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90％以上を目指します。 〔現状値：89.7％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	91.0	91.7	91.2		
	達成度（％）	101.1	101.9	101.3		

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、SDGsの達成に貢献することを目指し、E S Dの実践事例集や指導主事の指導

助言、さらに、ユネスコスクール支援センターが提供する情報等をもとに、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じてE S Dを推進しました。1月には、E S Dの学習成果の発表の場である「ユネスコスクール・S D G s／E S D子どもサミット」や「大牟田市ユネスコスクールの日」のイベントにおいて、児童生徒は、自分たちの取組の意義やよさを実感することができました。「ユネスコスクール・S D G s／E S D子どもサミット」では、発表校の児童生徒自らが学校の取組の内容等についてステージで発表するとともに、各学校がR 4年度に実践したことをパネルにまとめて展示し、参観者に紹介しました。

また、R 4年度は、市内の教職員を対象に「E S Dマスターティーチャープログラム」を実施したことで、E S D推進体制を整えるとともに、指導的立場にある教職員の指導力の向上を図ることができました。

さらに、各学校の実践を掲載したS D G sカレンダーを作成し各校に配布するとともに、S D G sに関わる啓発を行いました。

加えて、「ユネスコスクール・S D G s／E S D交流会」では、学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生などが、「大牟田の未来を持続可能なものにするにはどうすればよいか」という課題の解決に向けた意見交換を行いました。学校、市役所関係者、企業、各種団体等が、大牟田の未来について語り合うとともに、目指す未来に向けた取組について協議し、S D G sの達成を目指したE S Dの充実について学び合い、その成果が各学校での実践に生かされました。

これらの取組を通して、児童生徒は、自分たちの取組が地域の人々やこれからの大牟田のまちづくりに役立っていることを実感でき、目標の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

全ての市立小・中・特別支援学校がユネスコスクールへの加盟承認を受けて10年が経過しました。今後は、各学校が自校の児童生徒の実態や地域の特性を踏まえて、「大牟田版S D G s（V e r．2）」を参考にして、学校が掲げる教育目標の達成に向けて、学校が目指すS D G sを推進し、重点化していきます。

そのためにも、学校だけではなく、広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進し、その取組を「ユネスコスクール・S D G s／E S D交流会」や「ユネスコスクール・S D G s／E S D子どもサミット」で共有し、学習の充実を図ります。

主要施策 2 郷土を愛する心の育成

大牟田の歴史や世界遺産をはじめとする文化遺産、地域の伝統や自然についての主体的・協働的な学習を通して、児童生徒に、郷土を愛する心や自ら課題を発見し主体的に解決する力をはぐくむとともに、社会の形成に主体的に関わろうとする心情を醸成していきます。

【主な事業】

○おおむた郷土愛育成事業〔指導室〕

（１）子ども大牟田検定（入門編・基礎編・上級編）の実施

郷土大牟田のよさを児童生徒が知ることができるよう、大牟田の自然や文化、伝統などの「大牟田の宝もの」に関する子ども大牟田検定を２回実施しました。なお、２回目は、ＱＲコードやタブレット端末を活用し、オンラインで実施しました。

また、３６０人の一般の市民（高校生を含む）も子ども大牟田検定を受検しました。

学校・学年		検定の種類	受検者数（人）	
			１回目（通算２３回目） ９月５日（月）	２回目（通算２４回目） Ｒ５年１月１３日（金）
小学校	１・２年生	入門編	—	1,607
	３～６年生	基礎編	2,477	2,482
	５・６年生の希望する者	上級編	836	762
	合 計		3,313	4,851
中学校	全学年（基礎編・上級編 のどちらかを選択）	基礎編	221	531
		上級編	1,954	1,861
	合 計		2,175	2,392

※小学校５・６年生は、基礎編・上級編のどちらか１つだけ受検できる。

○小中学生伝統文化等体験事業〔指導室〕

（１）児童生徒の伝統文化体験の支援

生涯学習課と連携し、音楽や総合的な学習の時間における伝統文化の学習において、学校へボランティア講師を派遣し、児童生徒の体験学習を支援しました。

（２）各学校の読書活動における郷土出身作家作品の紹介・奨励

各学校が実施する読み聞かせ活動や読書週間等の中で、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏の作品を取り上げ、紹介する等の取組を行うよう周知を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
郷土大牟田に対する興味・関心	目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90％以上を目指します。 〔現状値：89.0％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	92.8	90.8	91.4		
	達成度（％）	103.1	100.9	101.6		

【指標達成度に対する要因分析】

各学校では、児童生徒の発達段階を踏まえ、地域の特色に応じた郷土学習を実施しました。その中で、子ども大牟田検定の実施に向けて、「子ども大牟田検定ガイドブック」を授業や家庭学習でも取り上げたり、大牟田検定の過去の問題に取り組んだりするなどして、郷土学習の

充実を図りました。小学校低学年児童には「がんばり賞」を、小学校中学年以上の児童生徒には各検定の結果に対して認定証を発行するなどの評価を行うことで、検定を通した郷土学習への意欲付けを行いました。

その結果、児童生徒は、郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う気持ちが高まり、目標値の達成に至ることができたと考えます。また、R4年度からタブレット端末を活用した検定を取り入れ、スタディログ（学習履歴）が残るようにしました。

【今後の方向性】

今後も、子ども大牟田検定をはじめ、地域素材を教材化して、発達段階に応じた郷土学習の実施を進めていきます。また、伝統文化や本市出身の絵詞作家の作品に触れる機会の提供などを通して、さらに、郷土を愛し誇りに思う児童生徒の育成を図ります。

主要施策 3 英語教育の充実

全国に先駆けて取り組んできた本市の英語活動・外国語活動の成果を踏まえ、グローバル化の進展に対応できる人材の育成に向けて、英語教育のさらなる充実を図るとともに、市内外へ本市の取組を発信します。

【主な事業】

○英語教育のまち・OMUTA推進事業〔指導室〕

(1) 小学校の外国語科の授業の支援

英語指導のサポートを行う「イングリッシュ・アドバイザー」を小学校に派遣し、外国語科の授業を支援しました。

(2) 「英語検定チャレンジスクール」の開催

英検に関心がある児童生徒を対象に、「英語検定チャレンジスクール」を3回開催し、小学生42人、中学生22人が参加しました。

(3) 英検検定料の一部補助

小学5・6年生の英検5級受験者63人と中学2・3年生の同3級受験者48人に検定料の一部を補助しました。

(4) 「オオムタ・E1グランプリ」の開催

小中学校の英語教育の発表の場「オオムタ・E1グランプリ」の作品募集において、小学校は英語のスキット、中学校は英語のスピーチや暗唱の動画の応募があり、12月に審査・表彰を行いました。

(5) 本市の特色を活かした英語教育の実践

明治小学校・大牟田中央小学校と動物園の連携による、児童の興味関心を活かした教育を支援しました（11月）。

○外国語活動推進事業〔指導室〕

(1) 小学校へのALT・LGT、中学校へのALTの派遣

小学校にALT（外国語指導助手）やLGT（外国語講師）を、中学校にALTを派遣し、授業や教職員研修の支援を行いました。また、英語教育担当者を中心に、小学校で教科化された英語教育への対応や、小学校から中学校の英語教育への小中連携についての教職員対象の各種研修会等を開催しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値(%)	85.0	85.0	85.0	85.0	現状値を踏まえ85%以上を目指します。 〔現状値：84.2%（H30年度実績）〕
	実績値(%)	88.0	85.3	86.1		
	達成度(%)	103.5	100.4	101.3		

【指標達成度に対する要因分析】

重点事業である英語教育のまち・OMUTA推進事業の取組において、全小学校へのイングリッシュ・アドバイザーの派遣や「スーパー・イングリッシュ・スクール」に指定した明治小学校において、講師を招いて実施した拡大校内授業研修会や小中連携の研修会等により、小・中学校の英語教育の充実が図られました。また、「オオムタ・E1グランプリ」や「英語検定チャレンジスクール」の開催、英語検定受験の支援を行ったことで、児童生徒の英語学習に係る目的意識を高めることができました。

小・中学校の英語教育担当者を中心に、小中連携の各種研修会により担当者の指導力の向上が図られるとともに、小・中学校へのALTやLGTの派遣により児童生徒の英語を使う目的意識を高めることができました。

その結果、児童生徒は、英語を学習する目的意識を持つとともに、英語教育担当者の指導力の向上により授業の充実が図られ、目標値の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

小学校での英語の教科化を踏まえ、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう学習展開の充実を図ります。また、教育委員会と各学校とをつなぐイントラネット内に共有フォルダを作成し、英語教育に関する実践資料の共有化を進めるとともに、小中一貫教育を踏まえた英語教育を推進します。

主要施策 4 各学校における特色ある教育活動の推進

児童生徒の実態や地域の実情に応じ、小学校と中学校の9年間を見通した教育活動の推進や、幼稚園・保育園と小学校、中学校と高等学校の連携、ICTの活用などを通じた学ぶ力の育成など、各学校における特色ある教育活動の推進を図ります。

【主な事業】

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（16・17ページを参照）

○公立中学校夜間学級推進事業〔学校教育課〕

（1）公立中学校夜間学級（夜間中学）の調査研究

R5年2月11日（土・祝）に、他地域の夜間中学で教壇に立たれている教諭を講師に招き、夜間中学市民講演会を開催し、夜間中学に関する内容や現状について講話していただき、市民への周知を図りました。また、潜在的入学希望者の調査を行うとともに、県教育委員会と設置に向けた協議を重ねました。

○幼保・小連携の推進〔指導室〕

（1）合同研修会、学校見学、体験授業、出前授業等の実施

小学校の授業を、関係する幼稚園・保育園の職員が参観したり、園児が小学校の授業や行事等に参加したりしました。

3学期に小学校に対して、幼稚園・保育園と小学校の情報の共有についての助言等を行いました。

○中学校の部活動の活性化〔指導室〕

（1）中学校連合音楽会の開催

10月6日（木）に大牟田文化会館において、各中学校がブラスバンド演奏を行いました。

○学校ICT活用推進事業〔指導室〕

（1）ICTの活用に関する調査研究

大牟田GIGAスクール推進校に指定した銀水小学校と田隈中学校において、ICTの効果的な活用に関する先進的な研究を行い、その成果と課題を各学校で共有し、授業改善に努めました。

（2）学習者用デジタル教科書の活用

デジタル教科書（小学校全学年の国語・算数、中学校全学年の英語）を導入し、その特性を生かした授業を展開しました。

（3）教職員研修会の開催

各教科等の指導における1人1台端末環境を生かしたICTの効果的な活用等について研修会や授業公開を行い、「主体的・対話的で深い学び」の推進に努めました。

○学校ICT活用運営支援事業〔学校教育課〕

（1）各学校でのICTの活用が円滑に進むよう、業者委託により、タブレット端末等の操作支援や障害発生時の対応等（ヘルプデスク業務）を行うとともに、タブレット端末等の操作研修を実施しました。

○防災・減災教育推進事業〔指導室〕

（１）推進校における地域と連携した教育と研究

防災・減災教育推進校に指定したみなと小学校において、１１月２５日（金）に防災・減災教職員研修会を開催し、児童生徒が自ら考え、行動するための知識・技能等を身に付けたり、教職員全体で学校の安全に取り組む組織づくりや安全で安心な大牟田のまちづくりについて体験的に学ぶ機会としました。

また、みなと小学校でリーフレットを作成し、各学校へ配布し、研修の成果を広めました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値（回）	63	63	64	65	現状値を踏まえ 65 回以上を目指します。 [現状値:62回(H30年度実績)]
	実績値（回）	74	77	80		
	達成度（％）	117.5	122.2	125.0		

【指標達成度に対する要因分析】

中学校区ごとに、年間計画に基づき小中連携による全員参加の研修会や担当者による研修会が行われました。その結果、教育委員会が主催する小中合同の実践交流会において、小学校と中学校が活発に意見交換を行い、研修会が充実しました。

I C Tの活用については、先進的に研究を進めている銀水小学校において、タブレット端末等の授業での活用の仕方やI C Tを活用する効果など、理論面と実践面から小・中学校それぞれの研修会を実施したことで、研修を深めることができました。

【今後の方向性】

今後も、中学校校区ごとの研修会の定期的な実施と内容の充実を図るとともに、教育委員会が主催する各教科担当者会や教育講座等において、小中連携の視点を取り入れていきます。また、特に宮原中学校区においては、R 5 年度に小中一貫教育制度を本格的に導入し、9年間を見通した教育課程を実施していきます。

I C Tの活用については、R 3 年度から銀水小学校と田隈中学校を推進校に指定しており、引き続き実践を進めながら拡大校内研修会等を実施し、情報交換等の機会を設け、研修の充実を図ります。また、必要に応じてヘルプデスクの人材を各学校へ派遣し、授業での活用等について教職員を支援します。

基本施策Ⅱ 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる

「確かな学力（知）」、「豊かな心（徳）」、「健やかな体（体）」を児童生徒にバランスよくはぐくむとともに、その個性や能力を伸ばし、可能性を広げます。また、障害のある児童生徒一人ひとりの状態に応じ、具体的できめ細かな支援や指導の充実に努めます。

主要施策１ 確かな学力の育成

児童生徒が意欲をもって主体的に学び、基礎的・基本的な知識及び技能とそれらを活用する力を確実に身に付けることができるよう、一人ひとりの学力の状況に応じたきめ細かな指導の充実に努めます。

【主な事業】

○教育研究事業〔指導室〕

（１）国、県、市の指定研究

県、市等の研究指定校で学習指導要領の趣旨に沿った指導内容・方法に関する実践的な研究に取り組み、その結果を各学校に広げました。

市研究指定校（研究指定は３年間）

学 校 名	研 究 主 題	教科・領域等
大正小学校 （３年次）	主体的に学び、未来を拓く子どもを育てる小中一貫教育 ～小小・小中をつなぐカリキュラムの工夫を通して～	各教科等
宮原中学校区 （３年次）	小・中９か年を見通した教育課程の創造 ～志をもち自ら考え行動できる児童生徒の育成～	小中一貫教育
吉野小学校 （２年次）	持続可能な社会について自分の考えを持ち行動する児童の育成 ～３つの対話を位置づけた課題解決活動の工夫を通して～	E S D、総合的な学習の時間
田隈中学校 （２年次）	自ら考え表現できる生徒を育成する学習指導 ～ＩＣＴを効果的に位置づけた授業づくりを通して～	各教科等
白川小学校 （１年次）	目的に応じて自分の考えを明確に表現する力を高める学習指導 ～考えを可視化し、再構成する活動を通して～	各教科等
橘中学校 （１年次）	生徒一人一人の自己肯定感を高める学習活動の展開 ～ソーシャルスキルに基づいた居場所づくりを通して～	各教科等 生徒指導

（２）教育調査（標準学力検査等）

基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成と実施のため、教育調査を行いました。

①全国学力・学習状況調査

（調査対象 小６：国語・算数・理科、中３：国語・数学・理科）

②全国体力・運動能力、運動習慣等調査（調査対象 小５、中２）※本市は全学年で実施

③福岡県学力状況調査（調査対象 小５：国語・算数、中１・２：国語・数学）

④大牟田市学力状況調査

（調査対象 小３：国語・算数、中１・２：国語・社会・数学・理科・英語）

（３）教職員研修会の開催

①市教科研究委員会等の研修として、１０月に授業研究会（教育講座）を開催しました。

②市内小・中・特別支援学校の校内研修会に指導主事を派遣して、新学習指導要領に基づく学習指導について指導・助言を行いました。

③市教育研究所の教育講座は、管理職・教員を対象に以下の研修会を実施しました。

- ロイロノートの使い方 5月13日（金）
- 作文指導のコツ 5月24日（火）
- タブレットを活用した家庭学習 6月3日（金）
- 教育論文にまとめよう 6月7日（火）
- E S D（持続可能な開発のための教育）の基本的な考え 8月1日（月）
- 授業力アップ講座（小学校） 10月25日（火）、同（中学校） 11月4日（金）

④教育研究所研究員による研究について、6月に研究構想報告会、11月に中間報告会、2月に研究報告会を開催し、その成果を市内各学校へ広めました。

（4）教育論文の募集と表彰

大牟田市主催教育論文及び福岡県教育論文（教育論文、教育実践）を募集し、個人または共同研究の充実に努めています。

県論文には3件の応募があり、市論文には13件の応募がありました。R5年2月10日（金）にオンラインで表彰式を行いました。

（5）実践事例集・研究紀要の作成

学校経営、学校指導等の充実に資するため研究成果をまとめ、以下の教育資料を作成しました。

- ①教育研究所研究紀要
- ②E S D実践事例集

（6）科学技術教育振興事業

有明工業高等専門学校との連携事業に取り組み、科学技術教育の振興を図りました。

- ①小中学校対象事業（出前授業） 5講座実施
- ②教職員対象研修事業 1講座実施
- ③その他の連携 3件実施

○少人数学級編制・少人数授業推進事業〔学校教育課〕

（1）小学校全学年の35人以下学級編制

H23年度からの法に基づく小学校1・2年生の35人学級実施に伴う教員配置に加え、小学校3年生から6年生までの全学年において、県からの加配教員12人を学級担任として活用し、9校12学年で35人以下学級編制を行いました。

（2）中学校の学校実態に応じた弾力的な35人以下学級編制

中学校については、学校の実態に応じ、弾力的に35人以下学級編制を行っており、R4年度は35人以下学級編制の学校はありませんでした。

（3）少人数授業推進のための非常勤講師の派遣

小学校10校、中学校5校に習熟度別や課題別学習などの少人数授業や学校が特に学力向上を必要とする教科に非常勤講師（小学校12人、中学校6人）を派遣し、個に応じた学習指導の充実を行うことにより、学力の向上を図りました。

●「学びに向かう力」育成推進事業〔指導室〕（18・19ページを参照）

○学力向上推進事業〔指導室〕

（1）各学校の学力向上プランの促進

各学校は自校の各種調査結果を分析し学力向上プランを作成しました。各学校へ指導主事を派遣するなどして、学力向上プランの効果的な実施に向け、指導内容・指導方法・指導体制等の在り方について指導助言を行いました。

（2）自主学習サポート資料と1～4年生用教材集（国語・算数）の有効活用

国語科と算数科の教材集（1年～4年）と関連を図った自主学習用のサポート資料の有

効活用を図るために、各学校の学力向上プランへの位置づけや活用方法について、指導主事を派遣し指導助言を行いました。

(3) 研修会の実施等

県の「ふくおか学力向上推進事業」を活用し、南筑後教育事務所と連携し、学力向上に係る理論研修や授業研修において指導助言を行い、教員の学習指導力の向上を図りました。

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕

(1) 学習指導員の各学校への配置（新型コロナウイルス感染症対策）

児童生徒の「学びの保障」のため、学習指導員を各学校に1人ずつ（合計28人）配置し、補習授業の実施等、教育活動の支援を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
全国学力・学習状況調査の標準化得点（小・中）	目標値	—	—	前回調査を上回る	100以上	小学6年生と中学3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査の標準化得点（全国平均を100とする）を全国平均以上にすることを目標とします。（R3年度実績値：小95.3、中92.8）。
	実績値	—	—	小の算数のみ達成		
	達成度（%）	—	—	—		

【指標達成度に対する要因分析】

児童生徒に学力の基礎・基本を身に付けさせ、一人一人の個性や能力を伸ばすため、「学びに向かう力」育成推進事業を中心に、各事業の推進・活用を図るとともに、各種教育調査における児童生徒の学力実態を踏まえて、各学校の学力向上プランの充実を図るとともに、教職員研修を通じた指導力の向上に努めました。また、補充学習の推進のため、サマースクール及びアフタースクールに学習サポーターを派遣し、基礎・基本の確実な習得に向けた取組を行いました。さらには、少人数学級編制により、児童生徒個々の理解度や興味・関心に応じたきめ細かな指導を行ったほか、児童生徒の発言や発表の機会が増え、より積極的な授業参加が認められました。

このように学力向上の取組を進めましたが、指標である全国学力・学習状況調査の標準化得点でR4年度にR3年度の結果を上回ったのは小学校の算数のみとなり、R4年度目標の達成には至りませんでした。

【今後の方向性】

R5年度は、小・中学校が実施する補充学習や強化学習に対して、これまでのように放課後や夏季休業期間中に限定せずに「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。

「主体的・対話的で深い学び」を実践できるようにするため、各学校において教職員研修を実施し、さらなる授業改善を進めます。

小中連携を進め、中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援し、学校と家庭が連携した学力向上の取組を推進します。

主要施策 2 豊かな心の育成

規範意識や他人を思いやる心情、自然や文化を大切に思う心情や豊かな情操をはぐくむため、道徳教育をはじめ、読書活動や各種体験活動などの充実に取り組みます。

【主な事業・取組】

○道徳教育の充実〔指導室〕

各学校では、道徳教育は、各学校の年間指導計画に基づき、全教育活動を通して行っています。その際、副読本や福岡県の人権教育指導資料「かがやき」、「あおぞら」の活用等の工夫をしながら実施することを指導しました。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕

（１）児童会・生徒会リーダーミーティングでの各学校の取組の交流等

７月から８月にかけて、中学校区単位で１回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」を開催し、児童会・生徒会の代表児童生徒が、挨拶運動やメルシーアーチに係る取組の交流や「思いやり・親切」についての意見交換を行いました。２回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」も中学校区単位で１２月から１月上旬に開催し、各学校の８月以降の児童生徒主体の「思いやり・親切」に係る取組の交流と１月以降の取組についての話し合いを行いました。

（２）標語・ポスターの募集と表彰

友だちを大切にする標語とポスターを各学校に募集し、応募された作品の審査を９月下旬に行い、優れた作品を表彰しました。

（３）児童会・生徒会が中心となって取り組む広報活動

各学校では、１月から２月にかけて、児童会・生徒会による自校の「思いやり・親切」取組を紹介するチラシやポスターを作成し配布しました。

○読書活動推進事業〔指導室・学務課〕

（１）読書感想文コンクールの実施〔指導室〕

児童生徒の読書活動を推進する取組の一つとして、読書感想文コンクールを行いました。自由図書部門と併せ、Ｈ２９年度から引き続き、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏にちなんで「内田麟太郎部門」を設けました。Ｒ４年度の応募の状況は、自由図書部門と内田麟太郎部門を合わせて、小学校３５９点、中学校４３点、合計４０２点でした。３月に読書感想文の優秀作品を冊子にまとめ、各学校や入選した児童生徒等に配布しました。

（２）学校図書館への司書配置の充実〔学務課〕

読書活動の推進をはじめとする学校図書館機能の更なる充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、司書の資格又は司書教諭の資格を有する者をＨ２８年度から計画的に各小中学校に配置しています。Ｒ４年度は２校（銀水小学校及び甘木中学校）に配置しました。

○児童生徒の作品展〔指導室〕

（１）理科展

夏休みの自由研究として小・中・特別支援学校から昆虫植物採集・理科作品研究物等の中から優れた作品が出品され、９月８日（木）～１４日（水）にエコサルクセンターにおいて理科展を開催しました。小学校３２７点、中・特別支援学校１５３点、合計４８４点の出品がありました。

(2) 小・中・特別支援学校合同作品展

各小・中学校から絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品が、特別支援学校から児童生徒が日常の学習で制作した作品や日常生活の写真等が出品され、R5年2月17日（金）～20日（月）に大牟田文化会館において作品展を実施しました。

○自然体験・社会体験授業の充実〔指導室〕

(1) 野外活動宿泊体験、職場体験等の実施

小学校全校において、7月から8月にかけて野外活動宿泊体験学習を実施しました。また、特別支援学校は、高等部で野外活動宿泊体験学習を実施しました。

中学校における職場体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所等での職場体験は行わず、学校に来ていただいて講話等を実施しました。

○非行防止教室推進事業〔指導室〕

(1) 万引き防止、薬物乱用防止教室等の全校での実施

規範意識の醸成のため、各学校において外部指導者を活用し、非行防止教室として、万引き防止教室、シンナー薬物乱用防止教室、情報モラル学習等に取り組むよう指導助言を行いました。

(2) 携帯電話やスマートフォンの使用に関する指導の充実

4月と7月の校長会で、H27年11月に策定された大牟田市「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」について再周知し、学校を通して保護者等への啓発を図りました。

11月に携帯電話やスマートフォンの使用に関する啓発資料を学校へ配布し、児童生徒並びに保護者等への啓発を行いました。

○早期教育相談事業〔指導室〕

(1) 早期教育相談連絡協議会の開催等

4月に早期教育相談の啓発チラシを作成・配布し、幼稚園や児童福祉施設等の関係機関・団体を通して保護者への啓発を行いました。

学識経験者や関係機関・団体で構成する早期教育相談連絡協議会について、5月30日（月）にR4年度1回目の会議を開催し、情報の共有を行いネットワークの強化を図りました。R5年2月21日（火）に2回目の会議を開催し、R4年度の取組の振り返りと次年度の計画について協議を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の規範意識	目標値（％）	95.0	95.0	95.0	95.0	現状値を踏まえ 95％以上を目指します。 〔現状値：95.6％（H30 年度実績）〕
	実績値（％）	95.5	95.2	96.8		
	達成度（％）	100.5	100.2	101.9		

【指標達成度に対する要因分析】

「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業により、児童生徒が児童会・生徒会を中心に、主体的に楽しい学校・いじめのない学校づくりのための取組を考え、行動する姿が見られるようになりました。また、道徳教育や各種体験活動など豊かな心の育成に係る各種事業の推進により教師と児童生徒、児童生徒相互の共感的理解が進みました。これらの事業を通して、

学校生活における支持的風土が高まりました。その結果、今まで以上に周りの友達やよりよい学校づくりのために何が大切かを考え、人の気持ちが分かる人になりたいと思う児童生徒の割合の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業の一つである児童会・生徒会リーダーミーティングの推進・充実を進めるとともに、各中学校区単位で、「思いやり・親切」に関するキャンペーンや「友だち応援隊」に係る取組の継続を図ります。また、道徳教育や各種体験活動の充実、児童生徒の作品展等の開催、非行防止教室等の実施を通して、児童生徒の規範意識を高める取組の更なる充実を進めていきます。

主要施策3 健やかな体の育成

基本的生活習慣が身に付いた心身ともにたくましい児童生徒を育成するため、学校での教育活動全体を通じて運動習慣の定着化を図るなど、体力向上に向けた取組を進めるとともに、食育、学校給食、学校保健などの取組の充実や家庭との連携を進めます。

【主な事業】

○体力向上推進事業〔指導室〕

（１）体力向上プランの促進

各学校は自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し体力向上プランを作成しました。校長会や担当者会等を通して各学校の体力向上プランの取組が組織的・効率的に実施できるよう指導助言を行いました。

（２）小学校地区競技会

① ５月にリレー大会を各学校で開催し、４・５・６年生が参加しました。

② １０月に予定していたソフトバレーボール大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区ごとの大会は実施せず、各学校で校内大会等を実施しました。

（３）中学校体育連盟の競技会

① ７月１日（金）～４日（月）に中体連夏季市内大会を市内の各会場で開催しました。

② ９月３０日（金）～１０月２日（日）に新人大会を市内の各会場で開催しました。

③ １０月１９日（水）に駅伝の市内大会を諏訪公園で開催しました。

④ １２月１４日（水）に中学校体育連盟による市内駅伝新人大会を開催しました。

○子ども大牟田体力検定推進事業〔指導室〕

（１）体力向上チャレンジカード等の活用

５月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布し、日常的に運動に取り組めるようにしました。

（２）子ども大牟田体力検定の実施

全ての学校において、年間２回（１回目：６月から１２月、２回目：１月から２月）の子ども大牟田体力検定を実施し、児童生徒の到達度合いに応じ、体力認定証を配布しました。

（３）小・中学校体育科研究会との連携

小・中学校体育科研究会と連携して、８月に全小・中学校の児童生徒の体力テストの結果（各学校５月から７月に実施）を分析し、必要に応じて９月以降の体力検定の行い方や内容を見直すとともに、２月に次年度の体力検定の行い方や種目等の検討を行いました。

○健康教育推進事業〔指導室〕

（１）エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止教育等の実施指導

各学校において、性教育・エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止等を教育課程に位置づけて実施するよう指導しました。

○食育推進事業〔学務課、指導室〕

（１）食育推進校に係る取組〔指導室〕

R４年度は玉川小学校を推進校に指定し、食育に関する理論研究や実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、「食を守る環境づくりを通して、持続可能な食への実践力を育てる食育指導」を目標に掲げ、農業体験と食文化体験を通して、教科・領域と関連させた食育を推進するとと

もに、環境と食の関連を探り、持続可能な食や環境を守る学びへと発展させる取組を実践し、R 5 年 1 月 3 0 日（月）の拡大校内研修会において、公開授業を行い、食に関する指導の研究協議を実施しました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、R 5 年 3 月に市内の各学校に配布しました。

（２）早寝早起き朝ごはん運動推進校に係る取組〔指導室〕

R 4 年度は松原中学校を推進校に指定し、早寝早起き朝ごはん運動に関する実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、生徒を対象とした食育教室、P T A 研修会、生徒会による給食残食ゼロ運動、特別活動や教科における指導に取り組みました。3 月には 1 年間の取組の成果をリーフレットにまとめ、市内の各学校に配布しました。

（３）学校給食への地場産物の使用促進と食育の啓発推進〔学務課〕

地場産物の使用促進を図るため、福岡県産や大牟田産、南関産の青果物を積極的に取り入れました。食育の啓発については、小学校の保護者に対し「もぐもぐ通信（食育通信）」と「給食だより」を交互に年 1 1 回、中学校では「食育通信」を年 1 1 回発行し、朝食の重要性や食生活に関すること、学校給食と S D G s の関わり、給食レシピの紹介などを行いました。

（４）学校給食週間等の開催〔学務課〕

学校給食週間（R 5 年 1 月 2 1 日（土）～ 1 月 2 9 日（日））では、ゆめタウン大牟田において児童生徒のポスター・標語作品展を開催しました。また、R 4 年度は農林水産課と連携し、児童生徒を対象とした学校給食レシピコンテスト（大牟田産の農作物を使ったおかず部門、高菜部門）を実施し、入賞作品は市内の協力店において販売されました。

（５）中学校給食センターを活用した食育の啓発〔学務課〕

中学校給食センターにおいて、学校給食を通じた食育の啓発を推進するため、市民の方を対象に施設見学と栄養教諭による講話を含めた給食試食会を実施していましたが、R 4 年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

○中学校給食事業〔学務課〕

（１）中学校給食センターの管理運営

学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、中学校給食センターの管理運営を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○小学校給食事業〔学務課〕

（１）直営拠点校・民間委託校併用方式の推進

学校給食法に基づき、小学校において、児童の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、直営拠点校と民間委託校による併用方式の推進を図りました。

（２）小学校給食の管理運営

各小学校の給食調理や給食室・調理機器等の管理を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○学校給食費負担軽減事業〔学務課〕

食料品の価格高騰に伴い、学校給食費の保護者負担を増やすことなく、学校給食を円滑に実施するため、食材料費の増加分の負担を支援しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
体力向上のための授業 以外での取組実績	目標値 (%)	100	100	100	100	児童生徒の体力向上のための 授業以外での取組を全ての学 校で実施します。
	実績値 (%)	100	100	100		
	達成度 (%)	100	100	100		

【指標達成度に対する要因分析】

各学校においては、児童生徒の体力の向上に向けて「1校1取組」を位置付けた体力向上プランを作成し、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じた様々な取組が実施されました。小学校では、県が実施している「スポコン広場チャレンジランキング」に参加したり、子ども大牟田体力検定推進事業の体力検定（年2回）を実施したりしました。また、中学校においては、各学校の実態に応じて、生徒会の委員会活動の一環として、休み時間に外遊びを推奨する取組を行うなど、生徒の目的意識が高まる取組がなされました。

その結果、各学校において、児童生徒が自己の体力の向上に係る目標意識を持って主体的に取り組むことができ、体力向上の取組実績の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、体力向上に向けて、授業での取組はもとより、授業以外での取組も児童生徒の発達段階や学校の実態に応じて進めていきます。そのために、各学校の体力プランの充実について指導助言を行うとともに、各取組の啓発と各競技会への支援を行います。また、健康教育や食育の充実を図ることを通して、体力向上の基盤づくりに努めていきます。

主要施策 4 特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の個別の指導計画・支援計画や指導方法などの改善・充実を図るほか、特別支援教育センターとしての特別支援学校の相談機能の充実を図ります。また、特別支援教育支援員の配置など、一人ひとりの障害の状態に応じた具体的な支援を行います。

【主な事業】

○特別支援教育支援員活用事業〔学校教育課〕

（１）要支援と判断された児童生徒への支援員の配置

就学支援委員会等により要支援と判断された全ての児童生徒 219 人に対し、小学校 19 校に 54 人、中学校 8 校に 18 人、計 72 人の特別支援教育支援員を派遣しました。きめ細かな支援を受けることで、対象児童生徒本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができました。また、保護者の介助等の軽減も図られました。

（２）校内支援体制及び支援内容の充実

全支援員を対象に、支援員の業務内容や具体的な支援の在り方などの研修会を 3 回（5 月・10 月・2 月）実施し、支援員による児童生徒の発達障害等への理解促進と個に応じた具体的な支援内容の充実に努めました。

○特別支援学校医療的ケア事業〔学校教育課〕

（１）医療的ケアを行う看護師の配置

大牟田特別支援学校の対象児童生徒 5 人に対し、3 人の看護師を配置しました。校長を中心とした医療的ケア運営委員会を毎学期 2 回開催し、主治医・指導医の指導のもと、保護者の理解も得ながら医療的ケアを行うことで、児童生徒の症状は安定し、保護者の負担も軽減されました。また、対象児童生徒の年度途中の増加に対しても対応できるよう、看護師の一定の増員も可能としました。

○教育相談事業〔指導室〕

（１）教育相談員による児童生徒の障害に関する相談への対応

教育相談室に寄せられる電話や面接での相談の中から、保護者や児童生徒の問題行動等の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関との連携を図り、教育的ニーズに対応しました。

（２）ひきこもり児童生徒訪問員による家庭訪問

不登校や引きこもりになっている児童生徒の背景に、障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関、保護者等との連携を図り、家庭訪問を実施するなど不登校等の解消に向けて対応しました。

（３）就学支援委員会の開催

在学中の児童生徒及び令和 4 年度入学児を対象に、就学支援委員会を 6 月と 9 月の 2 回開催し、医学・心理・教育の面から就学支援における教育相談を行いました。

教育相談者数

小学校	中学校	特別支援学校	入学予定児	合 計
21 人	2 人	0 人	25 人	48 人

○通級指導教室運営事業〔指導室〕

（１）専門の教職員による指導・支援

生涯学習支援センターに設置している通級指導教室で、言葉や情緒等に課題がある児童生徒に対して、個別や集団での指導を行いました。

「あじさい教室１組」への通級者	１２人（小学校：情緒）
「あじさい教室２組」への通級者	１２人（小学校：LD ^{※１} （学習障害）、 ADHD ^{※２} （注意欠陥／多動性障害））
「こすもす教室」への通級者	１１人（中学校：ADHD）
「ことばの教室」への通級者	１１人（小学校：言語）

※１：LDとは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※２：ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。

（※１、※２とも、文部科学省の資料から抜粋）

（２）保護者相談

教育相談室に寄せられる相談の中から、通級指導に関する相談について、通級指導教室担当教員が保護者からの相談に対応しました。

○交流教育推進事業【指導室】

（１）学校間交流

特別支援学校と小・中学校間の交流、小・中学校の特別支援学級間の交流など、様々な交流を行いました。

（２）市民交流「ふれあい共室」

中央地区公民館等で「ふれあい共室」を年４回開催し、障害のある子どもと障害のない子ども及びボランティア団体、福祉関係団体等の市民との交流を行いました（詳細については、生涯学習課所管「子ども交流体験事業」の「（２）交流教育地域推進事業ふれあい共室」（６９ページ）を参照）。

（３）交流教育の啓発

６月に「ふれあい共室」の参加募集を市内の全学校に配布するとともに、１月に合同作品展の広報を行いました（合同作品展はＲ５年２月１７日（金）～２０日（月）に大牟田文化会館において実施）。

○合同運動会・合同作品展の実施【指導室】

（１）特別支援学級・特別支援学校合同運動会

合同運動会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しませんでした。

（２）小・中・特別支援学校合同作品展（再掲）

（３５ページの「児童生徒の作品展」の（２）を参照）。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
特別支援教育支援員の配置効果	目標値（％）	100	100	100	100	全ての対象児童生徒について状態の改善が図られることを目指します。 [現状値:100%(H30年度実績)]
	実績値（％）	100	100	100		
	達成度（％）	100	100	100		

【指標達成度に対する要因分析】

特別支援教育支援員活用事業については、支援員の配置によって、対象児童生徒が情緒的に安定し、落ち着いた学習態度や行動へとつながり、学習効果の向上が図られたほか、学校生活での安全性の確保においても効果をあげています。また、児童生徒の人間関係作りにおいて、互いを理解し合うことができるような支援により、周囲の児童生徒も落ち着きます。さらに、担任教師も学級全体に目が行き届くようになることで、学級が落ち着き、そのような児童生徒の姿が保護者に安心感をもたらしたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、特別な支援を要する児童生徒の個別の指導計画・支援計画の作成、特別支援学校における相談活動、特別支援教育コーディネーターの育成など、学校と連携した取組を進めていきます。また、関係機関相互や専門家と連携を図り、相談体制等の充実を進めるとともに、特別支援教育に関する研修会等を開催し、各学校における児童生徒の教育的ニーズに応じた具体的な支援の実践へつないでいきます。

基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実

本市の実情に応じた活力ある学校づくりの実現のため、適正規模化と適正配置による学校再編整備を推進するとともに、多様な学習活動に対応でき、児童生徒等が安全で快適に過ごすことができるよう施設整備を図るなど、学校教育環境を充実させます。

主要施策 1 学校再編整備の推進

適正規模（適切な学級数）と適正配置（適切な通学距離・時間等）による学校再編整備（大牟田市立学校適正規模・適正配置計画）を進め、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨（せっさたくま）することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう教育環境を整備します。

【主な事業】

○学校再編整備推進事業〔学校再編推進室、学校教育課、学務課〕

（１）市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画の周知〔学校再編推進室〕

市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画の周知を図るため、小・中学生、幼稚園・保育園児の全保護者へ計画の概要版を配布するとともに、再編に係る１４小学校区のまちづくり協議会等の町内公民館や自治会へ、計画概要版の回覧依頼を行いました。

さらに、関係団体に計画の説明を行うとともに、広報おおむた、ホームページ及びFMたんととの活用など、様々な媒体等を通して周知に取り組みました。

また、小川町の通学区域の見直しについて、天領小学校の入学説明会において保護者へ丁寧な説明に努めました。

（２）市立学校適正規模・適正配置計画第２期実施計画に基づく取組

①橘・田隈・甘木中学校の再編〔学校再編推進室〕

再編に伴う橘中学校の施設整備について、地域へ説明を行いながら、関係部局等と協議を行い課題等の整理に取り組みました。

また、Ｒ５年度から取組を開始する「橘・田隈・甘木中学校」の再編に向けた準備を行いました。

②歴木・田隈・白光中学校の再編〔学校再編推進室〕

Ｒ５年度から取組を開始する「歴木・田隈・白光中学校」の再編に向けた準備を行いました。

③中学校再編に伴う施設整備（再編分）〔学務課〕

Ｒ７年度に新校となる歴木中学校の第１期工事、第２期設計と橘中学校の設計をＲ３年度からの継続事業で実施しました。

歴木中学校は、校舎管理棟の内部の工事及び校舎教室棟の内外部に係る実施設計を行いました。橘中学校は、Ｒ５年度から８年度にかけて整備を行うため、体育館、校舎等の新增築並びに既存校舎改修の基本実施設計をＲ３・４年度の継続事業で行い完了しました。

（単位：千円）

内容	事業費
学校建設事業（再編分）	212,794
橘中学校の基本実施設計 （前払い金を除く予算額をＲ３年度から通次繰越し）	6,500

④複式学級編制が発生する学校の学校再編整備の検討〔学校再編推進室、学校教育課〕

児童生徒数の推計等から、学校の小規模化が進行し、複式学級の発生が見込まれることから、適正規模・適正配置検討委員会に対し諮問を行う等、複式学級編制が発生する学校における学校再編の考え方について検討を行いました。

(3) 小規模特認校制度の運営〔学校教育課〕

上内小学校においては、H24年度から本制度を導入したことにより、H24・25年度に生じた複式学級編制は、H26年度以降は解消しています。また、R4年度は、2・3年生で複式学級の対象となりましたが、複式解消加配の教員配置により、複式学級が解消されているとともに、特色ある教育活動が展開されています。今後も、次年度入学者の児童募集について周知を図ります。

さらに、R5年度から玉川小学校においても小規模特認校制度を導入するため、入学者の児童募集について周知を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校再編に対する地域の理解と協力	目標値	—	—	—	2	適正規模・適正配置計画に基づく学校再編協議会の設置数
	実績値	—	—	—		
	達成度(%)	—	—	—		

【指標達成度に対する要因分析】

次期目標として、「R5年度に2つの学校再編協議会を設置する」ことを成果指標としています。

【今後の方向性】

市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画について、引き続き保護者や地域等に実施計画の内容の周知を行うとともに、R5年度は、R7年4月の新校開校に向け「橘・田隈・甘木中学校再編協議会」及び「歴木・田隈・白光中学校再編協議会」を設置・運営し、新校の開校に必要な事項を協議する予定です。

学校再編の実施に当たっては、保護者や地域等の理解・協力を得ることが重要であるため、丁寧な説明を行い定期的に計画の周知を行います。

施設整備について、歴木中学校は、R5年度に第2期工事を行い、並行し第3期の実施設計を進めます。橘中学校は、実施設計に基づいて、R5年度に準備工事を進め、校舎改修工事、校舎増築及び擁壁築造等工事を発注する予定です。

また、上内小学校及び玉川小学校については、小規模特認校制度の運用による複式学級を解消するため、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。小規模特認校制度を運用しても、なお複式学級の解消が困難である場合は、学校再編について改めて協議に入ることとします。

主要施策 2 安全で快適な学校施設の整備

老朽化した学校施設の長寿命化改修を行うとともに、校舎トイレの洋式化、施設のバリアフリー化などの改修を進めることにより、安全で快適な学校施設の整備を行います。

【主な事業】

○学校施設長寿命化改修事業〔学務課〕

大牟田市学校施設長寿命化改修計画に基づき、学校施設実態評価により改修が必要な施設の課題整理を行いながら長寿命化改修を行っています。

R 4 年度は、大牟田特別支援学校の校舎（鉄筋コンクリート造 3 階）、給食棟、その他外構等の実施設計を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
長寿命化改修事業	5,247

○空調設備設置事業〔学務課〕

各小・中・特別支援学校の特別教室の空調設備については、R 元年度に各学校 1 室に設置しましたが、児童生徒の健康管理と教育環境の向上の観点から、R 4 年度に中学校及び特別支援学校の未設置の特別教室に空調設備を設置しました。また、大牟田特別支援学校の体育館（アリーナ）に空調設備を設置するため、ガス空調設備に係る実施設計を行いました。

なお、小学校 9 校については、R 4 年度補正予算に計上した事業費を R 5 年度に繰り越して設置を行います。

（単位：千円）

内容	事業費
中学校特別教室空調設備設置	103,805
特別支援学校特別教室空調設備設置	3,394
大牟田特別支援学校体育館空調設備実施設計	1,210
小学校 9 校特別教室空調設備設置（R 5 年度へ予算繰越し）	110,600

○民間プール活用事業〔学校教育課〕

（1）民間プールを活用した水泳指導の実施と効果の検証

橘中学校において、全学年の体育科の水泳指導を業者に委託し、各学級 8 時間実施しました。専門のインストラクターにより、効果的かつ効率的な指導を行うことができました。

R 5 年度は、橘中学校に加えて、松原中学校の全学年の水泳指導を委託することとしており、円滑に実施できるよう、学校と委託業者の間で指導方法・内容等の密な連携を図っていきます。

○新型コロナウイルス感染症対策施設整備〔学務課〕

（1）給食室衛生環境向上、プールのトイレ水洗化、多目的トイレ設置、便器更新

給食室の衛生環境向上のため、大牟田中央小学校の厨房の適正な排水対策、配膳棚、換気フードからの塗装片落下防止等を行いました。プールのトイレ水洗化は、汲み取り式であった天の原小学校、平原小学校、高取小学校、上内小学校、手鎌小学校及び白光中学校について、洋式化更新などにより衛生面の強化を行いました。また、大牟田特別支援学校の体育館に多目的トイレを整備するとともに、旧天道小学校の給食室（厨房）であった箇所を改修し、備品等の保管倉庫を整備しました。また、H 13 年度に増築・改修した校舎の

トイレの便器等の更新を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
給食室衛生環境向上（大牟田中央小学校）	5,258
プールのトイレ水洗化（小学校）	24,763
プールのトイレ水洗化（中学校）	9,920
多目的トイレ設置（特別支援学校）	10,270
校舎便器等更新（特別支援学校）	29,621

(2) トイレ洋式化の計画的推進

校舎トイレの洋式化は、R 5 年度末の洋式化率 78% を目標に、洋式化率の低い学校や特別に要請のある学校において集中的に進めています。

R 4 年度は、更なる向上を目標に、有利な財源を活用し、中学校の再編予定校 3 校を除く学校において、学校単位での洋式化率 60% を目標に、小学校 13 校（28 か所）及び中学校 3 校（10 か所）計 38 か所を改修しました。また、体育館トイレの洋式化についても、小学校 8 校（18 か所）及び中学校 5 校（14 か所）の計 32 か所を改修し、校舎トイレと合わせて合計 70 か所を改修しました。

これにより、校舎トイレの洋式化率は、R 3 年度の 66.4% から 4.4 ポイント向上し、70.8% となりました。また、校舎、体育館、プール等を含めた全体の洋式化率は 73.9% となりました。

(単位：千円)

内容	事業費
小学校トイレ洋式化	8,738
中学校トイレ洋式化	5,995

(3) 多目的トイレ設置

避難所となっている学校の体育館等において、新型コロナウイルス感染のリスクを軽減するため、洋式化、乾式化、換気設備を付帯した多目的トイレを設置しました。対象の学校は、玉川小学校（体育館）、三池小学校（体育館）、銀水小学校（体育館）、上内小学校（校舎）であり、R 3 年度から R 4 年度に予算を繰り越して改修又は増築を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
小学校（R 3 年度から予算繰越し）	40,197

(4) 情報通信ネットワーク環境施設整備

R 2 年度から R 3 年度にかけて整備した普通教室、体育館アリーナ等の情報通信ネットワークに加え、R 4 年度は、未設置の特別教室について、各学校が選択した教室（小学校（5 室）、中学校（3 室から 9 室）、特別支援学校（9 室））に W i - F i 設備の情報ネットワークの整備を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
小学校	28,763
中学校	14,437
特別支援学校	2,677

○災害対策事業〔学務課〕

ハザードマップの冠水想定地区内にある中学校（宅峰中学校、白光中学校）の受変電設備のかさ上げ工事を行いました。また、小学校4校（中友小学校、明治小学校、白川小学校及び手鎌小学校）のかさ上げ工事と天領小学校のかさ上げ工事の実施設計については、R4年度補正予算に計上した事業費をR5年度に繰り越して行います。

（単位：千円）

内容	事業費
受変電設備のかさ上げ工事（宅峰中学校、白光中学校）	20,609
受変電設備のかさ上げ工事及び設計（R5年度へ予算繰越し）	33,700

○学校用地購入事業〔学務課〕

駿馬小学校の学校用地のうち、借用地であった馬場町48番地（211.86㎡）、49番地（386.51㎡）の合計598.37㎡を購入しました

（単位：千円）

内容	事業費
借用地購入	6,792

○災害復旧事業〔学務課〕

R3年8月11日からの大雨により発生した甘木中学校の体育館西側のブロック擁壁の破損について、R3年度の予算を繰り越して復旧工事を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
擁壁ブロック災害復旧工事 （前払い金を除く額をR3年度から予算繰越し）	21,309

7月5日早朝の大雨により発生した学校施設等の雨漏り等の復旧工事を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
小学校、中学校、特別支援学校及び中学校給食センター	12,688

○学校施設・設備改修事業〔学務課〕

（1）学校施設整備（小学校）

羽山台小学校の学校周辺のフェンスの老朽化による更新、大牟田中央小学校のシロアリ被害による復旧を行いました。駿馬小学校の防球ネット設置及び吉野小学校の体育倉庫は入札不調のため、R5年度へ予算を繰り越しました。

（単位：千円）

内容	事業費
フェンス更新（羽山台小学校）	14,484
シロアリ被害復旧（大牟田中央小学校）	4,391
防球ネット設置（駿馬小学校）、体育倉庫の改築（吉野小学校） （令和5年度へ予算繰越し）	26,600

（2）学校施設整備（中学校）

宅峰中学校の駐輪場が不足したため、上屋を増設しました。また、宮原中学校のボール

越境防止対策のため、防球ネットを設置しました。

(単位:千円)

内容	事業費
駐輪場上屋増設（宅峰中学校）	2,588
防球ネット設置（宮原中学校）	9,181

(3) 学校施設整備（特別支援学校）

大牟田特別支援学校小・中学部において、R5年度に教室が不足することが見込まれたため、多目的室を普通教室（2室）に改修しました。

(単位:千円)

内容	事業費
教室の改修（小・中学部）	9,510

(4) 学校施設・設備の維持補修

日々の小規模補修は学校現場で対応できるよう、各学校に平均82万円の予算配当を行いました。また、教育委員会事務局では、年次計画により、給食用リフトの更新（三池小）、体育館アリーナ研磨塗装（上内小学校）、プール水槽塗装（大牟田中央小学校）など、学校の安全確保と教育環境の整備に努めました。

(単位:千円)

内容	事業費
給食用リフト更新工事（三池小学校）	2,998
体育館アリーナ研磨塗装等工事（上内小学校）	3,218
プール水槽塗装（大牟田中央小学校）	5,245
校長室床改修（銀水小学校）	1,405
鉄骨階段改修（大牟田特別支援学校）	1,291
プールポンプ更新（大牟田特別支援学校）	638

(5) 机、椅子等の更新

学校毎に傷み具合などを判断し、小・中・特別支援学校全校で、児童生徒用の机194台、椅子199脚を更新しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
校舎トイレの洋式化率	目標値(%)	63.0	64.0	70.0	78.0	洋式化率が50%に満たない又は特別に要請のある学校を集中的に洋式化します。 [現状値:61.5%(H30年度実績)]
	実績値(%)	62.9	66.4	70.8		
	達成度(%)	99.8	103.8	101.1		

【指標達成度に対する要因分析】

校舎トイレの洋式化を年次計画で行い、洋式化率が60%に満たない学校や洋式化の要請のあった学校16校（38か所）と学校再編整備と合わせてR3年度から引き続いて集中的な改修を行いました。これにより、校舎トイレの洋式化率は、70.8%となりました。

【今後の方向性】

学校施設長寿命化改修事業については、学校施設長寿命化改修計画に基づき、総合計画の財政計画との整合を図りながら改修工事を進めていきます。

特別教室への空調設備の設置は、R 5 年度に小学校 9 校の設置を行う予定であり、R 6 年度に残りの小学校 1 0 校の設置を行うこととしています。

トイレの洋式化の推進については、R 3 年度末に既に当初目標の 6 6 %（R 5 年度）を達成したことから、R 4 年度の目標を 7 0 %、R 5 年度の目標を 7 8 %に改めました。今後は、学校再編整備と整合を図りながら、文部科学省が示す R 7 年度末で 9 5 %を目標とします。R 5 年度は、洋式化率が 6 5 %に満たない学校の校舎（7 0 か所）を重点的に進めます。

基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり

いじめ防止対策、不登校へのきめ細かな対応、経済的困難を抱える保護者の支援や、学校・家庭・地域の連携による児童生徒の規範意識の育成、「共に育ち、共に育てる（共育）」と「響き合って、育ち合う（響育）」の風土の醸成など、安心して学べ、地域とともにある学校づくりを進めます。

主要施策 1 安心して学べる学校づくり

「大牟田市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的に推進します。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用など、教育相談体制の充実強化を図り、不登校の未然防止や早期発見・早期対応等に取り組みます。さらには、経済的困難を抱える保護者への支援として、就学援助などを実施し、教育費負担の軽減に取り組みます。

【主な事業】

○いじめ防止対策推進事業〔指導室〕

（１）いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会の運営等

大牟田地域教育力向上推進協議会を「いじめ問題対策連絡協議会」として位置付けており、連絡協議会の中に実行委員会を組織して、年３回（６月・１０月・２月）の会議を開催し、本市のいじめの防止等に関する取組を推進しました。

また、教育委員会の附属機関として設置している「大牟田市いじめ防止対策委員会」の会議を年３回（５月・８月・２月）市のいじめ防止に係る教育委員会や学校の取組等について協議を行い、その充実に努めました。

（２）大牟田市いじめ防止基本方針の推進

いじめ防止対策推進法に基づき策定している「大牟田市いじめ防止対策基本方針」について、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ防止対策委員会等の関係機関との連携を図り、いじめ防止に関する取組の総合的な推進に努めました。

いじめの認知件数等※

区 分	R2 年度			R3 年度			R4 年度		
	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中
小学校	99	88	11	93	78	15	114	103	11
中学校	18	16	2	34	31	3	43	35	8

※各学校では、いじめの防止等に関する文部科学省の通知や「いじめ防止基本方針」の改定（H29年３月）等も踏まえ、いじめの積極的な認知に取り組んでいる。

○不登校対策事業〔指導室〕

（１）不登校対応対策会議の開催

教育委員会事務局、少年センター、子ども育成課の職員で構成する不登校対応対策会議を年４回（５月、８月、１２月、R５年２月）開催し、不登校児童生徒の現状や不登校の背景等について情報の共有を図るとともに、不登校の未然防止、早期解消に関する連携の在り方についての協議等を行いました。

不登校等の状況

区 分	R2 年度				R3 年度				R4 年度			
	不登校		学校復帰		不登校		学校復帰		不登校		学校復帰	
	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率
小学校	84	1.59%	23	27.4%	99	1.95%	45	45.4%	119	2.35%	41	34.5%
中学校	187	7.80%	48	25.7%	230	9.60%	80	34.8%	254	10.54%	107	42.1%

※不登校児童生徒の定義（文部科学省）：何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

（２）教育相談員、ひきこもり児童生徒訪問指導員の配置

生涯学習支援センター内に設置している教育相談室に、教育相談員2人、ひきこもり児童生徒訪問指導員3人を配置しました。また、スクールソーシャルワーカーも含め随時3者で連携を図り、問題の早期解決に取り組みました。

教育相談の状況

相談の内容	相 談 件 数（延べ）		
	R2 年度	R3 年度	R4 年度
学業等	2	6	0
不登校	1,430	1,762	1,785
いじめ	0	1	3
その他の学校生活	1	0	2
性格・行動	29	22	58
その他	1	7	17
合 計	1,463	1,798	1,865

ひきこもり相談の状況（延件数）

R2 年度	R3 年度	R4 年度
350	323	271

（３）適応指導教室の運営

心理的または情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のため、指導員を2名配置し、児童生徒の状況に応じて、適応指導、学習指導、教育相談等を行い、学校復帰に努めました。

適応指導教室の入級及び復帰状況

適応指導教室の状況	R2 年度	R3 年度	R4 年度
入級児童生徒数	8 人	6 人	5 人
復帰数	8 人	6 人	5 人
復帰率	100%	100%	100%

※復帰数には高校進学者を含む。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（再掲）（34ページを参照）

●スクールソーシャルワーカー活用事業〔指導室〕（20・21ページを参照）

スクールソーシャルワーカーによる相談対応状況（実件数）

R2 年度	R3 年度	R4 年度
340	308	399

○学習指導員等配置事業〔学校教育課〕

- （１）スクール・サポート・スタッフの各学校への配置（新型コロナウイルス感染症対策）
 児童生徒の「学びの保障」のため、スクール・サポート・スタッフを各学校に１人ずつ（合計２８人）配置し、学校内の消毒の実施をはじめ、教職員の業務支援を行いました。

○就学援助事業〔学務課〕

学校教育法等の関係法令及び大牟田市就学援助要綱に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助として学用品費、学校給食費、医療費等を支給しました。Ｒ４年度においては、Ｒ２年度及びＲ３年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計が急変した世帯及び令和２年７月豪雨で被災した世帯に対し、就学援助の特例措置を実施しました。

また、心身的な理由により普通教室での就学が困難な児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費補助を支給しました。

さらに、高等学校及び高等専修学校への進学に必要な入学支度金や学費の一部を貸与する「公益財団法人福岡県教育文化奨学財団」の奨学金制度の周知を図り、奨学金申請事務を行いました。

① 就学援助費 (単位：人、千円)

区 分		R2 年度	R3 年度	R4 年度
支給者数	小・中学生	1,569	1,554	1,467
	未就学児	126	132	123
支給総額		117,180	129,212	131,508
(うち国庫補助金)		(2,185)	(712)	(620)
認定率(全児童生徒数に占める支給者の割合)(%)		20.4	20.3	19.7

② R４年度就学援助費の内訳 (単位：人、千円)

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	—	—	939	13,883	528	13,593	1,467	27,476
校外活動費	—	—	(60)	213	(0)	0	(60)	213
新入学児童生徒学用品費等	—	—	(35)	1,787	(17)	1,020	(52)	2,807
修学旅行費	—	—	(188)	2,975	(172)	6,364	(360)	9,339
学校給食費	—	—	(939)	39,114	(528)	25,109	(1,467)	64,223
通学費	—	—	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オンライン学習通信費	—	—	(398)	4,467	(415)	4,910	(813)	9,377
医療費	—	—	(136)	660	(44)	324	(180)	984
新入学学用品費(入学前支給)	123	6,649	(174)	10,440	—	—	123 (174)	17,089
合 計	123	6,649	939	73,539	528	51,320	1,590	131,508

※人員の（ ）は内数。

③ R4年度就学援助費特例措置（抜粋）（単位：人、千円）

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
新型コロナウイルスの影響による家計急変	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年7月豪雨による被災	21	1,135	116	8,842	66	6,721	203	16,698

④ 特別支援教育就学奨励費（単位：人、千円）

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
支給者数	72	71	76
支給総額	2,103	2,649	3,003
（うち国庫補助金）	(1,051)	(1,324)	(1,449)

⑤ R4年度特別支援教育就学奨励費の内訳（単位：人、千円）

区 分	小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	51	304	25	178	76	482
校外活動費	(3)	6	0	0	(3)	6
新入学児童生徒学用品費等	(5)	128	(6)	174	(11)	302
修学旅行費	(11)	84	(11)	194	(22)	278
学校給食費	(50)	1,033	(25)	608	(75)	1,641
通学費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オンライン学習通信費	(30)	180	(19)	114	(49)	294
医療費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
合 計	51	1,735	25	1,268	76	3,003

※人員の（ ）は内数。

⑥ 奨学金制度の活用状況（単位：人）

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
申請者数	125	119	100
内定者数	94	94	80

○学校保健事業〔学務課〕

（１）各種健康診断事業

学校保健安全法等の関係法令に基づき、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、児童生徒及び教職員の健康診断並びに翌年度から就学を予定している幼児を対象に就学時健康診断を実施し、有所見者には、二次検査や治療の勧告を行いました。

各種健康診断受診者数（単位：人）

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
児童生徒健康診断	7,669	7,622	7,407
教職員健康診断	338	345	330
就学時健康診断	805	773	766

(2) 災害共済給付事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）が発生した場合に災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）を支給するもので、医療機関からの診療報酬請求に基づいて医療費を支給しました。

① 災害共済掛金 (単位：千円)

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
個人負担総額	2,676	2,615	2,581
市負担総額	4,539	4,581	4,483
合 計	7,215	7,196	7,064

※1人当たり災害共済掛金935円（個人負担420円、市負担金515円）。

② 災害発生件数と給付額 (単位：件、千円)

区 分	R2 年度		R3 年度		R4 年度	
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額
小学校	296	1,509	321	1,593	327	1,623
中学校	202	1,532	268	2,293	205	1,916
特別支援学校	5	32	12	83	3	10
合 計	503	3,073	601	3,969	535	3,549

○修学旅行等のキャンセル料等発生時の負担軽減〔指導室〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が修学旅行等を中止又は延期し、若しくはその旅行先を変更したことで発生するキャンセル料等の負担を軽減するため、該当する学校に補助を行いました（補助件数28件）。

○学校における感染症対策の徹底〔学務課〕

学校教育活動の着実な継続のため、各学校にマスク、アルコール消毒液、石けん液等の衛生用品等を追加配布しました。また、感染防止の徹底のため、保健室等の衛生環境の向上に必要なベッドやワゴン等の備品を設置しました。

学校で新型コロナウイルスの陽性者が確認された場合に、教室等の消毒を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の学校生活への満足度	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を踏まえ 90%以上を目指します。 [現状値：89.3% (H30 年度実績)]
	実績値 (%)	90.9	90.7	91.1		
	達成度 (%)	101.0	100.8	101.2		

【指標達成度に対する要因分析】

子どもたちが満足した学校生活を送るためには、安心できる生活環境を整えた上で、充実した教育活動を展開することが必要です。「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業における年間2回のリーダーミーティングでは、中学校区単位で取組を考えることにより、より身近な実践が行われるようになりました。小中学校の9か年を通した取組により、児童生徒の日常生活が、地域の実態をふまえた「楽しい学校・いじめのない学校」づくりとなりました。

また、「思いやり・親切」に係る標語やポスターの掲示等により、各学校の支持的風土の醸成が進みました。

その結果、児童生徒は自分たちの取組への満足感や自己有用感を体得することによって、児童生徒の良好な人間関係の構築が進み、目標の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

不登校については、要因が複雑化・多様化し学校だけでは解決困難な相談が増加しており、児童生徒の心理や家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの増員や相談員の配置時数の増加や大学等と連携した取組の充実を図ります。

今後も、小中一貫教育を見据えた「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業等における児童生徒主体の取組を推進し、いじめや不登校の早期発見・早期対応を行っていきます。また、SNSやスマートフォン、インターネットに関するいじめが増加する傾向にあるため、「大牟田市児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」の保護者等への啓発を継続して行うとともに、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ防止基本方針に係る取組を一層推進していきます。

就学援助事業については、全児童生徒数に占める支給者数の割合は約19.7%となっており、約5人に1人が対象となっている状況です。子どもの貧困対策の推進に関する法律などの関係法令の趣旨を踏まえ、今後も引き続き、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、「広報おおむた」や学校等を通じて就学援助制度の周知を図るとともに、申請手続面の負担軽減も図りながら、必要な援助を適切な時期に実施できるよう努めていきます。また、実態も考慮しながら、よりよい就学援助制度について検討していきます。さらに奨学金についても、公益財団法人福岡県教育文化奨学財団の奨学金制度のほか、家庭の状況に応じた奨学金制度等についても学校との連携のもとに周知を行うことで就学支援の充実を図っていきます。

学校保健事業については、児童生徒及び教職員等を対象とした各種健康診断事業において、有所見者に対し二次検査や精密検査の受診を勧奨することで、早期発見、早期治療を促し、児童生徒等の健康の保持増進に努めるとともに、災害共済給付事業についても、各学校と連携し災害発生時における適正な医療費等の給付に努めていきます。

主要施策 2 学校・家庭・地域の連携

大牟田地域教育力向上推進協議会との連携により、児童生徒の規範意識の育成や「共育」と「響育」の風土の醸成を推進するとともに、保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにあるユネスコスクールの体制に関する研究に取り組むなど、学校・家庭・地域の連携を推進します。

【主な事業】

○大牟田地域教育力向上推進協議会との連携〔指導室〕

- (1) 大牟田地域教育力向上推進協議会への補助金の交付
学校教育・家庭教育・地域教育の向上を目指した取組を行っている大牟田地域教育力向上推進協議会に対し、その運営及び活動を助成するため、92.3万円の補助金を交付しました。
- (2) 大牟田地域教育力向上推進大会の共催
大牟田地域教育力向上推進協議会と連携し、R5年1月28日（土）に大牟田大使で詩人の道山智之氏を講師として迎え、大牟田文化会館において大牟田地域教育力向上推進大会を開催しました。
- (3) 教育力向上に関する啓発資料の作成・配布の共同実施
教育力向上に関する啓発資料を作成し、4月に各学校から保護者に配布しました。
また、長期休業中の好ましい生活習慣等についてのチラシを作成し、2学期の終業式の日（12月23日（金））に、ゆめタウン大牟田において協議会役員が市民に配布しました。
- (4) 「ありがとうの日」の作文の募集・表彰の共同実施
毎月10日を「ありがとうの日」とし、各学校でのぼり旗を掲げました。7月の校長会において「ありがとうの日」の作文の募集について周知し、各学校において入賞者の表彰を行いました。
- (5) 中学校区教育力向上の促進
大牟田地域教育力向上推進協議会の地域部会である大牟田市中中学校区教育力向上連絡協議会が中心となり、各中学校区において、校区の実態に応じて、マナーアップ3運動「挨拶運動・環境美化運動・交通安全運動」に取り組みました。

○学校評価推進事業〔指導室〕

- (1) 学校の自己評価、結果公表に係る指導助言
各学校に対し、重点目標や教育活動全般に関する学校評価計画を立て、その評価計画に基づいて、学校の自己評価並びに結果の公表を計画的に行うよう指導しました。
各学校の評価結果（学校評価報告書）については、各学校のホームページに掲載して公表しました。
- (2) 学校関係者評価委員会の開催に係る指導助言
各学校では、学校評議員、地域代表、保護者代表、接続する関係学校代表等によって構成される学校関係者評価委員会を設置し、計画的に学校関係者評価委員会を開催しています。学校関係者評価委員会では、学校の重点目標に係る成果指標や取組指標等の設定の説明や客観的資料に基づき達成状況等の報告を行うよう指導助言を行いました。
各学校では、3学期に自校の教育活動や学校経営について自己評価を行い、学校関係者評価委員会において自己評価の結果について評価が行われました。各学校は、評価結果とそれを踏まえた改善計画を学校評価報告書としてまとめ、教育委員会に報告しました。

○学校評議員制推進事業〔学校教育課〕

学校長からの推薦を受け、小・中・特別支援学校に合計 86 人の学校評議員に委嘱を行いました。学校長が学校評議員から基本的に年 3 回の意見聴取を行う中で、専門的な識見からの考え方や地域住民・保護者の意向を学校運営に反映し、学校の課題解決に役立てるとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に関わる地域に開かれた学校づくりを推進しました。

○土曜日授業の推進〔指導室〕

(1) 学校・家庭・地域の連携の視点からの土曜日授業の推進

小学校においては、年間 5 回、中学校においては年間 3 回（各学期 1 回程度）の土曜日授業を計画的に実施し、保護者や地域への学習公開を行ったり、保護者や地域の人材を活用した多様な体験学習等を実施したりするなど、学校の教育活動の充実を推進する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数を減らしたり、保護者や地域への学習公開を制限したりする学校もありました。

○大牟田版コミュニティ・スクール推進事業〔指導室〕

(1) 推進校における学校運営協議会の運営等

大牟田版コミュニティ・スクール推進校に指定した吉野小学校の学校運営協議会において、学校運営に関する協議を行いました。（7 月・2 月）

吉野小学校に地域学校協働活動推進員を 1 人配置し、地域住民や保護者等が学校経営に参画する「地域とともにある学校づくり」を推進しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	目標値（人）	1,900	1,900	1,900	1,900	現状値を踏まえ 1,900 人以上を目指します。 〔現状値：1,898 人（H28～30 年度平均）〕
	実績値（人）	1,092	1,215	1,544		
	達成度（％）	57.5	63.9	81.3		

【指標達成度に対する要因分析】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進により、各学校並びに各中学校区の特色に応じた学校・家庭・地域が一体となった取組が展開されるとともに、各学校において、自校の教育活動に関する情報の発信や、地域や保護者の意向の学校運営への反映など、地域に開かれた学校づくりが推進され、学校教育における学校・家庭・地域の連携が充実しました。

各学校の特色ある教育活動の展開や学習環境の整備等におけるゲストティーチャーの活用については、R4 年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校教育活動への参加を控えていただいたことから目標の達成には至りませんでした。R2 年度・3 年度より参加数は増加しました。

【今後の方向性】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進による学校・家庭・地域が一体となった取組は、今後も引き続き推進します。また、学校評価推進事業の充実・推進に取り組み、各学校における開かれた学校づくりへの支援・指導を行っていきます。

学校評議員制推進事業については、学校長が、学校評議員から、地域への授業公開の在り方、

地域住民の教育活動への参加、学校行事の運営や安全管理の在り方、小中連携の方策など多岐にわたり学校運営を支援する意見をいただいております、これらの意見を参考に検討を進めていきます。

大牟田版コミュニティ・スクール推進事業については、R 3年度から、大牟田版コミュニティ・スクール推進校として吉野小学校を指定し、同校の学校運営協議会において、学校運営に関する協議を開催するとともに、地域学校協働本部において、地域学校協働活動推進員を中心に学校支援活動等についての協議・支援活動の実施などに取り組んでいます。今後、推進校での取組の成果と課題を市全体で共有し、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいきます。

基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進

市民一人ひとりが互いの人権を尊重することの重要性を認識し、人権問題に対する正しい理解を深めるため、関係機関と連携しながら人権教育・啓発活動に取り組みます。

主要施策１ 人権・同和教育の推進

学校教育活動全体を通じて、人権尊重の視点を取り入れた教育を推進し、児童生徒に偏見や差別意識をなくす意欲と実践力を涵養し、人権が尊重される社会の基礎づくりを進めます。

また、人権・同和教育研究協議会等と連携しながら、広く市民を対象に、人権についての学習活動や啓発活動を推進し、人権が尊重される社会の形成を進めます。

【主な事業】

○人権・同和教育推進事業〔指導室〕

（１）学校教育活動全体を通じた人権・同和教育の推進

各学校において、人権・同和教育の全体計画を作成し、県教育委員会作成の副読本「かがやき」や教材集「あおぞら」、市人権・同和教育カリキュラムを活用しながら、学校の教育活動全体を通して、児童生徒の実態に応じ人権・同和教育を推進するよう指導しました。

（２）教職員研修の開催

教職員研修については、各学校において、授業による校内研修会を計画的に実施するとともに、大牟田市人権・同和教育研究協議会と連携して実践交流会に参加し、学校の人権・同和教育の充実に努めるよう指導しました。

（３）各種研究会への参加

県教育委員会、県人権・同和教育研究協議会等が主催する各種研究会への参加の促進を図りました。

●人権・同和問題啓発事業〔人権・同和教育課〕（２２ページを参照）

（１）「人権・同和教育講演会」の開催

と き 7月9日（土）
ところ 大牟田市労働福祉会館 中ホール
内 容 講演会「情報×人権」
講 師 組坂 幸喜（九州大谷短期大学人権論研究会主査）
参加者 90人

（２）福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月）の街頭啓発

と き 7月7日（木）、12月2日（金）
ところ ゆめタウン大牟田

（３）「人権学習会」の開催

と き 6月3日（金）、10月7日（金）、11月18日（金）、R5年2月3日（金）
ところ 中央地区公民館、吉野地区公民館、中友小学校、勝立地区公民館
内 容 学習会「炭鉱と人権 ～与論島から来て大牟田の礎を築いた人たち～」
講 師 大牟田市人権・同和教育研究協議会研究員
参加者 111人

（４）講師派遣と啓発情報提供

企業や団体等が開催する研修会に地域活動指導員を講師として派遣し、人権学習を推進しました。また、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するため

の啓発資料の案内を行うとともに、「広報おおむた」に啓発に関する記事や事業の案内を掲載するなど、情報提供しました。

○大牟田市人権・同和教育研究協議会との連携〔人権・同和教育課〕

（１）大牟田市人権・同和教育研究実践交流会の共催

第２６回人権・同和教育研究実践交流会

と き ８月３日（水）
 ところ 大牟田文化会館等
 参加者 ５０２人
 全体会 記念講演「誰もが大切にされる“つながり”を求めて」
 講 師 鈴木 邦治（福岡教育大学教授）
 分科会 「部落問題学習①」、「共生教育」、「学力保障」など６分科会を開催

（２）課題別委員会「子ども就学支援」の支援

課題別委員会「子ども就学支援」で、「２０２２（令和４）年度版 おおむた子ども支援ガイドブック～子どもを、家庭をチームワークで支えるために～」を作成し、学校をはじめとして大牟田市人権・同和教育研究協議会加盟団体に配付するとともに、ホームページに掲載し情報提供を行いました。

（３）人権連続講座の共催

①第１回

と き １０月２８日（金）
 ところ 大牟田市労働福祉会館 中ホール
 内 容 講演会「部落差別の現状、その差別解消のための取り組みについて」
 講 師 森 亮輔（西日本新聞社社会部所属）
 参加者 ６０人

②第２回

と き １１月２日（水）
 ところ 大牟田市労働福祉会館 中ホール
 内 容 講演会「大丈夫なふりをしないために」
 講 師 ジェレノー 治美（公社福岡県人権研究所啓発部会所属）
 参加者 ５９人

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値（％）	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 [現状値：96.5% (H30 年度実績)]
	実績値（％）	93.4	93.1	91.0		
	達成度（％）	93.4	93.1	91.0		

【指標達成度に対する要因分析】

R４年度においては、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、コロナ禍以前のような状態で行事を行うことができました。各事業における「人権尊重意識の醸成度」については、目標値には届かなかったものの、ほぼ近い数字となりました。このため、開催テーマや趣旨については、参加者に十分伝わったものと思われます。

【今後の方向性】

諸事業を開催する際には、開催テーマに対する理解や認識を深めてもらうとともに、若年層を含めた幅広い市民の参加が得られるように企画、周知することも必要です。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式LINE等を活用し、住民自治組織や民生委員・児童委員協議会等の各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち

視点1 次世代を担う子どもをはぐくむ

視点2 ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点3 学習環境の整備・充実

視点4 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術の環境づくり

成果指標の令和4年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R4年度)	実績値 (R4年度)	達成度 (R4年度)
第1編第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち ※点検・評価の対象	将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合(※1)	—	90.0%	90.9%	101.0%
	地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合(※2)	47.5%	50.0%	46.2%	92.4%
同第5章 スポーツを通して生きがいになり、活気にあふれるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率(※3)	41.6%	50.0%	39.6%	79.2%
同第6章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合(※4)	57.9%	80.0%	47.3%	59.1%

※1:実績値(R4年度)は、事業に参加した高校生等向けのアンケート結果による。

※2～4:実績値(R4年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、467人が回答)。

令和4年度重点事業（市長部局）

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
4	1	高校生まちづくり体験事業	67
4	2	学校ESD支援事業	68

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点1) 次世代を担う子どもをはぐくむ 高校生まちづくり体験事業（72・73ページを参照）
-----	---

目的						
高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。						
事業内容						
高校生等が、事業内容を自ら企画し実践するとともに、地域や青少年団体をはじめとする様々な団体が高校生等の活動を支援・助言することで、高校生等が大人に感謝や憧れを持ち、将来のまちづくりに対する意識が芽生えるような事業とします。また、高校生等の活躍を見た小・中学生が、高校生等に憧れを持つことで、地域における支援が継続していくような事業を実施します。						
具体的な事業として、次の2事業を実施します。						
○ふるさと魅力発見ウォーク						
小・中学生と共に長距離を歩き抜くことで、チャレンジ精神を育み、実践力と豊かでたくましい青少年の育成を目指します。さらに、コース等について企画する中でふるさとの魅力を発見する機会とします。						
○総合発表会						
高校生等が自ら企画・運営を行うことで、達成感や自信とともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けます。また、発表会を活用し、地区公民館等のサークルによる小・中・高等学校等への支援や相互の交流等を促す地域づくりを目的とした事業を行います。						
指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参画した高校の数	目標値(校)	5	6	7	8	R5年度に市内の高校・高等専門学校全校の参画を目指し、年1校ずつ増加
	実績値(校)	6	4	8		
	達成度(%)	120	66.7	114.3		

取組実績						
○高校生まちづくり体験事業推進協議会						
本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を開催しました。						
○高校生まちづくり体験事業						
市内の全ての高校等に事業の周知を行い、事業を企画・運営する高校生をポスターやチラシ、HP等を活用して募集し、11人の参加がありました。						
①ふるさと魅力発見ウォーク						
6月から企画会議を実施し、参加した高校生等は企画・立案に真剣に取り組み、大牟田の新たな魅力発見にも力を注いでいました。「青春(アオハル)Walk」と称して、11月6日(日)に高校生等11人と、小学生の参加者20人(27人の申込みがあり、抽選で20人に決定)で実施することができました。						
②総合発表会						
大牟田市内の高等学校、高等専門学校に協力を呼びかけ、大牟田文化会館を会場に、「夢の花咲く青春祭」と称して、R5年2月23日(木・祝)に開催しました。会場では、学校紹介(市内の全ての高校)、部活動発表、体験・展示・試食コーナー等に約1,000人の方(参加していた高校生も含む)が来場されました。						
		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	1,000 千円 千円)				500	500
問題点及び課題						
高校生まちづくり体験事業を実施するためには、まずは事業を企画・運営する高校生等の参画が必要です。このためには、高校生等が参画しやすい時期等に事業を実施することが重要です。						
また、企画・運営を行う高校生等の意見を活かしつつ、地域の方々や小・中学生等との交流の機会となるよう事業を展開する必要があります。						
今後の方向性(具体策)						
高校等の参画を募るために、各高校等へ本事業の実施により高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高め、地域のために自らチャレンジできる人づくりを目指していることの重要性について説明の強化を図ります。						
企画スタッフを確保するため、ポスターやチラシ、広報等の活用に加え、青少年団体等にも呼びかけるなど、事業の更なる周知を図ります。						
高校生等が参加意義を見つめることができるよう事業の組み立てを支援します。						
評価						
事業に参加した高校生等11人全員から「参加してよかった」とのアンケート回答がっており、今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。						

令和4年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち (視点2) ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり 学校ESD支援事業(80ページを参照)
-----	--

目的
地区公民館が、学校教育のESDに対して必要に応じた協力を行うことで、社会教育におけるESDを推進することができます。また、学校教育におけるESDも効果的に実施できることが考えられます。

事業内容
学校が進めているESDの取組みのうち、地域の支援が必要な取組みについて、地区公民館が地域とのコーディネートを行うもの。地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行います。

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
支援を行った小・中・特別支援学校の数	目標値(校)	4	6	8	10	R5年度に小学校7校、中学校特別支援学校3校の支援を目指し、年2校ずつ増加
	実績値(校)	7	7	9		
	達成度(%)	175.0	116.7	112.5		

取組実績
○地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届けました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校、特別支援学校】
○地域、学校が連携し、種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校】
○地域の史跡や文化財等を知ったり、発表したりすることにより児童の地域への愛着を深めました。【羽山台小学校(学校ESD支援モデル校区)、駿馬小学校】
○小学校の海洋教育及び野外活動として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駿馬小学校、天領小学校】
○勝立地区の人が地域の歴史と自然を学び作成した動画のDVDを学校に届け、地域への愛着を深めました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校、特別支援学校】
○三池の歴史学習資料をゲストティーチャーが学校と連携して作成する支援を行いました。【三池小学校】
○このほか児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、各地区公民館のロビー等を活用した展示発表、文化祭での展示発表などを実施しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	23 千円 千円)				23

問題点及び課題
地区公民館の機能や役割について、学校への周知が十分ではないため、提供できる支援について周知を図る必要があります。
小学校での実施が中心となっており、中学校への取組が必要です。
学校のニーズを把握するため、学校が取り組むESDについて理解を深めることが必要です。

今後の方向性(具体策)
学校職員を対象とした事業の説明機会を設け、学校ESDの支援に取り組めます。
学校に提供できる支援を明確にするため、地区公民館ができることをメニューにして提示するなど、わかりやすい仕組みを構築します。

評 価
目標を上回る9校(小学校7校、中学校1校、特別支援学校1校)で事業に取り組むことができ、学校と地域をつなぐ役割ができました。今後も学校・地域との連携をさらに深め、事業を実施していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち
	次世代を担う子どもたちを中心に、ともに学び、考え、行動する人がはぐくまれるまちを目指します。 そのため、子どもたちの人間性、社会性、郷土愛などを地域や社会全体ではぐくむとともに、全世代にわたり、社会の課題を身近な問題ととらえ、地域での「つながり」や「関係性」を大切に人をはぐくみ、持続可能な地域づくりを進めます。

（視点1）次世代を担う子どもをはぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて社会を生き抜く力を身に付けるとともに、郷土愛や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくむ取組みを行います。

また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えるとともに、自らも人生100年時代における人づくりへとつながるような取組みを進めます。

【主な事業】

○子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（1）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、公民館での宿泊体験など子どもたちの体験活動講座を73講座開催しました（11講座は大雨による避難所開設のため及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

（各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）交流教育地域推進事業ふれあい共室

障害のある子どもと障害のない子どもがボランティアと交流しながら、レクリエーションなどの活動を通して人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

①回数

- ・事前研修会 1回
- ・保護者との懇談会 2回
- ・活動 8回

②延べ参加者（人）

- ・子ども 220人
- ・ボランティア 174人
- ・保護者（懇談会） 13人

（3）子ども未来デッサン事業

小学校中・高学年（4～6年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

H26年度から29年度までの4年間は、生涯学習課で実施しました。H30年度からR2年度までは地区公民館事業として実施し、R3年度から再び生涯学習課で実施しています。

職 業	講 師	と き	と ころ	受講者数
消防士	和泉 伶奈 山下 颯太	7 月 27 日（水）	大牟田市消防本部	9 人
ウェディングプランナー	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
ショッピングモールで働く人	植田 侃汰 新井 万由奈	10 月 8 日（土）	イオンモール大牟田	5 人
海上保安官	観山 寛之 水村 美優	10 月 29 日（土）	三池海上保安部	18 人
信号機をつくる人	山下 亜裕美	12 月 26 日（月）	信号電材株式会社	15 人
JAXA で働く人	山口 敬之	R5 年 1 月 28 日（土）	えるる	10 人

（４）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

イ 県委託を受けて通学合宿を実施する団体への支援

県からの委託を受けて通学合宿に取り組む実行委員会に対し、県との連絡調整、事業実施に当たっての支援を行うものです。R 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施には至りませんでした。

ウ 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する団体に対して補助金の交付を行うものですが、R 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施する団体はありませんでした。

エ 通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（R 4 年度は実績なし）。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等 16 団体（定期開設 16 団体、長期休業期間中開設 0 団体）に対して運営費の一部を補助しました。

※定期開設のうち 1 団体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業未実施となったことから、補助金は全額返還。

・市補助金交付団体【定期開設】 16 団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月 1 回	18 年目
2	友・遊広場見守り隊	月 2 回	18 年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月 1 回	18 年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月 1 回	18 年目
5	平原小学校父母教師会	未実施	15 年目
6	手鎌地区公民館子どもの居場所「わくわく広場」実行委員会	月 1 回	16 年目
7	大牟田視聴覚教育クラブ	月 1 回	16 年目
8	みんなの広場・羽山台世話人会	月 1 回	13 年目
9	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月 1 回	12 年目
10	高取校区子どもの居場所実行委員会	月 1 回	12 年目
11	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月 4 回	11 年目
12	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月 1 回	10 年目
13	ひまわり広場実行委員会	月 4 回	8 年目
14	大正こどもの居場所実行委員会	月 1 回	5 年目
15	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月 1 回	3 年目
16	みなと子どもの広場実行委員会	月 12 回	2 年目

・市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 ※R 4 年度なし

・自主運営等の団体数 5 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駛馬地区アンビシャス広場	週 1 回
2	勝立地区アンビシャス広場	月 1 回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	吉野ぼけっと	月 4 回
5	上官げんきもりもりハウス	月 8 回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数 2 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 1 回
2	上内なかよし広場	年 1 回

イ 啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第 1～3 号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（4 月 9 日（土））

ウ 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（5 月、12 月、3 月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年 3 回開催し、延べ 70 人が参加しました。

（イ）研修会の開催

と き 12 月 17 日（土）

ところ 駛馬地区公民館 プレイルーム 参加者 20 人

テーマ 「手軽になかよくレクリエーション」

講 師	南筑後青年リーダー 副会長 中尾 圭詞氏
(ウ) 体験活動 (「わくわく子どもまつり」) の実施	
と き	R 5 年 3 月 5 日 (日)
ところ	手鎌地区公民館及びサンアビリティーズおおむた
参加者	子ども 3 0 7 人・保護者 1 9 0 人 ボランティアスタッフ 1 3 0 人 高校生ボランティア 4 5 人
内 容	紙ヒコーキ遊び、わなげ・ダーツ・フリスビー、プラ板ストラップ作り、サッカー P K 戦、毛糸のかみかざり作り、ぼうしのブローチ作り、プレーパーク、紙皿フリスビー、お手玉づくり、スポーツチャンバラ、リサイクル工作、お菓子のつり、折り紙でコマを作ろう、竹ぼっくりで遊ぼう、お手玉を作ろう、バンブーダンス、松ぼっくりミニツリー作りほか

●高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)[生涯学習課](67ページを参照)

(1) ふるさと魅力発見ウォーク・総合発表会

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法	ポスター、チラシ、市公式 L I N E 等
募集期間	5 月 1 日～5 月 2 7 日
応募者数	1 3 人 (大牟田北高等学校 8 人、明光学園高等学校 2 人、おおぞら高等学院 1 人、大牟田高等学校 1 人、大牟田特別支援学校高等部 1 人)

②企画会議・振り返り等開催

第 1 回	6 月 1 1 日 (土)
第 2 回	7 月 9 日 (土)
第 3 回	8 月 6 日 (土)
第 4 回	9 月 3 日 (土)
第 5 回	1 0 月 1 5 日 (土)
第 6 回	1 1 月 1 2 日 (土)
第 7 回	1 2 月 1 0 日 (土)
第 8 回	R 5 年 1 月 1 0 日 (火) ※ F M たんと事前収録
第 9 回	R 5 年 2 月 4 日 (土)
第 1 0 回	R 5 年 2 月 2 2 日 (水) ※夢の花咲く青春祭りハーサル
第 1 1 回	R 5 年 3 月 1 1 日 (土)

③事業実施

(ア) 青春 (アオハル) W a l k

実施日	1 1 月 6 日 (日)
参加者	高校生 1 1 人、小学生 2 0 人、推進協議会会員 1 人
コース	三川坑跡～三池港展望所～旧長崎税関三池税関支署～旧三川電鉄変電所～三井港倶楽部～駛馬地区公民館～宮原坑跡

○小学生参加者募集

募集方法	ポスター、チラシ、市公式 L I N E 等
募集期間	1 0 月 1 日から 1 0 月 2 4 日まで
応募者数	2 7 人 (天領小 4 人、駛馬小 3 人、天の原小 2 人、大牟田中央小 3 人、大正小 2 人、明治小 1 人、銀水小 3 人、上内小 1 人、吉野小 3 人、倉永小 4 人、手鎌小 1 人) ※応募者多数のため抽選の結果 2 0 人に決定 ※当日 2 0 人参加

(イ) 夢の花咲く青春祭

実施日 2月23日(木・祝)
参加者 約1,000人(高校生スタッフ等含む)
会場 大牟田文化会館(大ホール、小ホール、憩いの森)
内容 大牟田市内の高等学校、高等専門学校の学校紹介、部活動発表、
工作・体験コーナー、展示コーナー、試食コーナー等

④高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催 第1回 R5年3月29日(水)

○子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

R4年度は、子ども読書推進にかかる広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組みを行いました。

(1) ブックスタート事業

赤ちゃん和父母者が、絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組として、絵本と布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット(ブックスタートパック)を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、R4年度は582人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃん和父母者を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況(会場は市立図書館)

と き	参 加 者
6月10日(金)	6組(13人)
6月11日(土)	6組(13人)
7月29日(金)	3組(6人)
7月30日(土)	1組(2人)
9月9日(金)	9組(19人)
9月10日(土)	7組(16人)
10月28日(金)	2組(5人)
11月2日(水)	5組(11人)
R5年3月7日(火)	7組(15人)
3月11日(土)	8組(20人)

(2) 子ども読書推進啓発事業

①啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント2022(指定管理者)

4月23日の子ども読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

(内容等の詳細は、176ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「(1) 必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事業」の表を参照)

③ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。(携帯電話用のページも毎月更新)。

④うちどくノートの作成・配布

家庭での読書推進のため、読書記録を残すことが出来る「うちどくノート」を作成し、図書館で配布しています。また、ホームページからもダウンロードし印刷ができるようにしました。

R 4 年度から配布を開始し、学校等での活用の提案を含め、広く周知しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

(1) 親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者数
9 月 18 日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	台風のため中止
10 月 2 日(日)	保護者セミナー、親子で運動遊び	明治小学校	84 人(36 組)
10 月 23 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	63 人(26 組)
11 月 27 日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	66 人(28 組)
12 月 18 日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	34 人(15 組)

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12 月 10 日(土)	体力テスト	市民体育館	19	220
R5 年 2 月 12 日(日)	交流ドッジボール大会	市民体育館	12	198

スポーツ少年団の加入状況

区分 \ 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
スポーツ少年団数	37	35	33
加入者数	543	499	455

○おおむたっ子がんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18 歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子がんばれ奨励金」を交付しました。

区 分		R2 年度	R3 年度	R4 年度
スポーツ	全国大会等出場者数	53 人	93 人	130 人
	交付額	159 千円	279 千円	390 千円
文化芸術	全国大会出場者数	3 人、1 団体	15 人、2 団体	19 人、1 団体
	交付額	159 千円	255 千円	157 千円

○各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生１００年時代に向けた人づくりを進めるため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として、５７講座を開催しました（２講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。

（各講座の詳細は、１４３～１６２ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（２）大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びＰＴＡ連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
7月30日(土) ～31日(日)	受講希望者少数のため中止		
11月5日(土) ～6日(日)	受講希望者少数のため中止		
R5年 1月29日(日)	危険予知訓練・ゲーム	えるる	5人

イ 親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

（ア）ドッジビー大会

と き 9月19日（月・祝）
※台風接近のため中止

（イ）新年カルタ大会

と き R5年1月9日（月・祝）
と ころ 手鎌地区公民館
参加者 2子ども会 5チーム 19人

（ウ）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月10日（日）
と ころ 労働福祉会館
参加者 32団体36人
内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、33団体が加入しました。

② P T A活動支援事業

ア 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

（ア）P T A広報紙コンクールの実施

第37回P T A広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会の共催により実施しました。作品は、R3年度発行の新聞を対象としました。

応募校数26校（小学校18校、中学校8校）

表彰 大牟田市長賞：三池小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会

大牟田市教育委員会賞：白川小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校P T A連合会賞：

大正小学校父母教師会、宮原中学校父母教師会

優秀賞：みなと小学校父母教師会、羽山台小学校父母教師会、
天領小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

(イ) P T A 広報紙研修会の開催

内 容 5月19日(木)に馬場真帆氏を講師に招き、白川小学校にて実施。
企画、レイアウト、記事の書き方等、広報紙づくりの技術を学びました。

(ウ) P T A 連合会の研修会の委託

内 容 11月12日(土)に大牟田文化会館にて、吉村春生氏を講師に招き、大牟田市立小・中・特別支援学校 P T A 連合会研修会を実施しました。

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を6講座開催しました(1講座は新型コロナウイルス感染症等の影響により中止。)

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

R4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら開設し、運営にあたるボランティアのスキルアップ講座も実施しました。

①三池子育てふれあい広場(じゃじゃり子み〜け)・月曜日開設

大人延べ利用者数	181人
子ども延べ利用者数	205人
延べ利用者数	386人
開設日数	29日

②手鎌子育てふれあい広場(れもんぐらす)・金曜日開設

大人延べ利用者数	264人
子ども延べ利用者数	301人
延べ利用者数	565人
開設日数	29日

③ボランティア養成講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営を目指し、三池地区公民館、手鎌地区公民館においてボランティアのスキルアップ講座を実施しました。

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回(7月・11月・3月)発行し、発行数は延べ34,500部でした。

(4) 幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

①就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育

のあり方やしつけについての子育て講座を実施しました。R 3 年度から公民館事業として実施しています。R 4 年度は、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら 19 校区中 18 校区で実施しました。1 校区は、実施予定日前日の寒波による水道管凍結のため入学説明会は時間短縮、講座は中止することとなりました。

18 講座（18 小学校区） 参加者数 641 人（入学予定者数の 85.7%）

②幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

3 歳から就学前までの発達段階に応じた子どもとの関わり方や生活習慣づくりの大切さ、子育ての楽しさを伝えることで、保護者自身の心の安らぎや成長を支援することを目的とし、幼児期の子どもを持つ保護者を対象に「幼児期子育て講座」を実施しました。

と き 7 月 31 日（日）

と ころ えるる

参加者数 97 人

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、中友剣道スポーツ少年団による「中友剣道スポーツ少年団創立 60 周年記念剣道大会」を下記のとおり開催しました。

と き 11 月 26 日（土）、27 日（日）

場 所 大牟田市民体育館

対 象 九州各県の小学生・中学生

概 要 ①小学生・中学生による錬成会、剣道大会を開催

②トップ選手との交流（世界剣道選手権大会強化選手候補で第 41 回全日本女子学生剣道優勝大会優勝の妹尾舞香選手、東堅嘉怜選手の直接指導）

③防具の展示や説明

④大牟田の物産ブースの開設や観光パンフレットの配布

文化芸術分野は、ダンスによる若者育成事業実行委員会による「ダンスチャレンジおおむた」、大牟田青少年音楽育成事業実行委員会による「子どものためのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演」、一般社団法人 OMUTA BRIDGE による「JUNIOR CITY MAKER(ジュニアシティメーカー)」を下記のとおり開催しました。

「ダンスチャレンジおおむた」

と き R 5 年 1 月 15 日（日）

場 所 大牟田文化会館大ホール

参 加 者 約 600 人

概 要 ①日頃ダンス活動に励んでいる市内高校のダンス部やダンスグループがステージで発表

②インストラクターが振り付けしたダンスを小学生にレッスンするワークショップを 11 月から R 5 年 1 月にかけて 5 回実施し、レッスンの成果をステージで披露

③市内外の参加者を募り、小学生部門・中高生部門によるダンスコンテストを実施

④高校生ボランティアによる受付や物品販売等の接客、楽屋呼び込み・音響操作などのイベント運営

「子どものためのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演」

と き ワークショップ：9 月 20 日（火）、27 日（火）、10 月 6 日（木）

公演：10 月 21 日（金）

場 所	ワークショップ：高取小、吉野小、大正小、明治小、上内小、平原小 公演：大牟田文化会館
参 加 者	高取小、吉野小、大正小、明治小、上内小、平原小児童
概 要	①オペラ『ヘンゼルとグレーテル』ハイライト公演を上演 ②参加小学校に出向き、オペラ体験ワークショップを実施 ③ワークショップに先立ち事前にオペラの歴史や演目等についてまとめた資料を作成し、参加校に配布
「JUNIOR CITY MAKER(ジュニアシティメーカー)」	
と き	5月～R5年3月
場 所	橘中学校他
対 象	橘中学校生徒
概 要	①大牟田の農産物、特産品を通し、大牟田の食文化を学ぶ大牟田わくわく発見セミナーを実施 ②大牟田の持つ魅力を共有しながら新しい魅力ある商品計画書づくり ③②の発表会を実施 ④子どもたちがグループ毎に模擬会社を設立するスタートアップセミナーを実施 ⑤子どもたちが考えたものを実際に商品化し、販売実践 ⑥決算発表会（実践報告会）を実施

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点2の111～113ページを参照）

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点3の114ページを参照）

【視点２）ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」・「つながり」をはぐくむといったＥＳＤの視点を持った取組みを展開することで、「人づくり」・「つながりづくり」を進めます。それにより、地域が直面する課題を市民自らが発見し共有し解決していく、持続可能な「地域づくり」へとつなげていきます。

【主な事業】

○生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。Ｒ４年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響の変化により派遣回数は若干増加しました。

①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
R2	個人	93	93	109	2,341	33.6
	団体	118	1,473	244	5,993	
	計	211	1,566	353	8,334	
R3	個人	91	91	125	2,640	36.2
	団体	116	1,464	191	4,370	
	計	207	1,555	316	7,010	
R4	個人	92	92	127	3,091	46.4
	団体	119	1,509	270	7,279	
	計	211	1,601	397	10,370	

②アンケート結果

○ボランティア登録者の意欲の高まり

（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい）・・・９９．６％

（Ｒ３年度９９．５％）

○依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）・・・１００％

（Ｒ３年度１００％）

③説明会

事業内容の周知及び利用促進を図ることを目的に、依頼者とボランティア登録者向けの説明会などを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書類送付による説明に振り替えました。

ア 依頼者（利用者）向け

送付内容 おおむた生涯学習メニューブック（利用案内含む）

イ ボランティア登録者向け

送付内容 事業概要、ボランティア活動保険について

④新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、以下の取組を行いました。

ア 地区公民館で実施するアクティブシニアデビュー塾における事業の紹介とボランティア登録の呼びかけ

イ 校区まちづくり交付金における『地域人材発掘メニュー』の設定

⑤周知・PR

- ア ボランティア登録者の紹介（「広報おおむた」奇数月巻末掲載）
- イ 「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（2,500部）の配布
- ウ You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介

○地域ESD推進事業〔生涯学習課・公民館〕

地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた取組みなどを校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行い、ニーズをとらえて進める事業を19講座実施しました。

●学校ESD支援事業〔生涯学習課・公民館〕（68ページを参照）

○人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、9事業を実施しました。

○学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

- （1）高齢者生きがいがづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔健康づくり課・生涯学習課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動・地域活動の機会、さらには心と身体健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために健康づくり課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」6講座を開催し、61人が受講しました。（受講生が定員に満たなかったため1講座中止）

講座終了後、3つの新規ボランティアグループが結成され16人が入会、既存ボランティアグループへ9人が加入し活動を続けています。

（各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

- （2）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発や、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合い、世代間交流の促進を図る目的で「カヌーふれあい事業」を実施しています。この事業にボランティア団体「はやめカヌーサポーター会」に支援・協力をお願いしており、「はやめカヌーサポーター会」の人材不足を解消するために、カヌーの知識や技術を学ぶ養成講座を実施して加入促進を図っています。R4年度は6人が受講し、うち1人が「はやめカヌーサポーター会」に加入しました。

- （3）ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

（各事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図ることを目指して実施しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

○地域のICTを支援する人づくり事業〔生涯学習課〕

(1) 地域のICT化を推進するボランティアの養成

オンラインを活用した地域学習活動・地域活動を進めていくためには、地域の支え手が必要であることから地域住民を対象とした「VRを活用した地域とつながるプロジェクト」を実施しました。今後養成したボランティアがデジタルデバイドなど地域課題解決のため、活動の場を提供していきます。

と き 12月～R5年3月

対 象 一般成人

概 要 VRゴーグルや360度カメラの使い方を学び、市内風景を撮影し、特別養護老人ホーム延寿苑の入所者等に撮影した映像を見せるボランティアの体験を行いました。

(2) 地区公民館職員のICTスキルアップ研修

R5年2月6日の地区公民館職員研修会において、地区公民館職員がオンラインを活用したハイブリッド型（対面とオンラインの併用）の事業が実施できるよう、PC等実際の機材を使って研修を実施しました。

(3) 行政課題や地域課題把握のためのヒアリング

ICTにおける行政課題や地域課題を把握するため、デジタル行政推進室、健康づくり課など庁内で5つの課・室と商工会議所やゆめタウンなど企業など5団体にヒアリングを実施しました。

【視点３）学習環境の整備・充実

さまざまな手法を用いて学習に関する情報や場を提供するとともに、個人の要望に応える学習をきっかけとして、社会の要請に応える学習・活動へつなげる働きかけや工夫を行います。

さらに、市民が身近な地域で学習活動を行えるよう環境整備を図ることにより、生涯学習、ボランティア活動、地域活動を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (１) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年６回発行　２,０００部／回）

掲載事案件数９７件、メールマガジン登録件数１６２件

- (２) 「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子２,５００部）

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「がんばる地場企業」及び市役所職員出前講座のメニュー表を１冊にまとめて発行しました。

- (３) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全３回）

- (４) その他（年間随時）

①市ホームページ、ＳＮＳ、「愛情ねっと」、「ＦＭたんと」、YouTubeを活用した動画配等による情報発信

②学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

- (１) 市役所職員出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。Ｒ４年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響の変化から、若干増加しました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
R2	118	51回	95人	1,698人
R3	123	65回	117人	2,175人
R4	118	86回	169人	2,696人

- (２) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点２）「ＥＳＤを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（７９・８０ページを参照）

- (３) 市民大学講座

市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
放射能で病を治す？ ～知って得する最新の核医学のお話～	帝京大学福岡医療技術学部 診療放射線学科 助教 関川 祐矢	11月11日(金)	えるる	19人
English Through Drama (演劇を通して英語を学びましょう)	有明工業高等専門学校 一般教育科 教授 リチャード・グランバイン	11月18日(金)	えるる	19人

今どきの子育て・孫育て&大切にしたい子育て・孫育て	帝京大学福岡医療技術学部 看護学科 教授 椎葉 美千代	11月22日(火)	えるる	15人
現象からみた再生可能エネルギーとその利用方法～電力品質や安定供給確保についての新たな問題～	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 泉 勝弘	11月30日(水)	えるる	13人

(4) 企業出前講座「がんばる地場企業」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R2	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤㈲グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈲宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭㈱プランツ、⑮㈱O.A.S、 ⑯九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑰㈱にしけい有明支社、⑱大牟田柳川信用金庫、 ⑲中国茶・台湾茶専門店華貴、⑳和装処・坪井、 ㉑豊浜製麺	40	13回	306人
R3	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社、 ⑤㈲グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱、 ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈲宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑯㈱にしけい有明支社、⑰大牟田柳川信用金庫、 ⑱つきあかり、⑲和装処・坪井、 ⑳㈲美川漢方堂、㉑㈲山田屋茶舗、㉒㈱大幸商事、 ㉓㈱エム・ティ・ネット、㉔磯浜葬祭 天翔苑、 ㉕アトリエ 花むすび、㉖しゅがーりいすぺーす	46	10回	313人
R4	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社 ⑤㈲グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱ ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫㈲宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、 ⑯大牟田柳川信用金庫、 ⑰つきあかり、⑱㈲美川漢方堂、⑲㈲山田屋茶舗、 ⑳㈱エム・ティ・ネット、㉑磯浜葬祭 天翔苑、 ㉒アトリエ 花むすび、㉓オンライン学習会 ㉔明治安田生命保険相互会社 大牟田北営業部	52	36回	951人

○社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、ファシリテーション研修や事業企画の方法など職員のスキルアップを図ることを目的に、9回の研修会を開催しました。（大雨などのため2回中止）

(2) 社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で2回実施しました。

(3) 新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。

(4) 新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ること、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。

○地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7地区公民館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

○地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 子ども交流体験活動事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「子ども交流体験活動事業」の(1)子ども交流体験活動事業(69～72ページ)を参照

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 家庭教育講座〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(1)家庭教育講座(76ページ)を参照

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(4)幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施の①就学前子育て講座(76・77ページ)を参照

(4) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の(1)各世代に応じた学習活動支援事業(75ページ)を参照

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(5) 高齢者生きがいきづくり社会参加促進事業(地域デビュー編・健康実践デビュー編)

〔生涯学習課・公民館・健康づくり課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域デビュー編」を7講座開催し、100人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティブシニアを育む「健康実践デビュー編」を7講座開催し、101人が受講しました。

講座終了後、8つの新規サークルが結成され69人が入会、既存サークルへ16人が加入し活動を続けています。

(各講座の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(6) 公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

(各館の発行の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(7) 読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は34,514冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

(各事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(8) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもをはぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(2)子育てふれあい広場の開設(76ページ)を参照

(9) 地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めています。R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小及び1館が中止となりました。中止をした1館は、文化祭に代わる学習成果の発表を実施しました。

(7地区公民館の文化祭の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(10) 展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業の詳細は、143～162ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

（視点４）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTTA少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R2	390 回	2,030 人
R3	281 回	1,238 人
R4	394 回	1,561 人

(※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む)

②青色パトカー巡回活動概況(昼間のみ) (延べ数)

年度 \ 区分	実施回数	従事者数
R2	420 回	836 人
R3	238 回	465 人
R4	235 回	446 人

※R3年度以降は、少年センター専任指導員のみの実施

③指導概況(性別、学職別) (単位：人)

年度 \ 区分	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
R2	165	95	260	67	40	153	0	0	0	0	260
R3	50	30	80	0	24	50	0	0	0	6	80
R4	54	38	92	18	22	51	0	0	0	1	92

④行為別指導実数 (単位：人(上段)・%(下段))

年度 \ 区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
R2	0	93	50	8	53	0	0	0	0	56	260
	0	35.8	19.2	3.1	20.4	0	0	0	0	21.5	100
R3	8	23	37	0	10	0	0	0	0	2	80
	10	28.8	46.2	0	12.5	0	0	0	0	2.5	100
R4	0	14	44	0	17	0	0	0	0	17	92
	0	15.2	47.8	0	18.5	0	0	0	0	18.5	100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～20時 夜遊び：20時～22時 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所

(単位:人)

区分 年度		タ ー ゲ ー ム セ ン	等 カ ラ オ ケ 店	大 型 店 等	コ ン ス ト ア ニ エ	駅	路 上	自 宅 等	寺 院 ・ 神 社	公 園	海 岸 ・ 河 川	そ の 他	合 計	
R2	男子	13	1	3	0	4	72	0	1	26	17	28	165	260
	女子	5	5	35	0	0	35	0	3	2	5	5	95	
R3	男子	0	0	16	0	0	9	0	0	25	0	0	50	80
	女子	0	0	21	0	0	1	0	0	8	0	0	30	
R4	男子	3	0	21	0	0	15	0	5	6	3	1	54	92
	女子	0	0	19	0	0	13	0	2	1	0	3	38	

(2) 有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

(3) ヤングテレホン等相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、「ヤングテレホンおおむた」による電話相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、R4年1月から福岡県教育委員会が24時間365日実施する「子どもホットライン24」に一本化し、周知啓発を図ることとしました。

①相談件数

(単位:件)

区 分	年 度	家 族	本 人	その他	合 計
来 所 相 談	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	1	0	0	1 (1)
	R4	0	0	0	0 (0)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	R2	2	4	56	62 (5)
	R3	0	4	43	47 (6)
	R4	－	－	－	－
メール相談	R2	0	0	0	0 (0)
	R3	0	1	0	1 (1)
	R4	3	0	0	3 (1)

※ () 内は実際に相談された人

②相談内容内訳

(単位:件)

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
R2	0	1 (1)	0	4 (2)	0	0	0	1 (1)	56 (1)	62 (5)
R3	1 (1)	0	2 (2)	0	2 (2)	0	0	0	44 (3)	49 (8)
R4	1	0	1 (1)	0	0	1	0	1	0	4 (1)

※ () 内は実際に相談された人

※ 1件に複数の相談内容を含む

(4) 関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

ア 第72回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

市庁舎前で立ち上げ式等を行いました。

と き 7月1日(金)

ところ 市長応接室

イ 第70回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と き 7月6日(水)

ところ 文化会館 小ホール

ウ 児童虐待防止推進キャンペーン

児童虐待事案を認知した際の情報提供を促すための啓発チラシを配布しました。

と き 11月18日(金)

ところ イオンモール大牟田

参加者 大牟田警察署、大牟田市(子ども家庭課、少年センター)、
他関係団体

エ 大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写51点のほか、標語111点を展示しました。

と き 11月10日(木)～17日(木)

ところ えるる 1階 展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

(1) 会議の開催

- | | | |
|-----|-------|---|
| 第1回 | と き | 7月20日(水) 15時～16時30分 |
| | ところ | 大牟田市生涯学習センター多目的室 |
| | 委員の委嘱 | |
| 議題 | 1 | 社会教育振興プラン2020～2023について |
| | 2 | 令和4年度社会教育・生涯学習機関等事業計画について |
| 報告 | 1 | 令和3年度社会教育委員の会議等実績報告及び
令和4年度事業計画(案)について |
| その他 | 1 | ありあけ圏域電子図書館について |
| | 2 | (仮称)総合体育館整備の進捗について |
| | 3 | 「成人式」に代わる名称について |
| | 4 | 施設予約システムの進捗について |
| | 5 | 令和4年度南筑後地区社会教育委員交流会の開催について |
| | 6 | 令和4年度社会教育主事講習(九州大学)現地研修
受入と派遣について |
| 第2回 | と き | 11月30日(水) 15時～16時45分 |
| | ところ | 大牟田市生涯学習支援センター多目的室 |
| 議題 | 1 | 子育て情報誌「おおむたっ子」への
社会教育委員メッセージについて |
| 報告 | 1 | はたちの集い(旧成人式)について |
| | 2 | 地区公民館等の在り方についての取組みの現状 |
| | 3 | 社会教育・生涯学習基礎調査研究について |
| | 4 | 令和4年度筑後地区社会教育委員交流会について |
| | 5 | 令和4年度筑後地区社会教育委員研修会について |
| 講話 | 1 | 小中一貫教育制度の取組みについて |
| | 2 | 社会教育委員の役割と実践 |
| 第3回 | と き | R5年1月25日(水) |
| | ところ | 大牟田市生涯学習支援センター多目的室 |
| 議題 | 1 | 子育て情報誌「おおむたっ子」への
社会教育委員メッセージについて |
| 報告 | 1 | 令和4年度社会教育・生涯学習事業について |
| | 2 | 大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究について |
| | 3 | 第4次おおむた男女共同参画プラン(案)について |
| | 4 | 大牟田市スポーツ推進計画(案)について |
| | 5 | 大牟田市総合体育館について |
| | 6 | 施設予約システムの進捗について |
| その他 | 1 | 社会教育委員の会議の1年を振り返って |
| | 2 | 第75回はたちの集いの実施状況について |
| | 3 | 2月23日のイベントについて |

4 「まなびのカタログ」「日本フィル九州講演」について

(2) 委員研修

① 令和4年度南筑後地区社会教育委員交流会

講 義 「社会教育委員として知っておくべき人権・同和教育推進の在り方」

講 師 南筑後教育事務所 人権・同和教育室

社会教育主事補 馬場 悠輝

講 話 「社会教育委員ができることってなに？～行動する社会教育委員とは～」

講 師 九州共立大学 教授 山田 明

ワークショップ

「社会教育委員として、積極的な活動をするためには」

助 言 九州共立大学 教授 山田 明

進 行 南筑後教育事務所 人権・同和教育室

社会教育主事補 古賀 直子

② 令和4年度筑後地区市町村社会教区委員研修会

実践発表 演 題 「子育てすんなら柳川隊～柳川市の子育て支援の歩み～」

説 明 柳川市社会教育委員 生田 裕子

基調講演 演 題 「子どもたちの明るい未来に向けて

～私たち大人の役割を考える～」

講 師 教育文化研究所 代表 長阿彌 幹生

○はたちの集いの開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第75回はたちの集いの開催

※R4年度から成年年齢が18歳に引き下げられたが、本市ではこれまでと同様に20歳になった青年を対象に記念式典を開催した。このため、式典の名称を公募し、「はたちの集い」と改めた。

と き R5年1月8日（日）15時～16時

ところ 文化会館

内 容 ウェルカムムービー 上映

・シティプロモーション動画

・消防団員募集（大牟田PRIDE）

アトラクション（司会：公募による式典対象者1人）

・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏

・ありあけ新世高等学校ダンス部パフォーマンス

式典（司会：公募による式典対象者2人）

・国歌独唱（公募による式典対象者1人）

・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）

・誓いの言葉（公募による式典対象者2人）

・ボランティア協力団体等（市内高等学校及びガールスカウト福岡県第7団）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（％）
	男性	女性	合計		
R2 年度	465	488	953	553	58.0
R3 年度	480	421	901	484	53.7
R4 年度	438	436	874	469	53.7

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて 90.0%以上を目指す。
	実績値 (%)	77.8	50.0	90.9		
	達成度 (%)	86.4	55.6	101.0		
地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0%以上を目指す。 〔現状値:47.5%(H30 年度実績)〕
	実績値 (%)	46.2	46.8	46.2		
	達成度 (%)	92.4	93.6	92.4		

【指標達成度に対する要因分析】

- ・本施策の成果指標である「将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生等の割合」については、前年度の50.0%から40.9ポイントアップの90.9%となり、目標達成度は、101%となりました。要因としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響がありつつも、青少年の体験活動等の各事業が計画どおりに実施できたことや、組織や団体等の活動も感染対策を行いながら取り組めたことによるものと考えられます。特に、高校生まちづくり体験事業では、事業に参加した高校生の企画・運営のもと、市内の高校等の協力を得て、「夢の花咲く青春祭」を開催することができました。この事業を通して、高校等や高校生等との繋がりが図られ、大牟田への関心を高める機会となりました。
- ・「地域にある課題解決に向けて、自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合」については、前年度の46.8%から0.6ポイントダウンの46.2%となり、目標達成度は、92.4%となりました。目標は達成できませんでしたが、市民への幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域ESD推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取り組みを行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成を図りました。

【今後の方向性】

- ・次世代の育成を推進するためには、これまでの地域や各団体における小学生を対象とした事業だけでは効果が限られることから、中学校や高校を巻き込んだ事業を展開していくことが必要です。そのために、小・中・高校生と地域のボランティアを担う大人が一体となった事業に取り組めます。
- ・家庭や学校、地域の理解とともに、多くのボランティアの協力が必要となることから、より多くの市民が各事業の取り組みや主旨を理解した上で協力していただけるよう、事業の必要性について引き続き周知・啓発を図ります。加えて、組織や団体が、継続して活動ができるよう組織のあり方を検討します。また、子どもたちが心身ともに健康でたくましく、思いやりの心やふるさとを愛する心を持った自立した大人へと成長していくことにつながるような支援を検討します。
- ・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の組立や運営を行います。また、出前講座の充実や生涯学習ボランティア派遣などを通して、市民への幅広い学習機会の提供を図ります。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち
誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。 そのため、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみることができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。	

（視点1）気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年3期に実施しました。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	38
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	9
にこにこ体操教室	〃 〃	㈱M&M	24
卓球教室	〃 〃	卓球協会	20
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	26
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	37
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	5
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	4(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	14
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	27
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	20
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	23
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	12
にこにこ体操教室	〃 剣道室	㈱M&M	21
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	22

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（1人1種目）。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
ミニバスケットボール	市民体育館アリーナ	バスケットボール協会	85
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	80
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	26

卓球	市民体育館アリーナ	卓球協会	42
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	15
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	48
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	41

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
市民グラウンドゴルフ大会	4月17日(日)	諏訪公園イベント広場	61
市民ソフトバレーボール大会	6月12日(日)	市民体育館	119
市民女子フットベースボール大会	9月11日(日)	緑地運動公園運動広場	171
市民健康マラソン大会	R5年1月15日(日)	御大典記念グラウンド	1,108
市民観梅ハイキング	R5年2月26日(日)	観光プラザ前～紹運寺	中止

(2) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

と き 10月9日(日)・10日(月・祝)

ところ 御大典記念グラウンド、市民体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主 管 スポーツ2022市民の祭典実行委員会

期 日	内 容	参加者(人)
10月9日(日)	ア 開会式	約2,000
	イ むかで競走、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	583
	ウ なわとび競争	453
	エ 少年団対抗競技・ニュースポーツ	185
	オ バザー・イベント	多数
10月10日(月・祝)	ア ソフトバレーボール大会	135
	イ グラウンドゴルフ大会	56
	ウ ミニサッカー大会	183

(3) チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われる、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動(運動)を行った住民の参加率を競うものです。本市では、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に、市民団体、行政等で実行委員会を組織して実施しました。

年 度	R2年度(中止)	R3年度	R4年度
期 日	5月27日(水)	10月27日(水)	5月25日(水)
参加者数	—	76,762人	74,871人
参 加 率	—	68.6%	67.9%
対戦相手自治体	(秋田県大仙市) —	長崎県大村市 56.1%	京都府福知山市 45.8%

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

(1) 地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング教室

期日	集合場所	コース	参加者(人)
R5年2月5日(日)	玉川小学校	玉川小学校～焼石山公園～萩ノ尾古墳～岩本眼鏡橋～玉川小学校	22

②スロージョギング教室

期日	場所	内容	参加者(人)
11月5日(土)	駛馬小学校体育館及び運動場	①スロージョギングの講義及び実技	15
11月19日(土)	駛馬小学校運動場	②スロージョギングの実技	15

③ニュースポーツ体験教室

期日	場所	内容	参加者(人)
R5年3月11日(土)	市民体育館	室内ペタンク	57

(2) スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では55人（R5年3月31日現在、R4～5年度定数：57人）のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施しました。

期日	場所	研修内容
7月3日(日)	生涯学習支援センター研修室、第二市民体育館	講義・実技 「楽しく運動 健康増進 地域に根付いたスポーツ振興！」

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

福岡県が主催する研修会等にスポーツ推進委員を派遣しました。

期日	研修名称	開催地
6月11日(土)	南筑後地区春季スポーツ推進委員研修会	筑後市
6月26日(日)	福岡県初任者スポーツ推進委員研修会	福岡市
8月21日(日)	福岡県中堅スポーツ推進委員研修会	福岡市
12月3日(土)	南筑後地区秋季スポーツ推進委員研修会	みやま市
12月11日(日)	福岡県スポーツ推進委員研修大会	太宰府市

(3) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運

営)を行いました。

地域行事数	参加者(人)	内容			
		企画	指導・助言	運営	その他
70	延べ 6,987	61	43	62	3

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕(再掲)

(第1編第4章・視点1の74ページを参照)

（視点２）スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくります。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

【主な事業・取組】

○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：１団体（Ｈ１７年度～ 右京ふれあい健康クラブ）

（右京ふれあい健康クラブ活動実績）

期日	内容	場所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	宅峰中学校、天領小学校	延べ 691
【クラブ活動】	バドミントン部（毎週火・土曜日、天領小学校） 大牟田 Jr バレー（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部（毎週土曜日、三川地区公民館） ソフトテニス部（毎週土曜日、緑地運動公園）		

○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、Ｈ２年７月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、大牟田ＯＰＥＮテニストーナメントなど２０大会を開催しました。

大会名	期日	会場	参加者(人)
大牟田 OPEN テニストーナメント大会	4月10日（日）	緑地運動公園他	24
市民軟式野球大会	5月15日（日）～10月9日（日）	延命球場	350
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月5日（日）	有明カントリークラブ	105
市長杯ソフトボール大会	7月10日（日）～7月31日（日）	緑地運動公園他	200
おおむた弓道選手権大会	7月17日（日）	宅峰中弓道場	71
大牟田市民バドミントン大会	8月21日（日）	市民体育館	136
大牟田市サッカー選手権大会	9月4日（日）	宮原中学校	96
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9月4日（日）	緑地運動公園他	208
大牟田市9人制バレーボール選手権大会	10月9日（日）	市民体育館	100
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月11日（火）	緑地運動公園	49
おおむたクレイ射撃大会	10月16日（日）	玉名クレイ射撃場	15
大牟田市剣道選手権大会	10月18日（火）	市民体育館	119

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月20日(日)	大牟田Jボウル	41
大牟田駅伝競走大会	R5年1月8日(日)	諏訪公園	515
大牟田市民卓球大会	R5年2月5日(日)	市民体育館	120
大牟田地区柔道大会	R5年3月5日(日)	大牟田高等学校	110
大牟田市民体育大会バスケットボール総合選手権大会	R5年3月5日(日)、21日(火・祝)	市民体育館	300
太極拳合同発表会	R5年3月22日(水)	まいピア高田	105
大牟田市ゲートボール選手権大会	R5年3月23日(木)	緑地運動公園	40
おおむた市長杯アーチェリー大会	R5年3月26日(日)	サンアビリティーズ おおむた	7

(2) 中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内容	対象者数	負担金額(円)
運営負担金	-	350,000
九州・全国大会出場負担金	8	194,605
地区・県大会出場負担金	652	634,143
地区・県新人大会出場負担金	255	279,590

○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

① トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第75回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き 4月10日(日)

と ころ 御大典記念グラウンド

主 催 九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会

共 催 大牟田市

主 管 福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後 援 朝日新聞社

参 加 48郡市 参加者933人

種 目 [男子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投、
三段跳、棒高跳

[女子の部] 100m、200m、400m、800m、3,000m、100mH、
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投

[男女混合の部] 4×400mリレー

[オープン] [中学生男子] 100m [中学生女子] 100m

[中学生男女混合] 4×100mリレー

[男子] 400mH(高校生以上)、3,000m(高校生以上)、
3,000m障害(高校生以上)

[女子] 400mH(高校生以上)、1,500m(中学生以上)、
3,000m障害(高校生以上)

区 分	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	大分市	福岡市	久留米市	佐賀市	小郡市
男 子	大分市	福岡市	佐賀市	小郡市	久留米市
女 子	大分市	福岡市	久留米市	佐賀市	合志市

②広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、その大会の費用の一部を補助しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5 月 3 日 (火・祝)	市民体育館他	400
有明杯アーチェリー大会	5 月 22 日 (日)	第二グラウンド	23
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8 月 6 日 (土)、7 日 (日)	諏訪公園他	576
大蛇山卓球大会	8 月 28 日 (日)	市民体育館	400
全九州壮年ソフトボール大会福岡県大会	8 月 28 日 (日)、9 月 4 日 (日)	緑地運動公園他	400
有明少年野球大会	10 月 10 日 (月・祝)、15 日 (土)、16 日 (日)、22 日 (土)、23 日 (日)	延命球場他	1,000
大牟田秋季記録会 (陸上)	11 月 3 日 (木・祝)	御大典記念グラウンド	1,803
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	11 月 20 日 (日)	緑地運動公園他	90
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12 月 17 日 (土)	市民体育館	202
優勝弓争奪近県弓道記念大会	R5 年 3 月 19 日 (日)	市民体育館	501

③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援を行いました。 共催 3 件 後援 29 件

(2) 県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、例年、夏季大会、秋季大会、市町村対抗駅伝大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

R4年度の夏季大会(水泳)及び秋季大会は、筑後地区で開催され、総合順位は6位でした。

①夏季大会(水泳) 開催日 8月21日(日)

競 技 名	開 催 地	派遣人数 (選手)	主 な 結 果 (入 賞)
水泳	県営筑後広域公園プール	37	1 位 (高校生男子 50m 平 泳 ぎ) 1 位 (高校生男子 50m バタフライ) 1 位 (18～29 歳男子 50m 自 由 形) 1 位 (高校生女子 50m バタフライ) 2 位 (30～34 歳男子 50m 自 由 形) 2 位 (少年の部男子 200m フリーリレー) 3 位 (中学生女子 50m 自 由 形) 4 位 (小4以下女子 50m 自 由 形) 4 位 (中学生女子 50m 背 泳 ぎ) 4 位 (少年の部女子 200m フリーリレー) 6 位 (小4以下男子 50m 自 由 形) 6 位 (小5・6 男子 50m 自 由 形) 6 位 (中学生男子 50m 自 由 形) 7 位 (高校生男子 50m バタフライ)

②秋季大会 開催日 9月24日(土)、25日(日)

競技名	開催地	派遣人数 (選手)	主な結果(1位～3位)
陸上競技	小郡市	16	
バスケットボール	大牟田市	48	1位 青年女子(公開) 2位 青年男子 3位 一般男子
バレーボール	久留米市、大木町	72	3位 青年男子
ソフトテニス	久留米市	16	
卓球	久留米市	19	
バドミントン	大刀洗町、筑前町、久留米市	27	3位 一般女子A(公開)
柔道	久留米市	10	3位 一般男子
剣道	柳川市	10	3位 青年男子
弓道	八女市	4	
ソフトボール	大川市	17	2位 一般男子Ⅲ
テニス	久留米市	7	

③ 冬季大会 開催日 11月20日(日)

競技名	会場	成績
第9回市町村対抗「福岡駅伝」	県営筑後広域公園周回コース(9区間 28.9km)	第3位(60市町村中) タイム:1時間33分52秒

○東京2020オリンピック・パラリンピック継承事業〔スポーツ推進室〕

①ジョージア

東京都(東京体育館)にて開催された「柔道グランドスラム東京2022」のラシャ・ベカウリ選手(大会結果:男子90kg級3位)の試合を、大牟田高等学校にて応援しました。同大会におけるジョージア柔道選手団とのスケジュールが合わず、合宿の受入れや交流事業の実施はできませんでした。

期 日	場 所	内 容	備 考
9月以降	市内学校等	在日大使等との交流事業	中止
11月～12月	大牟田市内	合宿受入れ(柔道グランドスラム東京2022)	中止
		合宿期間中の交流事業(歓迎レセプションほか)	中止
12月3日(土)	大牟田高等学校	柔道グランドスラム東京2022大会応援	柔道部50人

②アフガニスタン

医療NGOペシャワール会 PMS支援室長 藤田千代子氏を銀水小学校に招き、故中村哲医師の活動や思い、アフガニスタンの現状などについての授業を実施しました。

期 日	場 所	内 容	備 考
9月以降	オンライン等	在日大使等との交流事業	中止
3月9日(木)	銀水小学校	故中村哲医師の功績に関する授業(講師 藤田千代子氏)	6年生76人

③共通・その他

オリンピック出場経験者の石野枝里子氏（スケート／スピードスケート）と坪井保菜美氏（体操／新体操）を歴木中学校に招き、日本オリンピック委員会主催によるオリンピック教室を実施しました。生徒達は、オリンピズム（人生哲学）やオリンピックの価値などについて学習しました。

また、12月3日には諏訪公園で、本市や日本オリンピック委員会、福岡県などが主催し、オリンピックデーランを実施しました。オリンピック出場経験者であるオリンピック10名を招き、オリンピック実施競技の体験会や、オリンピックと一緒に約2kmを走るジョギング、トークショーやサイン会など、様々なプログラムを実施しました。

期 日	場 所	内 容	備 考
12月2日（金）	歴木中学校	オリンピック教室	2年生 86人
12月3日（土）	諏訪公園	オリンピックデーラン	延べ 1,221人

○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

①功労賞

小宮 孝吉	バドミントンの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
荒木 晃久	バレーボールの普及、発展並びに競技力の向上に寄与
池田 康則	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
田崎 靖雄	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
島野 知洋	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
堺 美穂	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
久富 優生	スポーツ推進委員として地域スポーツの指導育成に貢献
彌永 友民	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に寄与
田中 幸浩	スポーツ少年団の普及、発展並びに青少年健全育成に貢献

②記録賞

ア 優秀賞

大牟田高等学校 柔道部	令和3年度第44回全国高等学校柔道選手権大会	男子団体 優勝
	令和4年度金鷲旗高校柔道大会	男子団体 3位
	令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 第71回全国高等学校柔道大会	男子団体 3位

竹市 裕亮	令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 第71回全国高等学校柔道大会	男子個人 73 kg級 準優勝
	令和3年度第44回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人 73 kg級 3位
矢野 真鈴	令和3年度第44回全国高等学校柔道選手権大会	女子個人無差別級 準優勝
城戸 珊瑚	令和4年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 第71回全国高等学校柔道大会	女子個人 48 kg級 準優勝
青木 龍翔	令和4年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	男子 800m 2位 男子 1500m 3位

イ 奨励賞

浦崎 華瑠	第57回全国高等専門学校体育大会陸上競技	男子 3000m S C 1位
壹岐 ひなた	令和4年度九州中学校体育大会 第50回九州中学校水泳競技大会	100m自由形 優勝 200m自由形 優勝
金納 理輝	令和4年度九州中学校体育大会 第52回男子九州中学校柔道競技大会	95 kg超級 優勝
松尾 真昊	令和4年度九州中学校体育大会 第44回九州中学校陸上競技大会	女子 800m 優勝

（視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成、確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、市民体育館など老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

【主な事業・取組】

○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

（１）各種体育施設の整備・改修等

本市は、市民体育館、御大典記念グラウンド、延命球場等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区 分	R2 年度	R3 年度	R4 年度
利用団体	198	196	198
利用件数	9,421	7,269	10,899
利用人数(人)	135,955	101,741	158,342

○総合体育館整備事業〔スポーツ推進室〕

現在の市民体育館はＳ４９年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えています。このため、Ｒ２年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする基本設計を、Ｒ３年度は実施設計・施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめました。

この実施設計に基づき着工し、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、Ｒ５年度中の完成を目指します。

○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R5年3月10日(金)	市民体育館研修室A、アリーナ	スポーツ障害とメディカルチェック	22

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するに当たり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポ

ーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R5 年 2 月 22 日(水)	市民体育館研修室 A	コロナと運動効果 動脈硬化とは	48

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

【主な事業】**○大牟田市スポーツ推進計画の策定〔スポーツ推進室〕**

スポーツ都市宣言に掲げる目標の達成に向けた具体的な方策として、H23年3月に「大牟田市スポーツ振興計画」を策定し、様々な施策を推進してきましたが、R5年3月、スポーツ振興計画を引き継ぐ新たな10年計画である「大牟田市スポーツ推進計画」を策定しました。

新しい計画では、前計画の基本理念である「スポーツで人と人との絆をつくり、健康で活気あふれる都市(まち)づくり おおむた」を継承しつつ、今後の拡充が見込まれる分野については、新規事業としての観点も盛り込んでいます。

スポーツ推進計画は、本市のスポーツ行政の推進に当たっての指針と位置付けており、今後、この計画のもとで諸施策の推進を図っていきます。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値(%)	50.0	50.0	50.0	52.0	市スポーツ振興計画に掲げる目標値を基に設定(R5年度からは市スポーツ推進計画に掲げる目標値を基に設定)。 [現状値:46.3%(R元年度実績)]
	実績値(%)	38.5	40.2	39.6		
	達成度(%)	77.0	80.4	79.2		

【指標達成度に対する要因分析】

- ・本市のスポーツ振興計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- ・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、コロナ禍でも、感染防止策を十分に講じた上で各種スポーツ行事を開催するなど、可能な範囲で各種スポーツ活動の機会を提供しました。
- ・成果指標については、39.6%と、前年度と比較して0.6ポイント減となり、本市のスポーツ振興計画に掲げる目標値を達成することはできませんでした。
- ・目標値の達成に向けて、引き続き、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要です。

【今後の方向性】

- ・スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
- ・市民の誰もがどこでも、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、今後もジョージアとアフガニスタンとの交流事業等を継続することで、市民にスポーツの魅力を発信し、スポーツ振興、地域活性化を図ります。
- ・R6年4月オープン予定の総合体育館については、子どもから高齢者まで、また、障害がある人もない人も、誰もが気軽に利用しやすい環境を整えます。また、健康づくり、体力づくりの拠点、さらには災害時の防災拠点としての機能を充実することによって、スポーツや運動を通じて人を健康に、まちを元気にする緑に囲まれた施設を目指します。
- ・R5年度から14年度までを計画期間とする、新たな「大牟田市スポーツ推進計画」に基づき、各施策・事業を展開していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第6章】 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち
郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。 そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。	

（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れ、現在や未来とのつながりを理解する機会を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

ア 適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

イ 専用鉄道敷跡の防災対策工事を行いました（文化庁補助事業）。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

宮原坑第二堅坑巻揚機室の耐震補強工事（R2～5年度）に着手し、R4年度は修理・耐震補強工事を行いました（文化庁補助事業）。台風対策のため覆屋設置が遅れたこと等により、工期をR5年度まで延長しました。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

R4年度は個人10人から計51万5千円、企業1社から100万円、合計151万5千円の寄付を受けました。また、市指定文化財「三井港倶楽部」所有者の三井松島ホールディングス株式会社から申請があり、三井港倶楽部雨水排水路増設事業で基金から226万円拠出しました。

（単位：千円）

R3年度決算に伴う 基金高 ①	R4年度中の増減額		R4年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
35,898	1,516	2,260	35,154

○世界遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツ等の啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 950人

③環境美化活動の実施

- ア 宮原坑駐車場への団体による花の植栽
駿馬校区まちづくり協議会、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会
- イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等
NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④幼稚園・小学校・中学校・高校との協働

世界遺産学習に取り組む、はやめ幼稚園、駿馬小学校、宮原中学校の子どもたちが絵を描いた木製プランター（三池工業高校の土木科生徒が作成したもの）20個を、宮原坑に寄贈を受けました。

（２）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、官民協働で「宮原坑フェスタ」を実施し、また同日に「宮原坑耐震補強工事現場見学会」を実施しました（日本博補助事業）。

と き 11月3日（木・祝）10時～16時

ところ 宮原坑

内 容 ステージイベントや飲食ブースなどの催し、宮原坑耐震補強工事現場見学会

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、三池港展望所は毎日公開（ガイドは土日曜、祝日のみ）、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

台風により9月6日、18～19日、寒波により1月24日午後、25日に全施設を閉鎖しました。

見学者数 13,321人（宮原坑）、7,318人（三池港展望所）、1,995人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録7周年事業の実施

ア 世界遺産登録記念給食の実施

学務課の協力により、全市立小学校の給食で、炭鉱にちなんだメニュー（石炭ビーンズ）を実施しました。R4年度も三池エリアの構成自治体である大牟田市、熊本県荒尾市、宇城市の3市合同で取り組みました。

7月8日前後に各市の小中学校において実施

イ 啓発動画の制作

三池炭鉱・三池港をPRするオンラインツアー映像を三池エリアの構成自治体である大牟田市、荒尾市、宇城市及び佐賀県佐賀市と協力して制作しました（日本博補助事業）。

④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地元の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を初めて実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（駿馬小学校6年生が参加）。

6月9日、16日、24日に講座、11月17日に発表会

⑤宮原坑耐震補強工事オンライン公開

文化財を修理し保存していることを広く知ってもらうことを目的として、工事の様子を映像で記録し、動画を制作しインターネット上で公開しました（日本博補助事業）。

⑥出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 12件 視察対応 3件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 2件

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

(1) 指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

(2) 文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査

ア 試掘・確認調査（国・県補助事業）

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが765件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは8件、本調査を行ったのは1件でした。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」発掘調査（国・県補助事業）

史跡指定地外において発掘調査を行いました。

ウ 有明海沿岸道路建設に伴う発掘調査（受託調査事業）

国土交通省九州地方整備局有明海沿岸国道事務所の委託を受け、有明海沿岸道路延伸工事に先立ち工事区間内に所在する三池炭鉱専用鉄道敷跡の一部を発掘調査及び三次元測量調査し、記録保存を行いました。

②文化財防火デー

ア 県指定文化財「石造六地藏」が所在する法雲寺において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

と き R5年1月26日（木）

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

所有者の協力を得て、5月と11月に国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」を公開しました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（170～172ページ）を参照）

(3) 文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

県指定文化財「今山普光寺ならびに定林寺石塔群」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 13件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 1件

③三池カルタ・歴史資料館共催事業

ア 古代体験講座「勾玉づくり」

と き 8月17日（水）

参加者数 8人

イ 大牟田史跡めぐりウォーク-櫟野編-

と き R5年3月12日（日）

参加者数 15人

④大牟田古墳カードの製作・配布

大牟田古墳カード3種（潜塚古墳・黒崎観世音塚古墳・萩ノ尾古墳）を各100枚製作し、各古墳の見学者に配布しました。

配布場所

潜塚古墳カード 駿馬天満宮社務所

黒崎観世音塚古墳カード 三池カルタ・歴史資料館

萩ノ尾古墳カード フードショップヒラヤマ

【視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもが文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、若者が文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

（１）本市の特色を活かした文化芸術事業

①おおむたカルタものがたり

本市が「日本のカルタ発祥の地」であることを広く周知するため、市民等がカルタについて学び、体験できるイベントを開催し、地域のカルタ文化の普及・発展を促進するとともに、市内外に本市の魅力を発信しました。

と き ７月３１日（日）

ところ イオンモール大牟田 １階ありあけコート

内 容 ア ワークショップ

（ア）カルタをモチーフにしたクリスタルストラップづくり

（イ）オリジナル花カルタづくり

（ウ）貝がら絵付け体験

イ カルタ体験会

（ア）ジャンボカルタ体験

（イ）競技カルタ初心者教室

参加者 ワークショップ ２６人

カルタ体験会 １１人

②大牟田押し花アートフェスタ

R４年度は、若い世代に押し花を知ってもらうことに重点を置いて事業を実施し、より多くの人に押し花の魅力を知ってもらい、押し花文化の普及や発展につなげました。

と き ア ワークショップ&押し花はがきコンテスト

８月２０日（土）、２１日（日）

イ 展覧会 ９月１０日（土）、１１日（日）

ウ ふくおか県民文化祭 １１月６日（日）

ところ ア・イ ゆめタウン ２階わくわく広場

ウ 大牟田文化会館

内 容 ア 大牟田北高校書道部・美術選択生徒がデザインした台紙を用いたオリジナルはがきづくり（押し花はがきコンテストも同時開催）

イ はがきコンテスト応募者作品、押し花作家・杉野宣雄氏と北高書道部生徒のコラボ作品、北高書道部・美術選択生徒の押し花オリジナル作品等を展示

ウ ふくおか県民文化祭の展示部門で、北高生徒の作品１０点を展示

参加者 ア １３５人（コンテスト応募者は内１２０人）

③カルタ文化の普及

国内唯一の公立カルタ館を有していることから、カルタ文化の普及啓発事業を実施しました。

（内容等については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（１７０～１７２ページ）を参照）。

(2) 大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数 17件(計画事業数は18件)※1事業中止

入場者数 7,960人

事業名	主管団体名	と き	ところ
第30回ありあけ山野草会	ありあけ山野草会	4月7日(木) ～4月9日(土)	文化会館展示室
第69回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	4月19日(火) ～4月24日(日)	文化会館展示室
公募事業 大牟田市退職小・中学校長会 「趣味の作品展」	大牟田市退職小学校 長会	6月9日(木) ～6月12日(日)	文化会館展示室
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	6月26日(日)	文化会館小ホール
第16回スプラウトダンス発表会	大牟田ストリートダ ンス協会	7月17日(日)	文化会館大ホール
第14回上津原仁子バレエ研究所 発表会	大牟田バレエ協会 (上津原仁子バレエ 研究所)	8月28日(日)	文化会館大ホール
大牟田押花フェスタ2022	大牟田押花の会	9月17日(土) ～9月20日(火)	文化会館展示室
創作太鼓と郷土芸能の祭典 「つなげよう郷土の芸能次世代 へ」	おおむた和太鼓 愛好会	9月25日(日)	文化会館大ホール
歌謡フェスティバル2022	有明歌謡連盟	10月2日(日)	文化会館大ホール
第1回 舞台芸能合同発表会	大牟田民舞協会 (日本舞踊幸若流)	10月9日(日)	文化会館大ホール
ふるさと大牟田の歴史と文化講 座	三池史談会	10月8日(土) 10月15日(土)	文化会館研修室
クラシックギターのつどい 大牟田クラシックギター愛好会 第8回定期演奏会	大牟田クラシックギ ター愛好会	10月15日(土)	文化会館大ホール
三曲(箏・三絃・尺八)演奏会	大牟田三曲協会	10月16日(日)	文化会館小ホール
第71回大牟田美術展 前期:洋画、彫刻、写真、陶芸 後期:日本画、書道、染色	大牟田美術協会	前期:10月25日(火) ～10月30日(日) 後期:11月4日(金) ～11月8日(火)	文化会館展示室他
俳句大会	大牟田俳句連合会	10月28日(金)	文化会館研修室
第39回大牟田市民音楽フェステ ィバル 2022 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 (大牟田合唱連盟)	10月30日(日)	文化会館大ホール
各流派合同日本舞踊勉強会	大牟田日本舞踊協会	11月6日(日)	文化会館小ホール
第65回吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	中止	

○文化芸術体験を通じた子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

(1) まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数 18件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	5月20日(金)
駛馬小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月13日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	6月16日(木) 6月17日(金) 6月21日(火)
駛馬小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月20日(月)
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月27日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	9月12日(月)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	9月26日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	11月18日(金) 11月22日(火) 11月24日(木)
吉野小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	11月21日(月)
吉野小学校	華道	大牟田文化華道連盟	11月28日(月)
三池小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月29日(火)
駛馬小学校	日本舞踊	日本舞踊 幸若流	12月5日(月)
明治小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12月20日(火)
駛馬小学校	音楽(箏・三絃・尺八)	大牟田三曲協会	1月23日(月)
銀水小学校	美術(押し花)	花みずき会	1月23日(月)
吉野小学校	音楽(箏・三絃・尺八)	大牟田三曲協会	2月13日(月)
みなと小学校	茶道	茶道裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	2月14日(火)
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	2月23日(木・祝)

(2) 子どもの文化芸術体験支援事業

大牟田市子どもアートスクールツアー

子どもたちが劇場や美術館等に行って、文化芸術に直接ふれる体験ツアーを実施しました。R4年度は美術品等を鑑賞体験しました。

と き R5年3月28日(火)

ところ 福岡市美術館、福岡市博物館

参加者 市内在住の小学4～6年生40人

(3) 若者の関心に合わせた文化芸術事業

ダンスによる若者育成事業 ダンスチャレンジおおむた

若者の文化活動にダンスは身近になっておりダンスに寄せる若者の関心が高いほか、本市では全国レベルの大会で活躍する若者も多いことから、若者の関心に合わせた文化芸術事業として実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、元年度以来、3年ぶりに開催しました。

と き R 5 年 1 月 1 5 日 (日)
ところ 大牟田文化会館大ホール
参加者 約 6 0 0 人

(4) 音楽を通したおおむた未来応援事業

8 月 2 3 日に本市と公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団が締結した推進協定に基づき、日本フィルハーモニー交響楽団大牟田公演において、本市の小・中・特別支援学校の児童生徒の専用席(おおむた未来応援シート)を確保し、次世代を担う子どもたちに対して鑑賞の機会を提供しました。また、ミニコンサートも開催しました。

と き ① R 5 年 2 月 1 9 日 (日)
② R 5 年 2 月 2 0 日 (月)
内 容 ① 日本フィルハーモニー交響楽団 大牟田公演
② ミニコンサート
ところ ① 大牟田文化会館
② てとてのたまご (菅原病院)
参加者 ① 約 1 3 0 人
② 5 0 人 (内子ども 2 5 人)

【視点３）文化芸術の環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援等により、市民が身近に文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。また、文化芸術により生み出される様々な価値を人づくり、まちづくりの面で活かし、まちの魅力を高める取組みを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について改めて検討し、機能の充実を図ります。

【主な事業】

○市民（民間）団体等による文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 ５９件

（２）大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの１事業として実施しました。

公募事業 大牟田市退職小・中学校長会「趣味の作品展」

と き ６月９日（木）～６月１２日（日）

と ころ 大牟田文化会館展示室

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕

（１）羽山台小学校演劇ワークショップ・講演会

講師に平田オリザ氏を招き演劇の手法を活用して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むほか、多様な価値観をもつ人との対話に必要なことについて理解を深める講演会やワークショップ等を実施しました。

と き ① １１月２２日（火）、Ｒ５年２月１０日（金）

② １１月２３日（水・祝）

③ Ｒ５年２月１１日（土・祝）

内 容 ① 羽山台小学校ワークショップ

② 市内小学生等を対象にしたワークショップと講演会

③ 市内中高生や大人を対象とした演劇ワークショップ

場 所 ① 羽山台小学校

②③ 大牟田文化会館

参加者 ① ４７人

② ワークショップ：１７人 講演会：２０人

③ ２２人

○文化芸術による交流創出事業〔生涯学習課〕

（１）広域連携事業

① 有明美術展

大牟田市、柳川市、みやま市、大川市、荒尾市の美術団体及び、各市町の連携により、圏域内の美術家の優れた作品を展示しました。

と き ５月３１日（火）～６月５日（日）

と ころ 大牟田文化会館 展示室他

② 有明圏域定住自立圏共同文化事業

文化の視点から有明圏域定住自立圏の各市町の様々な魅力を発信するため、共同文化事業を実施しました。Ｒ４年度は、写真展（文化をテーマにした写真による地域紹介）

を開催しました。

- と き ① 9月1日（木）～9月30日（金）
 ② R5年1月5日（木）～1月20日（金）
- ところ ① 福岡県庁（福岡よかもんひろば）
 ② くまもと県民交流館パレア

○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はS61年（1986年）、カルタックスおおむたはH3年（1991年）にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

- ・文化会館 空調設備更新工事、事務室前トイレ改修工事、舞台照明移動器具等更新など
- ・カルタックス 駐車場改修工事、図書館児童書エリア外フロアカーペット張替など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	文化庁「文化芸術推進基本計画」に掲げる目標値を基に設定(R2年80.0%) [現状値:57.9%(H30年度実績)]
	実績値(%)	44.5	38.2	47.3		
	達成度(%)	55.6	47.8	59.1		

【指標達成度に対する要因分析】

- ・文化芸術事業の開催を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ、市公式LINE等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布・掲示し、積極的な広報を行いました。
- ・市民が参加しやすい身近な文化芸術事業として、大牟田市民文化のつどい事業を年間で17事業実施しました。R3年度に比べ事業数は増加しているものの、参加者数がそれほど増加していないことなどが指標実績値に影響している可能性があります。
- ・新しい生活様式を踏まえたイベントの実施が増加し、R3年度に比べ文化芸術に触れる機会は戻りつつありますが、依然としてコロナ禍前のR元年度の実績値57.9%を下回っており、新型コロナの影響が指標実績値に影響している可能性があります。
- ・郷土の歴史への興味関心を高めるために、次世代を担う子どもたちを対象とした小学生バス見学会や文化財に関する出前講座を継続して実施しました。また、地域で長年まちづくり活動をされている校区まちづくり協議会等と協力して宮原坑フェスタを実施するなど、世界遺産・宮原坑を通じて郷土を愛する気持ちと誇りを育む事業に取り組みしました。

【今後の方向性】

- ・文化芸術を通して人々が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かなまちを実現するため、引き続きさまざまな施策に取り組みます。特に次世代を担う人づくりに力を入れ、今後も文化芸術を通して子どもや若者の豊かな感性を育み、心豊かでたくましい青少年の育成を図る施策を推進します。また、R5年度は次期大牟田市文化芸術振興プランを策定することとしているため、市民意識調査やアンケート等から市民ニーズを的確に把握し、グローバル化やデジタル化等の社会状況の変化に応じた事業をプランに反映していきます。
- ・文化芸術団体や大牟田市文化振興財団等と連携し、十分な感染防止策を講じた上で、多くの市民が安心して気軽に文化芸術に触れてもらえるよう事業を実施していきます。
- ・世界遺産を含む市内に所在する文化財の保存と活用を行うことで、まちの歴史や文化について、多くの市民が理解と関心を深め、まちへの愛着と誇りを育んでいくことと併せ、引き続き市内外の来訪者に世界遺産の魅力を現地で直接触れてもらうことで、顕著な普遍的価値を広く理解してもらえるよう取り組みます。

学 識 経 験 者 意 見

大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価についての意見書

福岡教育大学
教授 石丸 哲史

このたび、大牟田市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行った。上記第26条第2項においては、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」とあり、このことにもとづき、本稿では、点検・評価の手法に焦点を置きながらも、この趣旨から逸脱することない範囲において施策そのものについても言及する。

○教育委員会の活動状況について

定例会・臨時会については、議案名なども掲載されており、審議内容をうかがい知ることができる点検評価書となっている。このほか、総合教育会議、学校訪問、各種行事および研修会等への出席、勉強会の開催など、教育委員会の活動について詳らかにされており、市民への広報として妥当なものとなっている。

総合教育会議では、小中一貫教育制度の取組について協議や意見交換がなされている。重要な成長期といえる小中の9年間においてどのような教育を実施していくか、市長と教育委員会とがミッションとビジョンを共有できる有意義な時間といえる。この会議には、実際の現場の状況の把握が欠かせないが、学校訪問等による現場理解によって現実的な議論ができていると思う。

勉強会については、さまざまな形態によって各市町村教育委員会で実施されていると思うが、管見の限りでは大牟田市のように充実しているところは少ないだろう。各方面でご活躍の教育委員が大牟田市の教育の現状と課題を把握し、その解決に努めようとしている姿が、頻度と内容から見て取ることができる。令和4年度においても、学力向上、小中一貫教育制度、学校再編整備等の様々なテーマを設定し、延べ15回の勉強会を開催されている。なかでも学力向上については、とかく教壇に立つ者の任務とされ、それ以外の者は等閑視しがちであるが、近年の大牟田市には学力向上に向けた積極的な取組が見られることから、この背景には教育委員のこのような積極的姿勢も反映していることであろう。

また、喫緊の課題とされる学校再編整備については、地域の状況を承知している教育委員の意見が貴重なものとなる。市民の視点に立って議論を行うよう留意している姿が見られる。今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策等の重要な議題について積極的に情報収集を行うとともに、本市の教育の

主要な課題について継続的に勉強会を開催していくとされており、教育委員会会議以外の活動についても、教育現場の実態把握や関係機関からの情報収集とともに、研修会への出席等を通じた資質の向上に努めていくとされており、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育委員会の質の向上をめざしたさらなる活動を大いに期待したい。

教育委員会活動の情報発信については、積極的な広報姿勢が見られ、会議開催の告知にあたっては市庁舎掲示場とウェブサイトにて、また、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにするとともに、ウェブサイト上で会議録を公開している。さらに、年3回発行「教育委員会だより」によって情報発信を充実させている。今後も、引き続き広報活動の充実を図っていただきたい。

○教育委員会および市長部局関係分における重点事業について

◆教育委員会関係分

令和4年度に3年目を迎える総合計画「まちづくり総合プラン」に基づいて策定した教育振興基本計画「大牟田市学校教育振興プラン2020～2023」によって年度ごとの事業計画である「大牟田市学校教育振興事業計画」の取組実績をもって教育委員会分の点検・評価とされている。そのため、大牟田の「人づくり」に関する施策目的や成果指標などの基本的な部分について、上記三者は軌を一にしているといえる。このことは、市全体の計画における教育の位置づけが市民に対してわかりやすいものとなり、教育委員会関係分と市長部局関係分の両者を点検・評価の対象としているだけに重要である。

I-1 未来を創るE S D推進事業について

本市の中核事業といえるE S Dにかかるさまざまな事業が展開されており、取組実績があげられている。令和4年度は、E S Dを実践する各学校の自主性を尊重し教育委員会がリードしつつも決して事業を押し付けることなく、学校の特色や所在地の地域性を反映した個性ある取組が見られた。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、さまざまな取組を実施していくうえで工夫や努力があったことと思う。また、S D G s 未来都市としては、持続可能な社会構築のための人づくりであるE S Dに委ねることは合理的であり、「ユネスコスクール・S D G s / E S D 交流会」や「ユネスコスクール・S D G s / E S D 子どもサミット」では、広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進しており、市民への理解と導かれる。

すべての市立小・中・特別支援学校がユネスコスクールへの加盟承認を受けて10年が経過した今、これまでの取組を総括し、各学校が自校の児童生徒の実態や地域の特性を踏まえ、学校が掲げる教育目標の達成に向けてめざすS D G s を推進し、

重点化していくとあるように、教育委員会としては、その支援に傾注していただきたい。

I-4 小中一貫教育推進事業について

中1ギャップや不登校の解消などに貢献するとされる小中一貫教育では、義務教育9年間を見通した教育課程編成が大きなカギとなるが、小・中学校両者の文化が異なるだけに導入に向けては慎重な手続きが必要とされる。かかる懸念を払拭すべく円滑な制度導入に向け、さまざまな取組が進められている。小・中学校相互の授業公開や合同研修の回数が目標値を大きく上回る実績を示していることから、今後ともこれを着実に進めていく必要がある。また、中学校区が小学校区を空間的に包含していることから、中学校を核とした学校運営協議会を設置し地域学校協働活動推進員を配置し、地域とともにある学校をめざしていくことは小中一貫教育の地域への理解を得るものとしても効果的である。引き続き取組を深めていただきたい。

II-1 「学びに向かう力」育成推進事業について

中央教育審議会は、確かな学力を「知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等までを含めたものである」としており、大牟田市はこれまでE S Dによって非認知能力を含めたかかる力を育んできた。全国学力・学習状況調査は、すべてとはいわないまでも上記の学力を測定できる機会であるといえるが、残念ながらこの結果による検証にはこれまで積極的ではなかった。

しかしながら、4年度から指標を「全国学力・学習状況調査の標準化得点」に改め、目標値を、前回調査を上回るとしたことはまことに画期的であり、点数そのものに目を背けてきたのではないかというこれまでの疑念を払拭するものである。この姿勢を大いに讃えたい。残念ながら、これを達成できたのは小学校の算数のみであるが、一朝一夕で達成できるものではなく、この指標に改めたこと自体の意義がこの実績を上回るものである。達成できた背景となる取組を明らかにし、どうすれば標準化得点を上昇させることができるか、精緻な分析を行い、授業改善など取組を深めていく必要がある。

IV-1 スクールソーシャルワーカー活用事業について

上述の学力向上に向けては、学校だけの尽力で達成できるものではなく、家庭との連携も欠かせない。学力には不登校なども影響するだけに、さまざまな要因を検討して解決していく必要がある。こういった課題解決には、きめ細かな対応ができるスクールソーシャルワーカーの貢献が欠かせない。専任のスクールソーシャルワーカーを配置することによって、児童生徒の不登校の兆候を見逃さない速やかな対

応ができ、支援が必要な児童生徒や家庭に対し継続的に支援したことで、不登校生徒の出現率低下が明らかになっている中学校がある。この実績をふまえ、今後もスクールソーシャルワーカーの専門的知識・技術を活用し、支援の充実を図っていただきたい。

V-1 人権・同和問題啓発事業について

市民一人ひとりが尊重される社会の実現をめざすためには、人権や同和問題等に対する理解と認識を深めることは言を俟たないが、かかる啓発の機会が浸透しなければ結果として実現は困難である。講演会への参加者の固定化は深刻な問題であり、毎年度指摘されていることから、さまざまな方策を模索しながら改善していく必要がある。

◆市長部局関係分

市長部局所管である社会教育、文化、スポーツの分野については、「まちづくり総合プラン」に掲げる関係施策に対する点検・評価は、社会教育の振興や文化財の保護などの教育委員会の権限に属する事務について実施されている。

4-1 高校生まちづくり体験事業について

義務教育を終えた段階になると、企画・運営能力とともに客観的かつ合理的な評価能力が育っていることが多く、大人の世界に誘うべく実践場面の提供によってさらなる発展が期待できる。本事業は、まさにユースの可能性や潜在性を高めるものとして実に有意義であるだけでなく、先輩の姿から小中学生が学ぶところも少なくない。達成感や自信は、さらなる学習意欲にもつながることから、ユース自体の資質・能力向上にも貢献する。このような広義の学びの機会を提供する際には、生涯学習の観点から市全体の人づくりを俯瞰することが必要であり、市長部局が担う合理性がある。

事業に参加した高校生等全員から「参加してよかった」とのアンケート回答があり、達成感やふるさとへの愛着も高まっていることから、地域のために自らチャレンジできる人づくりをめざす重要性について説明を強化し、本事業の拡充に向けて尽力していただきたい。

4-2 学校E S D支援事業について

学校におけるE S D実践に対して地域社会が支援・応援することは、学校だけで完結できるものではないだけに、地区公民館が学校のニーズを把握し、ニーズに応じた地域との調整や必要な支援を行うコーディネーターの役割を果たすということとは意義が大きい。ただし、地区公民館が学校教育のE S Dに対して協力すること

によって、社会教育におけるE S Dを推進することができるというロジックには、精緻なシナリオが求められる。社会教育もしくは生涯教育におけるE S Dの推進の重要性を否定するものではないが、取組実績からは、E S D支援なのか単なる学校支援なのか不明であり、地域住民や地区公民館が主体的にE S Dに取り組むことに直接的にはつながっていない気がする。地区公民館の存在意義の確認や活性化という観点からは、かかる事業の意義は見いだせるが、学校への支援にとどまらず市民や企業などが持続可能なまちづくりへの参画につながる取組も期待したい。

地区公民館の機能や役割について学校への周知が不十分なため、提供できる支援について周知を図る必要性や、学校のニーズ把握のため学校が取り組むE S Dへの理解を深めることが必要であるとしていることから、学校と公民館との相互理解に努めた取組に留意する必要がある。

冒頭申し述べたように、本稿では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨に則り、事業・取組にかかる点検・評価の手法のみならず、事業・取組そのものについても言及するとした。

周知のように、第4期教育振興基本計画が閣議決定された。大牟田市においては次期学校教育振興プラン策定に向けて参酌されるであろうが、本計画には、コンセプトとして「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げられている。E S Dの推進拠点であるユネスコスクールに市内全校が加盟するなど、前者についてはまさに大牟田市がこれまで取り組んできたことであり、先見の明があったといえる。一方、後者については、ウェルビーイングと学力は対立的に捉えるのではなく、個人のウェルビーイングを支える要素として学力や学習環境、家庭環境、地域とのつながりなどがあり、それらの環境整備のための施策を講じていくという視点が重要であるとされている。

大牟田の各事業を概観すると、上述のウェルビーイングを支える要素である、学力、学習環境、家庭環境、地域とのつながりに全力を傾倒している。とりわけ、地域とのつながりについては、ユネスコスクール・SDGs/E S D交流会に見られるように、学校関係者のみならず、市長をはじめとした市役所関係、市内企業・団体各位など、市全体で持続可能な社会構築に勤しんでいる。このような取組を通じて様々な主体間にヨコの関係が構築され、「人が育ち、人でにぎわい、人を大切にする」という、まさにウェルビーイングを希求する都市が実現する。このような大牟田市を見ていると、「まちづくりはひとづくりから」だけでなく、「ひとづくりはまちづくりから」のストーリーも垣間見えてくる。

以上

資 料 編

〔 歴代教育委員等 〕

1 歴代教育委員

氏 名	期 間
黒 田 潔	S27. 10. 5～ 31. 9. 30 31. 10. 1～ 35. 9. 30
藤 津 潔	27. 10. 5～ 31. 9. 30
米 倉 勇 喜	27. 10. 5～ 31. 9. 30 31. 10. 1～ 34. 4. 18
三 島 利 信	27. 10. 5～ 31. 9. 30
古 賀 初 男	27. 10. 5～ 29. 9. 30
堀 弘	29. 10. 1～ 31. 9. 30
湯 村 誠 男	31. 10. 1～ 33. 9. 30 33. 10. 1～ 37. 9. 30
水 町 キ ヲ	31. 10. 1～ 32. 9. 30 32. 10. 1～ 36. 9. 30 36. 10. 13～ 40. 10. 12
川 畑 昭二路	34. 5. 19～ 35. 9. 30
稲 員 鎌 造	36. 3. 16～ 40. 3. 15
平 木 次 郎	36. 3. 16～ 40. 3. 15 40. 4. 21～ 41. 10. 7
近 藤 広 蔵	37. 10. 3～ 41. 10. 2
古 崎 真 直	40. 4. 21～ 41. 8. 24
松 本 勇	40. 11. 13～ 41. 8. 24
猿 渡 五三郎	41. 8. 25～ 44. 4. 20 44. 5. 1～ 48. 4. 30
藤 田 光 雄	41. 8. 25～ 42. 10. 15 42. 12. 21～ 46. 12. 20
小田原 武 則	41. 10. 14～ 45. 10. 13 45. 10. 14～ 49. 10. 13
坂 口 長一郎	40. 10. 14～ 44. 4. 20 44. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 15～ 52. 5. 14 52. 5. 20～ 56. 5. 19
清 水 龍 哉	46. 12. 24～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 54. 12. 23
相 島 壽	48. 5. 15～ 52. 5. 14 52. 5. 20～ 56. 5. 19 56. 5. 20～ 60. 5. 19
永 田 恒 久	49. 10. 14～ 53. 10. 13 53. 10. 14～ 57. 10. 13
蒲 池 當	56. 5. 20～ 60. 5. 19
大 隅 一 雄	54. 12. 24～ 58. 12. 23 58. 12. 24～ 62. 4. 15
大久保 修 吉	57. 11. 20～ 61. 11. 19
辻 政 義	62. 7. 24～ 62. 12. 23 62. 12. 24～ H3. 12. 23
河 口 政 俊	60. 5. 27～ 元. 5. 26 元. 5. 27～ 5. 5. 26
長 島 政 勝	60. 5. 27～ 元. 5. 26 元. 5. 27～ 5. 5. 26
圓 佛 洋 右	62. 3. 12～H 3. 3. 11 3. 3. 13～ 7. 3. 12 7. 3. 13～ 11. 3. 12 11. 3. 13～ 15. 3. 12
蓮 澤 浩 明	3. 12. 24～ 7. 12. 23 7. 12. 24～ 11. 12. 23 11. 12. 24～ 15. 12. 23
山 本 進 一	5. 5. 27～ 9. 5. 26 9. 5. 27～ 13. 5. 26 13. 5. 27～ 15. 9. 30

氏 名	期 間
木 村 和 子	5. 5. 27～ 9. 5. 26 9. 5. 27～ 13. 5. 26 13. 5. 27～ 17. 5. 26
山 本 和 夫	15. 3. 13～ 19. 3. 12 19. 3. 13～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 31. 3. 12 31. 3. 13～R 5. 3. 12 5. 3. 13～
後 藤 和 子	15. 10. 1～ 17. 5. 26 17. 6. 1～ 21. 5. 31
大 平 修	16. 3. 1～ 20. 2. 29 20. 3. 3～ 24. 3. 2 24. 3. 3～ 28. 3. 2
古 後 八 重 子	17. 6. 1～ 21. 5. 31
池 田 美 子	21. 6. 1～ 25. 5. 31
嶋 田 桂 子	21. 6. 1～ 25. 5. 31 25. 6. 1～ 29. 5. 31 29. 6. 1～R 3. 5. 31 3. 6. 1～
本 山 清 美	25. 6. 1～ 29. 5. 31 29. 6. 1～ 30. 5. 31
東 秀 樹	28. 3. 22～R 2. 3. 21 2. 3. 22～
笹 井 葉 子	30. 6. 1～R 4. 5. 31
木 場 真 帆	4. 6. 1～

2 歴代教育長

氏 名	期 間
堀 次 助	S27. 11. 1～ 31. 9. 30
稲 員 鎌 造	31. 10. 1～ 34. 9. 30
樋 口 種 樹	34. 10. 5～ 38. 10. 4
安 元 薫	38. 11. 8～ 41. 8. 24
池 上 尚 司	41. 9. 5～ 44. 11. 12 44. 11. 13～ 46. 6. 7
梶 原 秋 雄	46. 7. 23～ 48. 11. 12
池 田 喜 市	49. 3. 9～ 53. 2. 26
黒 田 弘	53. 2. 27～ 57. 2. 26 57. 2. 27～ 61. 2. 26 61. 2. 27～H 2. 2. 26
西 田 茂	2. 3. 10～ 6. 2. 26
荒 木 和 久	6. 3. 4～ 10. 3. 1 10. 3. 2～ 14. 3. 1 14. 3. 2～ 18. 3. 1
宮 田 忠 雄	18. 3. 2～ 22. 3. 1 22. 3. 2～ 26. 3. 1
安 田 昌 則	26. 3. 3～ 27. 3. 31 27. 4. 1～ 30. 3. 31 30. 4. 1～R 3. 3. 31
谷 本 理 佐	3. 4. 1～

3 歴代教育長職務代理者

氏 名	期 間
山 本 和 夫	H27. 4. 1～ 30. 3. 31 30. 4. 1～R 3. 3. 31 3. 4. 1～ 5. 3. 12

氏 名	期 間
嶋 田 桂 子	5. 3. 13～

4 歴代教育委員長

氏 名	期 間
藤 田 光 雄	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
坂 口 長一郎	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
小田原 武 則	49. 5. 21～ 49. 10. 13
清 水 龍 哉	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
相 島 壽	51. 12. 24～ 52. 5. 14
永 田 恒 久	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
相 島 壽	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
永 田 恒 久	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 13
相 島 壽	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大久保 修 吉	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 61. 11. 19
河 口 政 俊	62. 3. 12～ 63. 3. 11
長 島 政 勝	63. 3. 12～H元. 3. 11
圓 佛 洋 右	元. 3. 12～ 2. 3. 11
辻 政 義	2. 3. 12～ 3. 3. 11
河 口 政 俊	3. 3. 12～ 4. 3. 11
長 島 政 勝	4. 3. 12～ 4. 9. 11
圓 佛 洋 右	4. 9. 12～ 5. 9. 11
蓮 澤 浩 明	H 5. 9. 12～ 6. 9. 11
山 本 進 一	6. 9. 12～ 7. 9. 11
木 村 和 子	7. 9. 12～ 8. 9. 11
圓 佛 洋 右	8. 9. 12～ 9. 9. 11
蓮 澤 浩 明	9. 9. 12～ 10. 9. 11
山 本 進 一	10. 9. 12～ 11. 9. 11
木 村 和 子	11. 9. 12～ 12. 9. 11
圓 佛 洋 右	12. 9. 12～ 13. 9. 11
蓮 澤 浩 明	13. 9. 12～ 14. 9. 11
山 本 進 一	14. 9. 12～ 15. 9. 11
木 村 和 子	15. 9. 12～ 16. 9. 11
山 本 和 夫	16. 9. 12～ 17. 9. 11
後 藤 和 子	17. 9. 12～ 18. 9. 11
大 平 修	18. 9. 12～ 19. 9. 11
古 後 八 重 子	19. 9. 12～ 20. 9. 11
山 本 和 夫	20. 9. 12～ 21. 9. 11 21. 9. 12～ 22. 9. 11 22. 9. 12～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 24. 3. 12 24. 3. 13～ 25. 3. 12 25. 3. 13～ 26. 3. 12 26. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 27. 3. 31

5 歴代教育委員長職務代行者

氏 名	期 間
坂 口 長一郎	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
小田原 武 則	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
清 水 龍 哉	49. 5. 21～ 49. 10. 15
相 島 壽	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
永 田 恒 久	51. 12. 24～ 52. 5. 19
相 島 壽	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
永 田 恒 久	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
相 島 壽	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 21
蒲 池 當	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大 隅 一 雄	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 62. 3. 11
長 島 政 勝	62. 3. 12～ 63. 3. 11
圓 佛 洋 右	63. 3. 12～H元. 3. 11
辻 政 義	元. 3. 12～ 2. 3. 11
河 口 政 俊	2. 3. 12～ 3. 3. 11
長 島 政 勝	3. 3. 12～ 4. 3. 11
圓 佛 洋 右	4. 3. 12～ 4. 9. 11
蓮 澤 浩 明	4. 9. 12～ 5. 9. 11
山 本 進 一	H 5. 9. 12～ 6. 9. 11
木 村 和 子	6. 9. 12～ 7. 9. 11
圓 佛 洋 右	7. 9. 12～ 8. 9. 11
蓮 澤 浩 明	8. 9. 12～ 9. 9. 11
山 本 進 一	9. 9. 12～ 10. 9. 11
木 村 和 子	10. 9. 12～ 11. 9. 11
圓 佛 洋 右	11. 9. 12～ 12. 9. 11
蓮 澤 浩 明	12. 9. 12～ 13. 9. 11
山 本 進 一	13. 9. 12～ 14. 9. 11
木 村 和 子	14. 9. 12～ 15. 9. 11
山 本 和 夫	15. 9. 12～ 16. 9. 11
後 藤 和 子	16. 9. 12～ 17. 9. 11
大 平 修	17. 9. 12～ 18. 9. 11
古 後 八 重 子	18. 9. 12～ 19. 9. 11
山 本 和 夫	19. 9. 12～ 20. 9. 11
後 藤 和 子	20. 9. 12～ 21. 5. 31
大 平 修	21. 6. 1～ 21. 9. 11 21. 9. 12～ 22. 9. 11 22. 9. 12～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 24. 3. 12 24. 3. 13～ 25. 3. 12 25. 3. 13～ 26. 3. 12 26. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 27. 3. 31

〔 機構と職員数 〕

1 機構及び事務分掌

(令和5年3月31日現在)

教育委員会

事務局	総務課	教育委員会会議、規則・規程の制定及び改廃、公印管理、文書の收受及び発送、職員(教職員を除く)の人事・給与及び旅費、職員の研修・福利厚生及び表彰、職員団体その他労務管理、労働安全衛生、教育行政の各種統計調査、事務局及び教育機関の事務の管理調整、公示、教育行政に関する相談に関すること
	学校再編推進室	市立学校の再編の推進、市立学校適正規模・適正配置検討委員会に関すること
	教育みらい創造室	事務局及び教育機関の事務の企画に関すること
	学校教育課	市立学校の設置及び廃止、児童生徒等の入退学及び転校、児童生徒等の就学の免除及び猶予、長期欠席中児童・生徒の調査及び出席の督促、通学区域、学級編制、教職員の人事・給与・免許・職員団体・福利厚生・表彰・調査・統計、学校施設の開放(学校体育施設の開放事業に係るものを除く)、学校運営の管理、市立学校通学区域審議会、情報管理に関すること
	指導室	学校教育の指導、学校の教科内容、教職員の研修、教科用図書の採択、学校の教材及び教具の指導、児童・生徒の文化体育行事、児童・生徒の学力等の調査、教育研究所の運営についての指導助言、就学支援委員会、いじめ防止対策委員会に関すること
	教育研究所	地域、児童生徒の教育内容及び学習指導並びに教育評価等に関する調査研究、各種調査研究事項の刊行、教育相談事業と研究、資料収集と供覧、研修講座
	ユネスコスクール 支援センター	市立学校におけるユネスコスクールの取組への支援、ユネスコスクール及びESDに関する資料及び情報の収集及び提供、知識の普及及び啓発、ユネスコスクール間の交流に関すること
	学務課	学校基本調査、就学奨励補助金交付の認定、学校給食及び学校保健、児童・生徒及び教職員の健康診断・就学時健康診断、学校環境の衛生管理、児童・生徒の安全及び学校災害共済給付金・給食費及び医療費に係る補助金の交付、学校給食会、学校保健会、学校医・学校歯科医及び学校薬剤師、市立学校結核対策委員会、市立小学校給食調理業務委託者選定委員会、施設の建設計画及び教育財産の管理に関すること
	中学校給食センター	市立中学校において実施する給食の調理及び配送に関すること、中学校給食の調理機器、食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管に関すること
	人権・同和教育課	社会教育における人権・同和教育の推進に関すること

市立学校 ——— 小学校19校、中学校8校、特別支援学校1校

市長部局

企画総務部	世界遺産・文化財室	世界遺産、近代化遺産保存活用基金事業補助金審査会に関すること [教育委員会補助執行事務] 文化財の保護及び活用、大牟田市文化財保護審議会に関すること
市民協働部	生涯学習課 中央地区公民館 三川地区公民館 勝立地区公民館 吉野地区公民館 三池地区公民館 手鎌地区公民館 駿馬地区公民館 文化会館 多目的活動施設 リフレスおおむた 図書館 三池カルタ・歴史 資料館	生涯学習推進の啓発及び総合調整、延命庁舎の管理、芸術文化の振興、文化団体活動の奨励及び援助、文化芸術振興審議会、大牟田文化会館、わくわくシティ基金事業審査会に関すること。 [教育委員会補助執行事務] 社会教育の振興、社会教育委員の会議、社会教育計画及び社会教育についての調査等、社会教育施設の管理運営に対する指導助言及び連絡調整、社会教育関係団体の指導育成、地区公民館、大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた、大牟田市立三池カルタ・歴史資料館等複合施設に関すること。
	スポーツ推進室 スポーツ施設 延命プール	社会体育団体の指導育成、市民スポーツの推進及び体力づくり、体育施設及び運動場、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、スポーツ功労表彰、スポーツ功労表彰審査会、児童及び生徒の体育行事の助成、(仮称)総合体育館等整備に係る設計・施工事業者審査委員会に関すること。 [教育委員会補助執行事務] 学校体育施設の開放事業に関すること

[職 員 数]

令和5年3月31日現在

区分		教育長	事務局長	教育監	課長（室長）	副課長	主査（館長）	指導主事	社会教育主事	事務職員	技術職員	計	再任用職員	会計年度任用職員	合計
教育長		1										1			1
事務局	事務局長		1									1			1
	教育監			1								1			1
	総務課				(1) 1		(1) 5	1	(1)	3		(3) 10		5	(3) 15
	学校再編推進室				1		(1) 1					(1) 2			(1) 2
	教育みらい創造室				(1)		2	1	(1)			(2) 3			(2) 3
	学校教育課				2		3	4		1		10			10
	指導室				1			4				5			5
	学務課				2	1	(1) 1			2	6	(1) 12	1	7	(1) 20
	人権・同和教育課				1	1	(1) 2			1		(1) 5			(1) 5
	公民館						7					7		16	23
教育機関	教育研究所				(1)							(1)		8	(1) 8
	中学校給食センター				(1)		(1)				(4) 2	(6) 2	(1)		(7) 2
	小学校										9	9	3	19	31
	中学校													8	8
	特別支援学校										2	2	1		3
合 計		1	1	1	(3) 6	2	(4) 18	5	(1)	7	(4) 19	(12) 60	(1) 5	63	(13) 128

※1 学校再編推進室及び教育みらい創造室は総務課の内数

※2 指導室は学校教育課の内数

※3 教育みらい創造室長、学校再編推進室主査、学務課主査、人権・同和教育課主査の（ ）は事務取扱

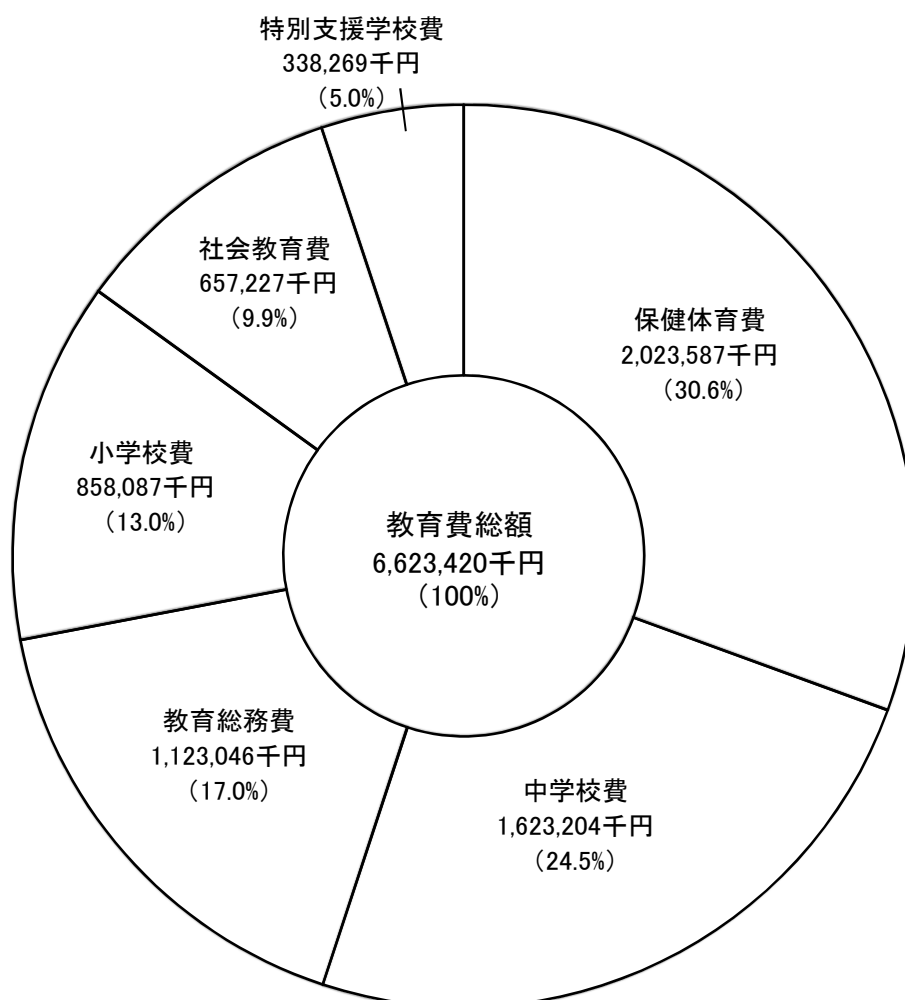
※4 総務課、学務課、人権・同和教育課の（ ）は事務取扱

※5 教育研究所及び中学校給食センターの（ ）は兼務

※6 給食センター給食調理員は学務課技術職員に含む

教 育 財 政

[令和5年度当初予算]

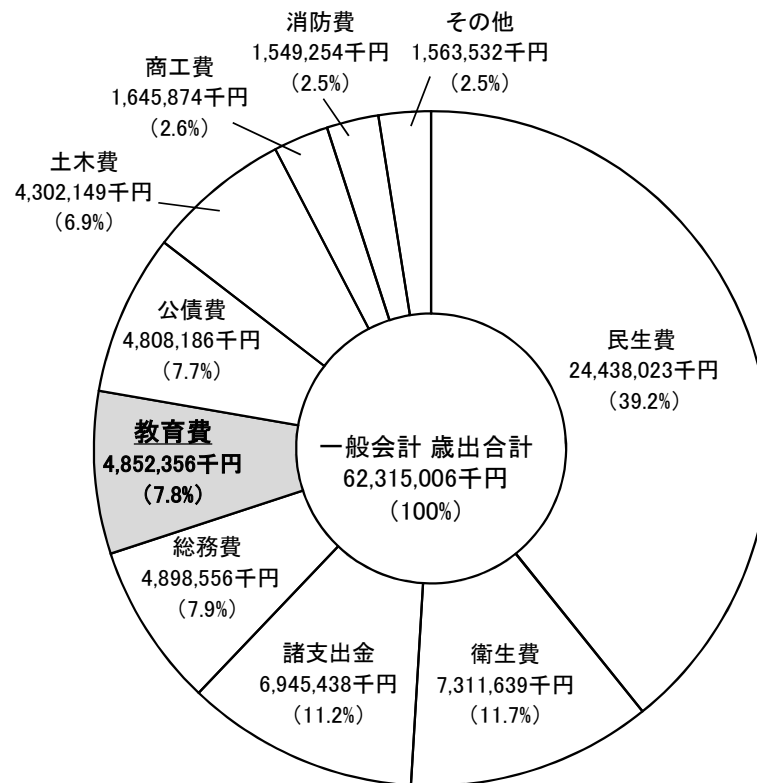


令和5年度大牟田市学校教育振興事業計画重点事業

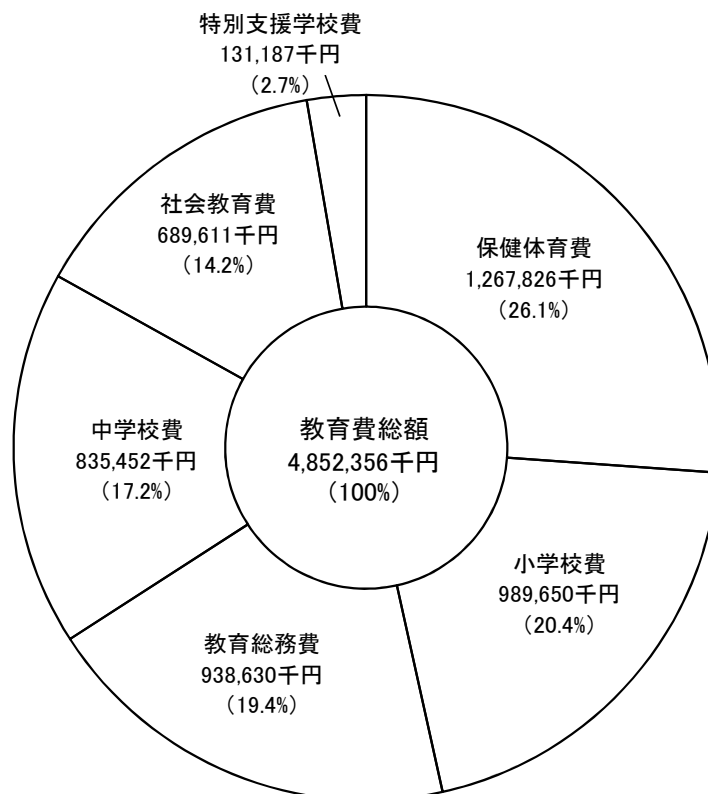
○未来を創るE S D推進事業	2,500 千円
○小中一貫教育推進事業	25,866 千円
○「学びに向かう力」育成推進事業	3,600 千円
○学校再編整備推進事業	1,186,147 千円
○スクールソーシャルワーカー活用事業	16,988 千円
○人権・同和問題啓発事業	398 千円

[令和4年度決算]

1 一般会計歳出決算（款別）

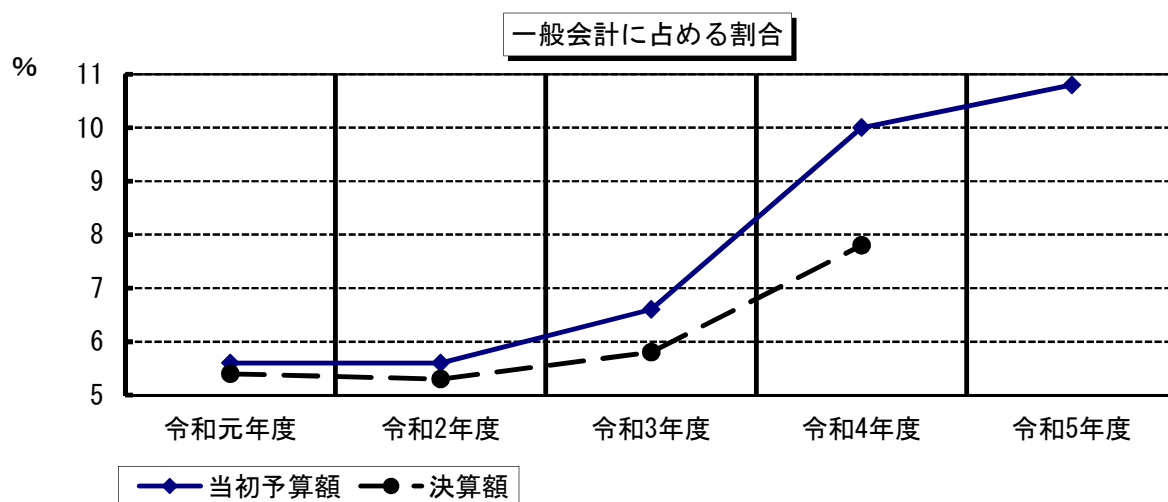
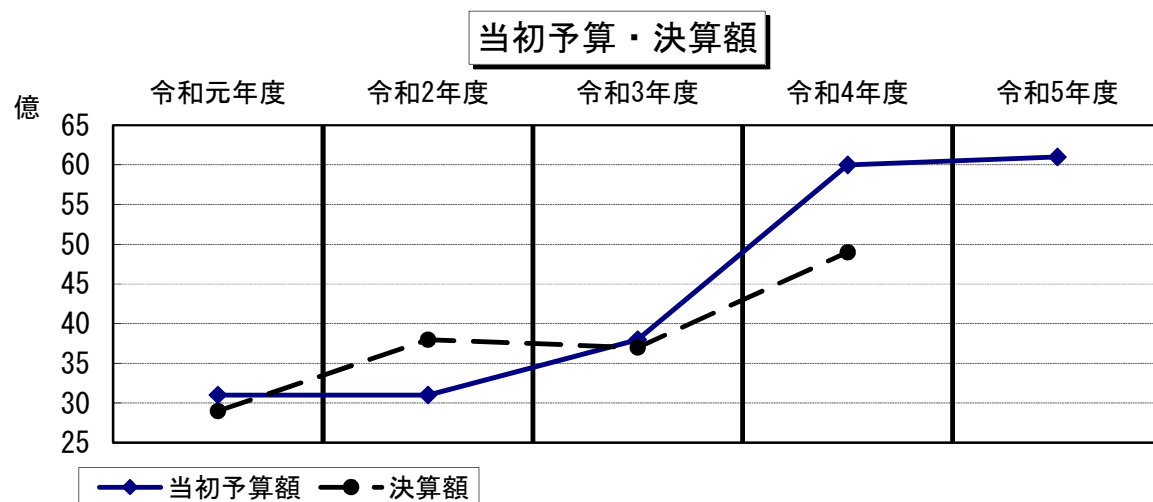


2 教育費歳出決算



[教育費の当初予算・決算推移]

※決算額には、前年度繰越予算による事業実施分を含む。



項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育費 決算額	2,854,988	3,806,786	3,720,818	4,852,356	
当初予算 (千円)	3,086,963	3,086,190	3,761,682	5,978,728	6,623,420
一般会計 決算額	53,738,012	68,799,853	64,064,385	62,315,006	
当初予算 (千円)	54,970,000	55,450,000	57,300,000	59,900,000	61,120,000
一般会計に 占める割合 決算額	5.3	5.3	5.8	7.8	
当初予算 (%)	5.6	5.6	6.6	10.0	10.8

〔 各種委員会等 〕

令和5年3月31日現在

大牟田市議会市民教育厚生委員会

委員長	塩塚敏郎
副委員長	島野知洋
委員	桑原誠
〃	光田茂
〃	山田修司
〃	平嶋慶二
〃	平山光子
〃	崎山恵子

大牟田市社会教育委員

堤さゆり	小学校長会
篠原信久	中・特別支援学校長会
長尾一也	小・中・特別支援学校PTA連合会
堺婦小与	子育てネットワーク
野田美智子	市民公募
松尾龍美	体育団体
田中吉典	校区コミュニティ連絡協議会
江崎美津子	女性団体
後藤和子	文化団体
栗崎敏明	公民館利用者
安元洋子	〃
柿川和機	市民公募
堺裕	学識経験者

大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会

後藤和子	通学区区域審議会
西田智	〃
吉田武志	〃
柿原真悟	〃
溝上尚子	〃
北島三津子	〃
川崎由美子	〃
原正和	〃
河島宏子	〃
田辺広	〃
林康司	学識経験者
松藤崇	小学校PTA
白谷公一	中学校PTA
萬矢勝保	校区コミュニティ連絡協議会

阿津坂正晴	民生委員・児童委員協議会
杉本正英	私立幼稚園振興協会
林田恭子	保育所連絡協議会

大牟田市立学校通学区区域審議会

後藤和子	学識経験者
西田智	〃
吉田武志	小学校PTA
柿原真悟	中学校PTA
溝上尚子	小学校長
北島三津子	中学校長
川崎由美子	教職員
原正和	〃
河島宏子	市民公募
田辺広	〃

大牟田市就学支援委員会

堺裕	学識経験者
辻克郎	専門医
田島重吉	〃
富松健太郎	〃
諸岡居織	〃
上村正行	〃
石橋庸司	〃
坂口明夫	心理判定員
篠崎友加里	〃
梶原麻奈	〃
萩島弥穂	小学校長
遠藤雅章	中学校長
吉田雅史	特別支援学校長
山本恵美子	教職員
井上由希子	〃
富安美香	〃
関戸美恵	〃
石田そよか	〃
森昭子	〃
西水秀佳	〃
宮本美樹	〃
海谷章子	〃
江崎真由見	〃

大牟田市いじめ防止対策委員会

堀	裕	帝京大学
中尾	哲郎	弁護士
辻	克郎	専門医
池田	美子	人権擁護委員
吉光	哲也	教育相談員
北村	誠一郎	スクールカウンセラー
井ノ本	美紀	児童相談所
高口	恵美	スクールソーシャルワーカー
牛島	正鏡	大牟田警察署

大牟田市立学校結核対策委員会

川崎	雅之	専門医会
菅原	謙三	医師会
松尾	知幸	〃
唐木	敦子	保健所長
馬籠	秀典	小学校長
北島	三津子	中学校長
中山	実咲	養護教諭
平野	友美	〃

大牟田市スポーツ推進委員

山田	征士	みなと校区
三宅	俊之	〃
福山	良夫	〃
古賀	達也	天領校区
荒木	泰	〃
池田	康則	〃
内田	勉	駛馬校区
余宮	信吾	〃
大石	利男	〃
堀	美穂	〃
塚本	多一	天の原校区
上津原	昭一	〃
坂本	道治	〃
山田	貴正	玉川校区
岩村	義男	大牟田中央校区
前山	剛	〃
古賀	祥道	〃
田中	涼子	〃
高津	康人	大正校区
古賀	正規	〃
杉野	知広	〃
高口	武士	明治校区
大曲	房代	〃
石原	良一	〃
古賀	義勝	中友校区

田崎	靖雄
池田	正
久富	優生
江上	しほり
中山	智志
宮地	日出丸
堤	正則
本田	豊秋
坂寺	昭
吉田	達也
深浦	千代子
笹尾	泰教
河野	博信
中川	清博
佐藤	誠
松尾	礼子
藤枝	正治
藤間	千代志
野田	卓朗
松尾	英樹
豊嶋	邦雄
塚本	幸子
野田	広行
今村	圭児
野田	哲寛
辻井	秀治
平川	令子
島野	知洋
広田	桂介
大津	義文

中友校区
白川校区
〃
〃
平原校区
〃
〃
高取校区
〃
〃
三池校区
〃
〃
羽山台校区
〃
銀水校区
〃
〃
上内校区
〃
吉野校区
〃
〃
倉永校区
〃
〃
手鎌校区
〃
〃
〃

大牟田市スポーツ推進審議会

道下	竜馬
白石	政嗣
江頭	信次
杉野	健次郎
松尾	礼子
黒田	洋
金崎	克也
永松	均
松尾	聡明
福山	穂積
谷口	靖宏
萩島	弥穂
遠藤	雅章
天河	晃洋
中島	由美子

学識経験者
体育協会
〃
〃
スポーツ推進委員協議会
スポーツ少年団
医師会
商工会議所
校区コミュニティ協議会
障害者協議会
右ふれあい健康クラブ
小学校長会
中学校・特別支援学校長会
高等学校校長会
福岡県職員

平野瑞恵
白木千吉

市民公募
〃

大牟田市文化芸術振興審議会

日下部 信
野中邦敏
深浦洋子
木村法子
甲斐田みゆき
梶原伸介
天河晃洋
北島三津子
右田忠義

香山真理子

九州大谷短期大学
大牟田文化連合会
〃
大牟田音楽家協会
大牟田文化会館
三池カルタ・歴史資料館
高等学校校長会
中学校・福祉学校校長会
大牟田クラシックギター
愛好会
市民公募

大牟田市文化財保護審議会

梶原伸介
片野博
井形進
江島香
木戸道男

古文書
建造物
仏教美術
近代史
地質

〔 市立学校一覧 〕

1 市立小学校

令和5年3月31日

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	み な と 小 学 校	53-6004	56-0914	上屋敷町2丁目3番地1	馬 籠 秀 典
2	天 領 小 学 校	53-6006	56-0912	天領町1丁目145番地1	溝 上 尚 子
3	駛 馬 小 学 校	53-6008	56-0901	馬場町17番地	萩 島 弥 穂
4	天 の 原 小 学 校	53-6009	56-0895	笹原町3丁目116番地	田 中 啓 吾
5	玉 川 小 学 校	53-6011	56-0885	大字榎野2710番地1	堤 さ ゆ り
6	大 牟 田 中 央 小 学 校	53-6014	59-0864	笹林町1丁目1番地3	田 上 修
7	大 正 小 学 校	53-6015	59-0863	大正町5丁目5番地9	徳 永 秀 志
8	中 友 小 学 校	53-6016	56-0497	中友町1番地20	藤 吉 和 美
9	明 治 小 学 校	53-6017	59-0859	明治町2丁目21番地1	松 尾 直 子
10	白 川 小 学 校	53-6018	59-0856	中白川町1丁目183番地	鶴 田 裕 二
11	平 原 小 学 校	53-6019	56-9044	平原町333番地	徳 丸 英 紀
12	高 取 小 学 校	53-6020	59-0854	大字歴木1807番地58	高 口 直 喜
13	三 池 小 学 校	53-6021	59-0853	大字新町289番地1	原 野 公 輔
14	羽 山 台 小 学 校	53-6013	59-0857	大字草木587番地3	藤 木 春 美
15	銀 水 小 学 校	53-6022	59-0849	大字田隈239番地	城 崎 清 彦
16	上 内 小 学 校	58-0103	50-0497	大字上内1575番地1	上 田 幸 子
17	吉 野 小 学 校	58-1037	58-7990	大字白銀967番地17	平 野 正 明
18	倉 永 小 学 校	58-1038	58-7987	大字倉永1307番地	池 田 茂 春
19	手 鎌 小 学 校	53-6025	59-0848	大字唐船395番地	石 橋 実

2 市立中学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	宅 峰 中 学 校	53-6034	57-7098	右京町1番地	辛 川 和 秀
2	宮 原 中 学 校	53-6032	57-7094	米生町2丁目26番地	福 永 嘉 治
3	松 原 中 学 校	53-6035	57-7143	大正町5丁目4番地16	末 永 徳 仁
4	白 光 中 学 校	53-6036	57-7147	椿黒町32番地	竹 谷 浩 明
5	歴 木 中 学 校	53-6037	57-7164	大字歴木1150番地	北 島 三津子
6	田 隈 中 学 校	53-6040	57-7169	大字田隈338番地	藤 井 清 午
7	橘 中 学 校	58-0022	50-1359	大字橘664番地1	遠 藤 雅 章
8	甘 木 中 学 校	58-0033	50-1373	大字甘木613番地1	篠 原 信 久

3 市立特別支援学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	大牟田特別支援学校	56-9671	52-0111	天道町24番地	吉 田 雅 史

〔市立学校の通学区域〕

令和4年4月1日現在

1 小学校通学区域

学校名	通学区域
みなと小学校	三里町1丁目、三里町2丁目、三里町3丁目、四山町、浪花町、早米来町1丁目、早米来町2丁目、新港町（1、4）、南船津町1丁目、南船津町2丁目、南船津町3丁目、南船津町4丁目、天領町3丁目、樋口町、姫島町、加納町1丁目、加納町2丁目、西港町2丁目（9、23、42～55）、高砂町、三川町2丁目、三川町3丁目、三川町4丁目、三川町5丁目、船津町、船津町1丁目、船津町2丁目、上屋敷町1丁目、上屋敷町2丁目、汐屋町、入船町、藤田町（55の2、56の1、56の3、57、58の1、58の4、59の2）
天領小学校	白金町、長田町、若宮町（駛馬北小学校通学区域以外の区域）、八江町、右京町、田端町、山下町、延命寺町、片平町、三川町1丁目、諏訪町1丁目、諏訪町2丁目、諏訪町3丁目、天領町1丁目、天領町2丁目、西港町1丁目、西港町2丁目（みなと小学校通学区域以外の区域）、新港町（みなと小学校通学区域以外の区域）、千代町、小川町、岬町
駛馬小学校	若宮町（35の1、35の2、36の1～36の3、37の1、37の2、38、39、40の1～40の3、41の1～41の5、42の1～42の4、43、44の1～44の5、45の1～45の3、48、49）、青葉町（天の原小学校通学区域以外の区域）、一部町、黄金町1丁目（上官小学校通学区域以外の区域）、黄金町2丁目、末広町、駛馬町、馬場町、馬込町1丁目、馬込町2丁目、宮原町1丁目、宮原町2丁目、合成町、飯田町、臼井町、臼井新町1丁目、臼井新町2丁目（天の原小学校通学区域以外の区域）、沖田町、神田町、桜町、野添町、藤田町（みなと小学校通学区域以外の区域）、米生町1丁目
天の原小学校	新勝立町1丁目、新勝立町2丁目、新勝立町3丁目、新勝立町4丁目（玉川小学校通学区域以外の区域）、新勝立町5丁目、新勝立町6丁目、笹原町1丁目、笹原町2丁目、笹原町3丁目、下池町、萩尾町1丁目、萩尾町2丁目、東萩尾町、大字勝立（71の6、71の8～71の12、71の15、71の18、71の20、102の2、109の1～109の4、109の9、109の11、109の13～109の25、122の20～122の24、227の2、227の4、227の5）、米生町2丁目、馬渡町、早鐘町、天道町、臼井新町2丁目（81、82、99の1～99の8、102、103の1、103の2、104の1、104の2、105の1～105の4、106の1、107、108の1～108の3、109の1、110、111、112の1～112の3、122～127、128の1～128の7）、青葉町（125の2～125の12、127の4）
玉川小学校	大字勝立（天の原小学校通学区域以外の区域）、大字教楽来、大字櫛野、新勝立町4丁目（3の8～3の25、3の69～3の104、17の1、17の2、20）
大牟田中央小学校	西宮浦町、東宮浦町、上官町1丁目、上官町2丁目、上官町3丁目、上官町4丁目、宮坂町、七浦町、三坑町、花園町、宮山町、真道寺町、黄金町1丁目（219の1、219の4～219の6、236の1～236の6、237の1～237の19、237の26、238の1、238の3、238の4、238の7～238の24）、不知火町1丁目、不知火町2丁目、不知火町3丁目、浄真町、宝坂町1丁目、宝坂町2丁目、一浦町、正山町、昭和町、原山町、築町、上町1丁目、上町2丁目、有明町1丁目、有明町2丁目、常盤町、松浦町、笹林町1丁目、笹林町2丁目、左古町、山上町、一本町、東泉町、曙町、出雲町、谷町、泉町、旭町1丁目、旭町2丁目、旭町3丁目、栄町1丁目、栄町2丁目
大正小学校	小浜町、小浜町1丁目、小浜町2丁目、小浜町3丁目、久保田町1丁目（3、4）、久保田町2丁目、本町3丁目（3、4、5）、本町4丁目、本町5丁目、本町6丁目、大正町4丁目、大正町5丁目、大正町6丁目、松原町（中友小学校通学区域以外の区域）、松原町2丁目（36の16、36の17）
中友小学校	本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目（大正小学校通学区域以外の区域）、西浜田町、浜田町、中友町、住吉町、中島町、港町、古町、橋口町、松原町（1、2）、西新町、大正町1丁目、大正町2丁目、大正町3丁目、新地町、久保田町1丁目（大正小学校通学区域以外の区域）

学校名	通学区域
明治小学校	新栄町、明治町1丁目、明治町2丁目、明治町3丁目、北磯町、中町1丁目、中町2丁目、健老町、天神町、浜町、新開町、恵比須町、城町1丁目、城町2丁目、大黒町1丁目、大黒町2丁目、大黒町3丁目、大黒町4丁目、椿黒町（白川小学校通学区域以外の区域）
白川小学校	柿園町1丁目、柿園町2丁目、柿園町3丁目、東新町1丁目、東新町2丁目、通町1丁目（1、2、3）、長溝町、八尻町1丁目、八尻町2丁目、八尻町3丁目、日出町1丁目、日出町2丁目、日出町3丁目、椿黒町（1～7）、浅牟田町、鳥塚町、上白川町1丁目、上白川町2丁目、中白川町1丁目、中白川町2丁目、中白川町3丁目、下白川町1丁目、下白川町2丁目
平原小学校	通町1丁目（白川小学校通学区域以外の区域）、通町2丁目、亀甲町、八本町、大浦町、焼石町、瓦町、龍湖瀬町、亀谷町、稻荷町、平原町、大字歴木（972の1～1024、1807の45、1807の47～1807の49、1807の73～1807の83、1807の86、1807の88、1807の89、1807の112～1807の116、1807の118～1807の120、1807の213～1807の219、1807の296、1807の297、1807の309～1807の311、1807の359、1807の699、1807の863、1807の875～1807の880、1807の921～1807の923、1809、1810の1～1810の6）
高取小学校	大字今山（三池小学校通学区域以外の区域）、大字歴木（平原小学校通学区域、三池小学校通学区域及び羽山台小学校通学区域以外の区域）
三池小学校	大字三池（羽山台小学校通学区域及び銀水小学校通学区域以外の区域）、大字新町、大字今山（1～2278、2359～2851、3271～3387、3424～3484）、大字歴木（44、71～83、126、127、130～139、141の1、142の1、143～143の3、144の1、151～460の21、461～474、484～534、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821）
羽山台小学校	大字三池（1～113、114の2、115～139の3、139の5～140の1、140の3、140の4、141の1、141の3～143、178～202、212、215～555、557の3、562～585、589～603）、大字歴木（460の22～460の24、475～483、916～971）、大字白川、大字草木（銀水小学校通学区域以外の区域）、大字田隈（400～445、746～757、774の2、774の3）
銀水小学校	大字宮部、大字久福木、大字田隈（羽山台小学校通学区域以外の区域）、大字橘（吉野小学校通学区域及び手鎌小学校通学区域以外の区域）、大字草木（110の3、110の6、110の10、110の11、111～114、117、120、128の2、128の8～128の10、129の2、129の6、131の6、131の9、131の13、132の1、132の3、132の8、132の9、132の12、132の13、133～135、137の3～137の5、139の3、139の5、140～303、359の2、360の1、360の4～360の7、361の1～361の3、361の6、361の7、361の9、362の2、362の7、362の8、363の4、363の6～363の8、364の3、364の5、364の8～364の14、1058～1302）、大字吉野（1615～1619、1622～1629、1632、1633、1643～1647、1650、1651、1653）、大字甘木（1～7、12の2、15、17の2、504の2、504の6、533、534、540～543、546、547の2、548、554、558）、大字三池（114の1、114の3～114の9、139の4、140の2、140の5～140の8、141の2、144～148の2、148の4、149～155の2、155の5、155の9～155の16、155の18、155の20、159の2）
上内小学校	大字上内（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字四ヶ、四箇新町1丁目、四箇新町2丁目、四箇新町3丁目、大字岩本（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町1丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町2丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）
吉野小学校 （次ページにつづく）	大字白銀、大字上内（3430～3668）、大字岩本（2417～2496、2499、2523～2525、2549、2551～2937）、岩本新町1丁目（1、2、7の1～7の7）、岩本新町2丁目（1～3）、大字宮崎（1736～3151）、大字吉野（94～182、548～1093、1094の2、1094の3、1136、1137の1～1137の5、1137の7、1140、1141の1、1145の5、1220の1～1256の1）、大字橘（599の2、600の2～600の6、770～783、

学校名	通学区域
吉野小学校 (つづき)	785の1、785の5、785の8～787、788の1、788の4、788の5、789の3、790の3～790の6、798～834、838～840、845の2～917、918の3～918の6、922の1、923の2、924の1～927、932の1、932の3～934、935の2、935の3、935の6、935の7、936の1、936の3～1574)
倉永小学校	大字倉永、大字宮崎(吉野小学校通学区域以外の区域)、大字吉野(銀水小学校通学区域及び吉野小学校通学区域以外の区域)、大字甘木(614の1～620、622～648、1203の1～1203の45、1203の188、1203の190～1203の200)
手鎌小学校	大字手鎌、大字岬、大字甘木(銀水小学校通学区域及び倉永小学校通学区域以外の区域)、大字唐船、昭和開、大字橘(108、109の1、109の5、109の6)

2 中学校通学区域

学校名	通学区域
宅峰中学校	みなと小学校通学区域、天領小学校通学区域、大牟田中央小学校通学区域
宮原中学校	駛馬南小学校通学区域、駛馬北小学校通学区域、天の原小学校通学区域、玉川小学校通学区域
松原中学校	大正小学校通学区域、中友小学校通学区域
白光中学校	明治小学校通学区域、白川小学校通学区域
歴木中学校	平原小学校通学区域、高取小学校通学区域、三池小学校通学区域のうち大字今山(297～351、583～789、915～1228、1255～2137、2359～2851、3271～3387、3424～3484)及び大字歴木(484～499、523～525、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821)
田隈中学校	三池小学校通学区域のうち歴木中学校通学区域以外の区域、羽山台小学校通学区域、銀水小学校通学区域のうち橘中学校通学区域以外の区域
橘中学校	銀水小学校通学区域のうち大字宮部、大字橘、大字甘木及び大字吉野、上内小学校通学区域、吉野小学校通学区域
甘木中学校	倉永小学校通学区域、手鎌小学校通学区域

3 特別支援学校通学区域

学校名	通学区域
大牟田特別支援学校	市内全域

〔 学校別児童生徒・教職員数 〕

※ 特別支援学級の児童生徒数は再掲

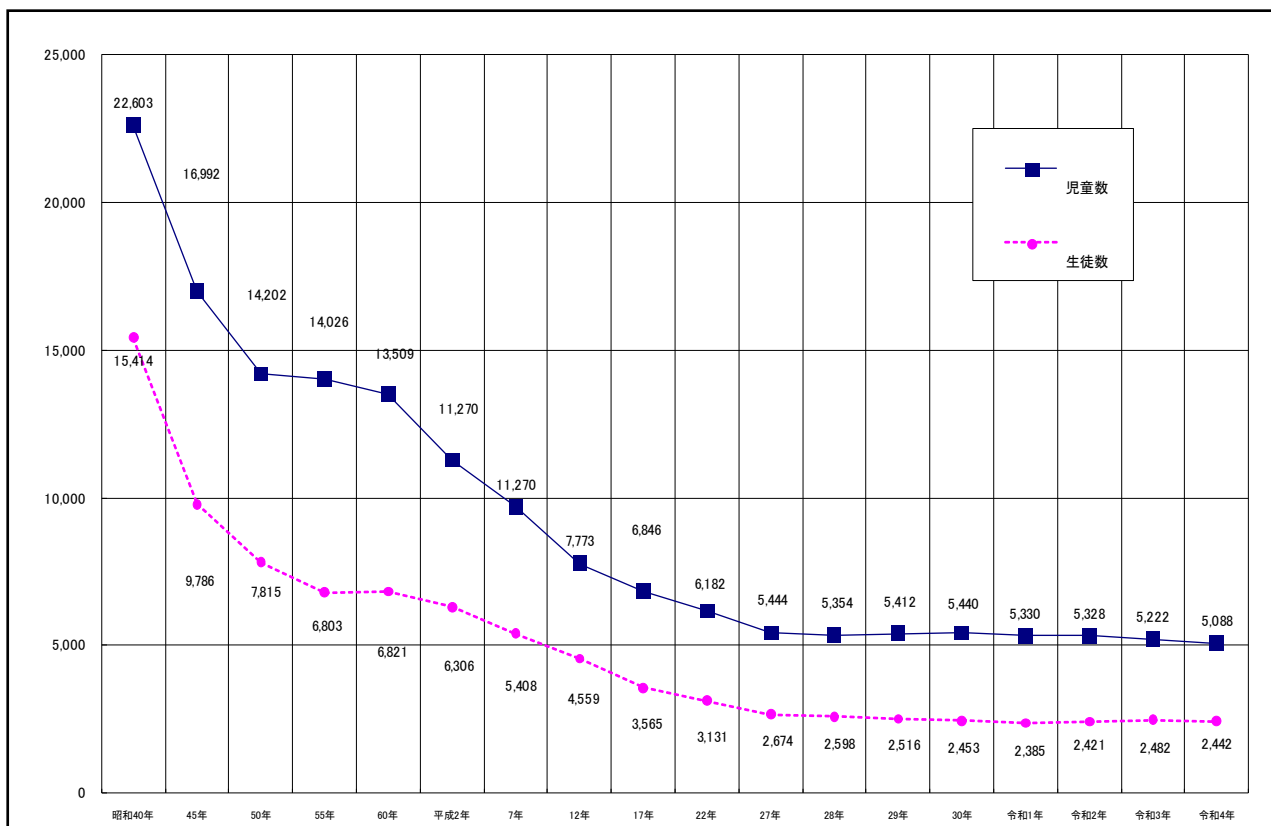
学 校 名		合 計		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援学級	
		学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数
小 学 校	み な と	12	244	2	38	1	32	2	43	2	48	2	46	2	37	1	2
	天 領	18	446	2	53	3	82	3	74	2	69	3	82	3	86	2	10
	駛 馬	13	259	1	33	2	38	2	56	2	40	2	46	2	46	2	4
	天 の 原	12	233	1	31	2	38	1	34	2	43	2	47	2	40	2	6
	玉 川	8	60	1	10	1	8	1	7	1	10	1	10	1	15	2	3
	大牟田中央	17	413	2	62	3	72	2	57	2	71	3	76	3	75	2	7
	大 正	14	311	2	44	2	52	2	45	2	50	2	57	2	63	2	4
	中 友	6	146	1	19	1	32	1	20	1	28	1	15	1	32	0	0
	明 治	9	215	1	31	2	39	2	36	1	35	1	25	2	49	0	0
	白 川	14	345	2	59	2	62	2	58	2	51	2	59	2	56	2	10
	平 原	9	153	1	30	1	17	1	24	2	37	1	17	1	28	2	8
	高 取	8	167	1	17	1	28	1	24	1	27	1	32	2	39	1	3
	三 池	14	318	2	49	2	49	2	49	2	55	2	50	2	66	2	6
	羽 山 台	13	285	2	50	2	37	2	55	2	44	2	51	2	48	1	3
	銀 水	20	456	3	85	2	64	3	80	3	75	3	76	3	76	3	10
	上 内	6	55	1	11	1	8	1	7	1	5	1	14	1	10	0	0
	吉 野	14	337	2	53	2	46	2	63	2	53	2	55	2	67	2	8
	倉 永	9	190	1	24	1	32	1	21	2	40	1	28	2	45	1	1
	手 鎌	18	413	2	68	2	65	3	75	2	71	2	62	2	72	5	15
小 学 校 計		234	5,046	30	767	33	801	34	828	34	852	34	848	37	950	32	100
中 学 校	宅 峰	17	497	5	173	5	168	4	156			-	-	-	-	3	14
	宮 原	9	274	2	81	3	103	3	90			-	-	-	-	1	8
	松 原	7	207	2	74	2	60	2	73			-	-	-	-	1	6
	白 光	11	260	3	89	3	86	3	85			-	-	-	-	2	9
	歴 木	9	244	2	77	3	87	2	80			-	-	-	-	2	7
	田 隈	15	422	4	133	4	138	4	151			-	-	-	-	3	12
	橘	10	237	3	81	3	89	2	67			-	-	-	-	2	8
	甘 木	9	271	3	101	2	76	3	94			-	-	-	-	1	8
中 学 校 計		87	2,412	24	809	25	807	23	796							15	72
大牟田 特別支援	小学部	11	42	3	12	2	8	2	3	1	7	1	4	2	8	-	-
	中学部	8	30	3	8	3	13	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	高等部	11	49	4	15	3	16	4	18	-	-	-	-	-	-	-	-

令和4年5月1日現在

県 費 負 担 職 員													市 費 負 担 職 員					学 校 名	
計	校 長	教 頭	主 教 幹 論	指 教 導 諭	教 諭	助 教 諭	養 教 護 諭	養 助 教 護 諭	栄 教 養 諭	栄 代 理 職 員 養	講 師	事 務 員	計	図 書 員	給 調 理 食 員	学 管 理 校 員	学 校 管 理 員		
18	1	1	1		11		1				2	1	2				2	みなと	小 学 校
25	1	1	1		17		1		1		2	1	2				2	天 領	
22	1	1	1		16		1				1	1	2				2	駛 馬	
19	1	1	1		12		1				2	1	2				2	天の原	
12	1	1	1		7		1					1	1				1	玉 川	
24	1	1	1		16		1				3	1	7		5		2	大牟田中央	
23	1	1	1		15		1				3	1	6		4		2	大 正	
11	1	1	1		6		1					1	1				1	中 友	
14	1	1	1		8		1				1	1	2				2	明 治	
21	1	1	1		14		1				2	1	3	1			2	白 川	
15	1	1			10		1				1	1	1				1	平 原	
16	1	1	1		9		1				2	1	2				2	高 取	
21	1	1			14		1		1		2	1	2				2	三 池	
20	1	1	1		14		1		1			1	2				2	羽山台	
26	1	1	1		19		1			1	1	1	2				2	銀 水	
11	1	1			6		1				1	1	1				1	上 内	
21	1	1	1		14		1				2	1	2				2	吉 野	
17	1	1	1		9			1			2	2	5		3		2	倉 永	
27	1	1	1		17		1		1		4	1	2				2	手 鎌	
363	19	19	16	0	234	0	18	1	4	1	31	20	47	1	12	0	34	小 学 校 計	
36	1	1	1		30		1					2	2				2	宅 峰	中 学 校
22	1	1	1		16		1				1	1	2				2	宮 原	
21	1	1	1		15		1		1			1	2				2	松 原	
25	1	1			19		1		1		1	1	2				2	白 光	
22	1	1	1		16		1				1	1	2				2	歴 木	
28	1	1	1		22			1			1	1	2				2	田 隈	
22	1	1	1		16		1				1	1	2				2	橘	
23	1	1	1		18		1					1	2				2	甘 木	
199	8	8	7	0	152	0	7	1	2	0	5	9	16	0	0	0	16	中 学 校 計	
69	1	1	1		34		2		1		25	4	3		3			小学部	特別 支援 大牟田
																		中学部	
																		高等部	

〔 児童生徒数の推移 〕

大牟田市立小・中・特別支援学校の児童生徒数の推移 （特別支援学校高等部の生徒は除く）



各年5月1日現在（学校基本調査より）

〔 卒業後の状況 〕

1 大牟田市立中学校の卒業後の状況

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R2	749	737	2	4	6	—	98.4	0.5
R3	850	834	5	1	10	—	98.1	0.1
R4	798	782	1	3	12	—	98.0	0.4

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

2 県下中学校の卒業後の状況（国立・公立・私立）

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R2	45,106	44,267	264	145	437	7	98.1	0.3
R3	44,061	43,357	244	111	357	8	98.4	0.3
R4	45,778	44,909	340	107	426	4	98.4	0.3

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

〔学校施設一覧〕

校地・建物面積等の状況

令和4年5月1日現在（単位：㎡）

区 分		校地面積		建 物 面 積（文 部 科 学 省 基 準）										プール (M×コース)
		建 物 敷 地	運 動 場	校 舎			ランチ ルーム ※1	校舎内 の学童 保育所 ※1	食 堂	給食室	屋 内 運 動 場	地域連 携施設	武道場	
				鉄筋	鉄骨	木造								
小 学 校	みなと	6,587	10,600	3,922	680		130			155	919	77		25 × 7
	天領	5,024	8,639	3,927	53					134	919	180		25 × 7
	駛馬	8,460	9,440	3,850	59					151	919	180		25 × 7
	天の原	11,319	13,068	2,788	63	128			270	134	894	180		25 × 7
	玉川	5,724	6,051	2,849	24	41				142	※3 420			25 × 6
	大牟田中央	5,859	7,874	4,282	63				510	168	919	135		25 × 7
	大正	9,853	9,697	4,121	23			86		※3 140	919	270		25 × 7
	中友	9,030	11,680	4,130				127		150	730			25 × 7
	明治	7,777	7,085	4,023	53			65		150	919	250		25 × 7
	白川	11,705	14,692	4,532	53		130	130		170	919	270		25 × 7
	平原	7,713	8,922	3,522	65	20	130			153	894	250		25 × 7
	高取	7,011	10,853	4,595	51	62		72		170	※3 626			25 × 7
	三池	9,334	9,944	4,736	51					168	974			25 × 7
	羽山台	9,512	10,335	4,111						168	※3 725			25 × 7
	銀水	10,379	9,514	5,222	51					231	※3 1,055			25 × 7
	上内	5,486	5,290	1,892					270	112	※3 797			25 × 7
	吉野	10,206	8,311	3,659	110					168	919	200		25 × 7
	倉永	7,867	8,176	3,209	17				390	198	919	250		25 × 6
	手鎌	5,295	9,634	5,059	83					168	1,215	200		25 × 7
小学校計(19)		154,141	179,805	74,429	1,499	251	390	480	1,440	3,030	16,601	2,442		
中 学 校	宅峰	11,656	21,592	4,724	153						1,142		※4 607	25 × 7
	宮原	12,598	14,886	4,337	103						981	200	350	25 × 8
	松原	9,993	9,228	4,821	92						※3 650			25 × 6
	白光	11,636	15,646	4,609	176	7					981	200	450	25 × 8
	歴木	13,822	16,370	6,123							※3 1,222	200	350	25 × 8
	田隈	14,061	12,584	5,695	52						1,519	250	450	25 × 6
	橘	9,107	10,355	4,372	92	5					※3 650			25 × 6
	甘木	22,401	※5 13,266	4,797	91						1,222	200	350	25 × 6
中学校計(8校)		105,274	113,927	39,478	759	12					8,367	1,050	2,557	
特別支援学校		17,351	8,400	5,962	358				150	125	※3 747	※2(61)		25 × 7
合計(28校)		276,766	302,132	119,869	2,616	263	390	480	1,590	3,155	25,715	3,492	2,557	

※1:ランチルームと学童保育所は校舎内にあるが、面積は外数

※4:宅峰中は弓道場を含む。(延命庁舎に隣接)

※2:屋内運動場面積の内数に含む。

※5:甘木中は校庭夜間照明施設(学校開放)あり。

※3:鉄骨造(地域連携施設及び武道場は屋内運動場と同一構造)

(食堂・給食室・屋内運動場で※3以外は主面積が鉄筋コンクリート造)

〔 教育施設一覧 〕

令和5年3月31日現在

施設名 (開館年月)	所在地 電話番号 (FAX)	建物面積 [敷地面積]	施設の主な内容	開館時間	休館日
カルタックスおおむた (平成3年4月)	宝坂町2丁目2番地3	3,764㎡ [4,400㎡]			
三池カルタ・歴史 資料館	53-8780 (53-8781)	共有部分 742㎡ 資料館 819㎡	展示室	10:00～ 17:00	月曜、毎月最 終の木曜(祝 日の場合は翌 日)、年末年 始
図 書 館	55-4504 (43-1167)	図書館 2,203㎡	開架室、書庫 視覚障害者サービス室	9:30～20:00 土日祝 18:00	
中央地区公民館 (平成4年4月)	原山町13番地3 53-1502 (59-0614)	1,567㎡ [1,702㎡]	創作室、視聴覚室、研修 室、幼児室 他		
三川地区公民館 (平成14年4月)	上屋敷町1丁目12番地3 52-5957 (52-5998)	1,343㎡ [1,386㎡]	研修室、和室、図書コー ナー、多目的ホール 他		
勝立地区公民館 (昭和55年6月)	新勝立町4丁目1番地1 51-0393 (43-4053)	972㎡ [2,826㎡]	研修室、和室、料理室、 図書コーナー、会議室 他		
吉野地区公民館 (昭和63年7月)	大字白銀781番地3 58-3479 (50-0494)	1,122㎡ [2,452㎡]	研修室、和室、図書コー ナー、視聴覚室、会議室 他	9:00～21:30 日曜 17:00	第1月曜、年末 年始
三池地区公民館 (平成4年10月)	大字三池629番地2 53-8343 (43-6814)	1,256㎡ [1,373㎡]	展示ギャラリー、料理室、幼児 室、図書コーナー 他		
手鎌地区公民館 (平成5年12月)	大字手鎌1300番地42 56-6008 (56-6824)	1,471㎡ [2,480㎡]	創作室、視聴覚室、図書 コーナー、陶芸小屋 他		
駿馬地区公民館 (平成6年12月)	馬込町1丁目20番地1 57-5443 (57-5444)	1,527㎡ [1,910㎡]	創作室、音響室、プレイホ ール、図書コーナー 他		
多目的活動施設 リフレスおおむた (平成11年7月)	大字四ヶ1221番地 58-7777 (41-7300)	2,375㎡ [2.0ha]	キャンプ場、体育館、和 室、創作室、研修室、料 理室、音楽室、陶芸用窯	9:00～22:00	第1・第3月曜 (祝日の場合 は翌日)、年 末年始
市民体育館 (昭和49年9月)	宝坂町2丁目86番地 53-6003 (59-0186)	6,337㎡ [3,217㎡]	アリーナ、柔道室、剣道 室、卓球室(2)、研修室(2)	9:00～21:00	第1・第3火曜、 第3水曜、年末 年始
御大典記念グラウンド (昭和4年4月)	黄金町1丁目123番地 (問合せ 市民体育館)	[25,971㎡]	400mセパレート(8)、 フィールド、スタンド 他	8:30～19:00	年末年始
延 命 プ ール (平成19年8月)	黄金町1丁目68番地 53-7337	[16,208㎡]	25m、幼児用(2)、 ウォータースライダー 他	10:00～ 18:30	[R4年度開場 期間]7月16日 ～8月28日
延 命 球 場 (昭和32年12月)	原山町200番地 (問合せ 市民体育館)	[19,450㎡]	グラウンド、スタンド、 本部諸室	8:30～17:00	年末年始
武 道 場 (昭和26年5月)	浄真町19番地 (問合せ 市民体育館)	198㎡	柔剣道場	8:30～21:00	年末年始
笹林庭球コート (昭和27年1月)	笹林町1丁目1番地2 (問合せ 市民体育館)	[1,400㎡]	クレーコート(2面)	(4月～8月) 9:00～19:00 (9月～3月) 9:00～17:00	年末年始
諏訪公園 テニスコート (平成11年4月)	岬町5番地3 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[8,400㎡]	砂入り人工芝コート (6面)	8:30～21:00	年末年始
手鎌北町公園 テニスコート (平成13年4月)	大字手鎌1520 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[2,800㎡]	全天候型コート(4面)	(4月～8月) 8:30～18:30 (9月～3月) 8:30～17:00	年末年始
第二市民体育館 (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	2,194㎡	アリーナ、柔道室、剣道室	9:00～21:00	第1・第3火曜、 第3水曜、年末 年始
第二グラウンド (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	[5,100㎡]	グラウンド	9:00～19:00	年末年始
教育研究所 (昭和30年10月)	黄金町1丁目34番地 52-5845	269㎡	研究室、図書室、資料室、 会議室	8:30～17:00	

〔社会教育施設等の状況〕

《地区公民館》〔生涯学習課〕

公民館は、未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまちを目指し、次の3つの視点による事業を実施しています。

視点① 次世代を担う子どもをはぐくむ

取組み① 子どもの体験活動の強化・充実

取組み② 高校生等のまちづくりへの参画の推進

取組み③ 各世代に応じた学習活動の提供・支援

視点② ESDを通じた、人づくり、つながりづくり、地域づくり

取組み① SDGsを念頭に置いた持続可能な社会を形成するESD事業の展開

取組み② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成

取組み③ 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出

視点③ 学習環境の整備・充実

取組み① 生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化

取組み② 身近な地域における学習の場の提供

取組み③ 社会教育施設の機能向上

1 全館合同事業

事業名	事業の概要	回数	参加者 (人)
視点① 「高齢者生きがいくつくり社会参加促進事業」 アクティブシニアデビュー塾	高齢者の学習機会及び学習成果を生かした活動の機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、生きがいくつくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを実施しました。【受講生が定員に満たなかったためボランティアデビュー編1講座中止】 講座終了後は、新規に自主学習グループ11団体が結成され85人が入会し、講座の指導をした既存サークル等6団体へ25人が入会し活動しています。R4年度は10周年記念事業として、大牟田文化会館において「夢の花咲く青春祭」を高校生と合同で開催し、受講生の学びの成果を発表しました。	ボランティアデビュー編 6 講座	61
		地域デビュー編 7 講座	100
		健康実践デビュー編 7 講座	101
		10周年記念事業 1 回	出演者 68

2 中央地区公民館

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	大正校区の地域の輪！子ども食堂で広げよう！	地域の子ども食堂において、中学生が準備から調理、配膳まで全ての行程に参画することで、郷土愛の醸成やまちづくりに参画する姿勢を育むきっかけとします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	こどもクッキング塾 ～ブルーベリー 摘みと料理に チャレンジ～		小学生を対象に、地産地消について学びました。実際に農家を訪れ、農業の話を聞くとともにブルーベリー摘みを体験し、ブルーベリーのお菓子作りをしました。また、クイズで楽しく旬の食べ物について学びました。 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 予定した3回のうち1回中止】	2回	20
	子どもの居場所づくり支援事業 なかよし広場文化サークル		公民館を子どもの居場所として開放し、事業実施団体である「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	8回	子ども 73 ボランティア 48
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	出産前の母親を対象とした講座 (タイトル・内容 未定)		出産前の母親を対象として、母親としての心構え子育てのポイント等について学びます。母親同士で仲間づくりをし、子育ての相談ができる環境を作ります。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
	就学前子育て講座 (5校区)		小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	149
	アク ティ ブ シ ニ ア デ ビ ュ ー 塾	地域デビュー編 魅せるカメラ講座～初心者入門編～	コロナ禍で外出を控える人が多い中で、カメラは1人でも場所を選ばず楽しめ、さらに「脳と心」の健康に良いと言われています。 被写体の捉え方やシャッターの調整、効果的なトリミングの方法などを学びました。講座修了後は4人の方が既存のサークルに入会されました。	5回	64
		健康実践デビュー編 心弾む♪胸躍る♪健康ダンス講座	懐かしい歌謡曲に合わせて健康ダンスを踊ることで、筋力アップや気分転換ができるひとときを提供しました。講座修了後は、4人が継続を希望し、さらに知り合いの3人を合わせて7人で新規サークル「健康ダンスサークル」が立ち上がりました。	5回	56
		ボランティアデビュー編 楽しく！気軽に！クラシックギターボランティア養成講座	当館はクラシックギターを所有しており、ギターを所有していない方も気軽に受講できました。館内でミニコンサートを行い、来館者に演奏を披露し喜ばれ、ボランティアの楽しさを感じていただくことができました。講座修了後は、4人で新規サークル「中央長月ギター部」が立ち上がり、現在会員も増え、7人で活動中です。	7回	48
		スマホ活用 世代間交流事業 「楽しく学ぶスマホ講座」	まなびの継続事業として高齢者等を中心とした「情報通信機器の利用が苦手な人」に対して、「スマホ講座」を開催しました。 また、若者世代が支援者となり世代間交流を図りながら地域活動をするきっかけとなりました。	8回	140 ボランティア 31

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 学校 ESD 支援事業	学校 ESD 支援事業		学校が進めている ESD の取組内容を公民館に掲示する予定でしたが、学校からの要望がなかったため掲示することができませんでした。	—	—
視点② 地域 ESD 支援事業	(大牟田中央校区) スマホで繋がる！ 地域で LINE を活用しよう		大牟田中央校区運営委員(約 40 人)を LINE で繋ぎ、周知事項をスムーズに全体に伝える運営を定着させる講座を実施しました。	3 回	63
	(大正校区) 葬儀にまつわるあれこれ講座～ 自分のもしものに 備えましょう～		大正校区のサロン「大正カフェ」は、以前から参加人数が少ないことが課題でした。このため、カフェ内で、高齢者が興味のある「葬儀についての終活」にスポットをあてた講話形式の講座を実施し、カフェに参加をするきっかけづくりとしました。	1 回	48
	(中友校区) 中友校区の地域 づくりについて 考える		中友校区では R 元年度から他地区のまちづくり協議会を講師に招き、まちづくり協議会設立に向けた勉強会を実施しています。今回は三池校区まちづくり協議会の話の伺い、意見交換を行うことで、中友校区の実態に合ったまちづくり協議会について考える機会となりました。	1 回	10
	大正校区の地域の 輪！ 子ども食堂で広げ よう！【再掲】		中学生が準備から調理、配膳等全ての工程に参画することで「役に立っている」との達成感や喜びを得ることに繋がります。郷土愛の醸成やまちづくり参画のきっかけづくりとして、地域の人材育成の課題解決に繋がる一歩とします。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 人材育成・ 地域活動促進事業	視聴覚ボランティア支援事業	土曜ふれあい映画会 (中央)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象とした子どもの居場所において、16 ミリフィルムや VHS などを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	12 回	子ども 33 大人 15 ボランティア 39
		日曜ふれあい映画会 (他館)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に各地区公民館を巡回し 16 ミリフィルムや VHS などを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	12 回	子ども 31 大人 18 ボランティア 29
		健康映画会(デイサービス)	視聴覚ボランティアが、高齢者施設や地域のサロンなどで健康に関する映画の映写会を開催します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
		地域ふれあい映画会 (学童等)	学童保育所・学童クラブ・子ども会等の要望に応じて映写会を開催しました。	4 回	子ども 143 大人 11 ボランティア 8

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	サークル社会参加促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ・第1回(元気の秘訣を知ろう!フレイル予防講座)【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ・第2回(救急救命講習会〜ヒートショック予防と応急手当)	1回	18
	サークル体験事業	定期利用登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として一般成人を対象にサークル体験事業を実施しました。体験後、8人のサークル入会が決まりました。	1回	30
	なかよし広場文化サークル【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	8回	子ども 73 ボランティア 48
視点② 学習成果活動促進事業	第30回中央地区公民館ふれあい文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に3年ぶりに、コロナ感染症の対策を行いながら実施しました。	1回	354
視点③ 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3回	3,600部

3 三川地区公民館

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所 友・遊広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月1～2回程度土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊への支援を行いました。	14回 4回(1～3月開催予定)	子ども 89 ボランティア 36
	子ども体験活動事業 2022子どもバージョンアップ体験講座	健全な青少年の育成を図る目的から、夏休みと冬休みを利用して、異学年の子どもたちや地域の大人たちとふれあいながら、多様な価値観に触れ、感じ、考え、行動する様々な体験学習として実施しました。作品を作りあげる喜びを感じ、学び、体験することを通して、子どもたちの成長に繋げることができました。 【大雨による避難所開設のため夏休みの2教室は中止】	夏休み 24回 冬休み 2回	【夏休み】 子ども 291 ボランティア 80 【冬休み】 子ども 20 ボランティア 9

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	(アクティブシニアデビュー塾) 地域デビュー編 ENJOY! 夜の卓球講座	気軽に始めやすく長く続けられる卓球を取り上げました。卓球を行う事で筋力やバランスの向上につながり、判断力など脳のトレーニングにもなる効果もあります。また、卓球で身体を動かす楽しさを実感し仲間との交流が深まることで、社会や地域に参加するきっかけを作る事を目的に実施しました。講座終了後は、新規サークルが立ち上がり7人が加入しました。	5回	59
	(アクティブシニアデビュー塾) 健康実践デビュー編 楽しむ! あたまと身体のエクササイズ講座	軽く息がはずむ程度の運動と同時に計算やしりとりで脳に負担をかける体操をする事で認知症の予防を図る事を目的としました。 頭と身体の両面から鍛え、心身ともに健康でアクティブなシニアを養成し、サークル会員と一緒にを行う事で既存サークルの活性化を目指しました。講座修了後、既存サークルへの加入4人・リフレス加入2人でした。	5回	81
	(アクティブシニアデビュー塾) ボランティアデビュー編 大人が楽しむ鍵盤ハーモニカアンサンブル講座	音楽を通した仲間作り、健康づくりを提案しました。鍵盤ハーモニカは子どもや孫が使っていたものが多くの家庭に残っていると思われ、気軽に始めやすい楽器です。指を使う事で脳トレになり、息を使う事で呼吸器を鍛える事も出来ます。講座修了後は、サークルが立ち上がり「まなばんかん」登録も目指しています。	6回	52
	(一般成人講座) ゆっくり始める英会話講座	中学英語を学び直すことで英語の基礎固めをし、その先にある「目標」や「夢」の実現を目指しました。普段、公民館を利用してしている層より若い現役世代が受講しやすいように講座時間を金曜日の夜に設定しました。講座修了後はサークル「ゆっくり英会話サークル」が立ち上がりました。	5回	81
	(家庭教育講座) 親子リズム遊び	親子の直接的なスキンシップやコミュニケーションを取ることで、子育てへの効果が期待できることから、天領保育所と共催で、親子で楽しめるリズム遊びを行い、親子の絆を深めました。	2回	29組 61人
	就学前子育て講座 (2校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上力を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子供見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	114
	e スポーツ体験事業	高齢者を対象とした「e スポーツ体験事業」で、高齢者の交流の場を設ける機会を増やし、社会参加を促進させる目的で実施しました。	3回	26

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主運営の向上、社会参加、社会貢献等の促進を目指すために研修等を行い、活動の場を広げ、より質の高いサークルとなるよう支援しました。 ①「研修会」知っておきたい介護の支え～安心して暮らし続けるために～ ②「春待ちコンサート」	①1回 ②1回	① 44 ②121
視点② 地域 ESD 推進事業	みなと小学校「防災・減災を考える日」支援事業	みなと小学校の「防災・減災を考える日」授業で小学校と地域をつなぎ、共に「令和2年7月豪雨」をふりかえり「防災」「減災」について考える支援を行いました。授業では防災物資（ダンボールベッド・パーテーションなど）の組み立てや防災グッズについて考えるワークを児童とまちづくり協議会の参加者が一緒にを行い、世代間交流を行いました。	1回	13
	かおみしり祭り2022 ニュースポーツコーナー実施	世代を問わず楽しめるニュースポーツを紹介し、「ニュースポーツ」の体験を実施した事で普段接する事の少ない地域の方と交流を図ることができました。	1回	150
	天領校区どんど焼 ニュースポーツコーナー実施	天領校区どんど焼きに三川地区公民館も参加し、世代を問わず楽しめるニュースポーツを紹介することで、普段接する事の少ない地域の子育て世代と交流を図り、地域活動を支援しました。	1回	400
	再発見！天領校区まち歩き ～天領の由来や歴史を学び歩き～	まちめぐりを機会に地域の名所や歴史の知識・理解を深めることで地域への親しみを高めてもらうこと、また、健康や交流を促進することを目的として、石炭産業科学館の坂井館長にガイドを依頼し、住み慣れた地域の中でも知られていない名所や歴史について探訪しながら学びました。	1回	20
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	文化祭にかわるサークル活動の発表	サークル代表者会議にて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため文化祭の中止を決定しました。その後まなびの継続事業として、サークルの活動状況等を動画撮影したDVDを作成し、サークル活動の成果発表の機会として公民館ロビー等で上映しました。	2月17日から5月末まで	—
視点③ 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	5,200部

4 勝立地区公民館

(勝立地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもの居場所づくり支援事業	勝立地区アンビシャス広場	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第3土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会への支援を行いました。 ※大雨による避難所開設のため、7月は中止	12回	子ども 117 ボランティア 61
		勝立キッズ・ランド	「おもしろ科学」をテーマに自発的に考え調べることで、研究心や探究心を育むことを目的とする講座を開催しました。また、地域の大人や異学年との交流活動を行うことで社会性を高めることを目指しました。 ※大雨により避難所開設のため、第4回は中止	3回	47
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業		はあとふる子育て講座～赤ちゃんからの食育～	乳幼児期の食育について学び、家庭での食生活に活かすこと、また、同年齢の子どもを持つ保護者と交流し、悩みや関心事を共有する機会の提供を目的とする講座を開催しました。	2回	15
		就学前子育て講座 (2校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	32
		笑いで大牟田を盛り上げよう！～漫オワークショップ	まなびの継続事業として高校生以上の市民を対象に漫才作り体験を通して、交流や創造・表現の学びから、郷土をより活気あるまちに変えていこうとする心や将来にわたってまちづくりに参画する姿勢を育むことを目的に開催しました。	1回	28
	アクティブシニアデビュー塾	ボランティアデビュー編 心に響くメロディーを！ハーモニカボランティア養成講座	ハーモニカの演奏技術とボランティアの心得を学び、体験することでボランティア活動のきっかけとなることを目的に講座を実施しました。講座終了後は、新規会員の加入により「里の秋ハーモニカ」の活動促進につながりました。	5回	31
		健康実践デビュー編 心も体も楽しく元気に！はじめての卓球講座	卓球を基礎から学び、受講生同士の親睦を深め、楽しみながら体を動かすことで、健康増進や介護予防につなげることを目的とする講座を開催しました。講座終了後は、新規サークル「クララ卓球サークル」が立ち上がりました。	5回	54

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	地域デビュー編 花と緑のある暮らし～はじめてのコンテナガーデニング講座～	寄せ植えの基礎知識やデザインを学ぶことで緑を育む活動に関心をもってもらい、地域活動に一步踏み出すきっかけづくりを目的とする講座を開催しました。講座終了後は、季節毎の不定期な活動を実施する予定です。	5 回	57
視点② 地域 ESD 推進事業	玉川校区 ～LINE でつなぐ地域ネットワーク～	玉川校区まちづくり協議会運営委員を対象に災害など緊急時の連絡手段及び情報の共有などに便利な「LINE」の基本的な使い方、操作を学び、地域活動に活かすことを目的とする研修会を開催しました。終了後は、運営委員間がグループ LINE で繋がりました。	1 回	8
	天の原校区 ～防災から考える地域ネットワーク作り～	意見交換を行いながら、校区の課題解決に必要な講座等を開催予定。 【2 月実施予定でしたが地域の都合により中止】	—	—
視点② 学校 ESD 支援事業	～地域の魅力を次世代につなぐ～ 「勝立よかもん物語」ふるさとウォーキング	郷土への愛着と誇りを持つ心の醸成と次世代へ地域の宝物を継承する人材の育成を目的に、勝立地区の歴史と自然について歩いて学ぶ学習会を実施しました。終了後は、校区の小中学校、特別支援学校に学んだ成果を動画にした DVD を配布しました。	4 回	56
	天の原校区 ～心を届ける～ 絵手紙ボランティア	絵手紙ボランティア体験が、子どもたちにとって「誰かを思い、行動する意識」につながることを目的に、天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校、大牟田特別支援学校の児童・生徒に、地域の大人が、「心の贈り物」と言われる絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア活動を支援しました。	3 回	天の原小 児童 42 ボランティア 7 宮原中 生徒 83 ボランティア 7 特別支援学校 児童 40 ボランティア 18
	玉川校区 ～心を届ける～ 絵手紙ボランティア		1 回	玉川小 児童 10 ボランティア 4
視点② 人材育成・地域活動促進事業	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図ります。 ・研修会「人生 100 年時代！くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋」	1 回	32

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	(地域行事支援) 勝立大蛇山まつり	天の原校区と玉川校区の二校区住民のふれあい、連帯意識の醸成、青少年の健全育成及び地域の活性化を図るため勝立大蛇山まつり実行委員会の取り組みを支援します。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第39回勝立地区公民館文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に3年ぶりに、コロナ感染症の対策を行いながら実施しました。	1回	598
視点③ 学習情報提供事業	公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	4,260部

5 吉野地区公民館

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子ども支援事業 吉野ふれあい広場	公民館施設を子どもの居場所として、毎月1回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業の支援を行いました。 【4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	10回	子ども 143 ボランティア 79
	おもしろチャレンジ友・遊・塾～宿題・体験・ものづくり！夏休みは公民館へGO！～	夏休み期間中の小学生を対象とし、高校生による宿題対策、サークル会員によるサークル体験を行いました。コロナ禍により制限されている、人とふれあう喜びを感じる機会や、実体験を通して成長し、達成感を得る機会にする事を目的として実施しました。	22回	小学生 107 高校生 27
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	未来の匠の技講座～はじめてでもできる 切り絵～	高校生が部活動等で学んだ知識を地域住民に教えながら一緒に作業をすることで、教える喜びや達成感を感じ、ボランティア活動や地域活動へのさらなる参画の意欲を高める事を目的として実施しました。 (連携組織：福岡県立ありあけ新世高等学校)	1回	地域住民 12 高校生 10
	就学前子育て講座 (3校区)	小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会に家庭教育のあり方やしつけについて子育て講座を実施しました。	各小学校 1回	80
	もっと話そう！もっとふれ合おう！おやこで過ごすハッピータイム♪	家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、小学生とその保護者を対象に「家庭教育講座」を実施しました。親子の温かいコミュニケーションの大切さを再認識する講座となりました。	1回	14

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	ボランティアデビュー編 ～きらめく一瞬を残したい～ 「ボランティア動画撮影隊」養成講座	コロナ禍で地域行事や文化祭等が数年にわたり中止となっており、住民や関係者の記憶が薄れつつあります。様々な行事の様子を動画で残し、次世代へ継承していくための記録映像を撮影するボランティアを養成することを目的として実施しました。	5 回	37
	健康実践デビュー編 心も体もよかよかヨガ講座	健康に関するコツが学べる様々な講話と、無理なくできる高齢者向けシニアヨガの実習により、健康づくりにおける相乗効果が期待できます。生涯にわたって元気に暮らすために一人一人ができることを考えて行動するための学びになり、健康的な生活を確保する一助とするため実施しました。	5 回	56
	地域デビュー編 もっと知って！シニアのためのスマホ活用講座	スマホの基本操作からアプリ、オンラインサービスなどについて本講座を実施し、より多くの高齢者が活用できる地域を目指しました。スマホで得た情報を社会や地域に参加する足がかりとし、生きがいづくりへとつなぎました。 (連携組織：健康づくり課)	5 回	77
	はじめての押し花講座	吉野小学校で桜の押し花作りをサポートしている講師を迎え、幅広い年代の方を対象に、初心者でも体験しやすい基礎から学べる押し花講座を実施しました。表現豊かな押し花小物作りの魅力を知ってもらい、潤いある生活の一助となることを目指しました。	3 回	36
視点② 地域 ESD 推進事業	初めてさわる！スマホ体験講座	吉野地区在住のまだスマホを持っていない人やスマホを買ったばかりの初心者を対象に、大牟田市企業出前講座を活用し本講座を実施しました。スマホの利活用に関する不安感の解消と、情報能力等における格差是正の機会となりました。	1 回	17
	令和 4 年度 みんなの健康教室 ～吉野・倉永・上内校区を元気にするバイ！～	吉野校区にある医療法人くさかべ病院から、専門知識を活かした地域貢献事業として健康教室開催の提案を受け実施しました。地域住民一人一人の心身の健康維持の取組みのきっかけづくりを目指しました。 R 3 年度に開催し好評だったため、4 年度も引き続き前期と後期に各 6 回開催しました。 (連携組織：健康づくり課、吉野地区地域包括支援センター、医療法人くさかべ病院)	12 回	171
	「今から、取り組みよう！防災講座」	大牟田市内では、台風・大雨の被害発生により避難所を度々設置しています。各避難所では多くの住民が避難し定員に達することもありました。コロナ禍における「新しい避難の考え方」や「災害への備え」の知識を身につけるため、大牟田市企業出前講座を活用し実施しました。	1 回	16

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点② 学校 ESD 推進事業	上内小学校、吉野小学校、倉永小学校、橘中学校	各学校が取り組んでいる ESD 事業を支援しました。学習成果の発表として 3 月の文化祭で展示・発表を行い、来館者が学校の取り組みを知る機会を設けました。	5 回	—
視点② 人財育成・地域活動促進事業	サークル社会参加促進事業	サークル会員を対象として、研修会等を実施し、生涯学習の推進とサークル活動の活性化を図りました。 ①研修会「知っておきたい！在宅介護の基礎知識～あなたと家族の笑顔のために～」 ②救急法講習・消防避難訓練	2 回	55
	サークル体験事業	サークルの社会参加の促進を目的として、一般成人を対象としたサークル体験事業を実施しました。 ・春のサークル体験 ・秋のサークル体験	2 回	19
	「吉野さくら絆プロジェクト」支援	吉野小学校の 5 年生が取り組む「吉野小桜プロジェクト」を応援するために、H29 年度に吉野校区に設立された「吉野さくら絆プロジェクト」の活動を支援しています。 R5 年 2 月に通玄寺で桜の苗木の植樹、3 月に桜ウォークを開催しました。	1 回	—
	倉永校区五者連携教育講演会	倉永校区まち協、倉永社協、倉永小 PTA、倉永小との共催で、地域で子どもを育てる意識の醸成を図るために講演会を実施しています。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第 34 回花と緑の文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に 4 年ぶりに、コロナ感染症の対策を行いながら実施しました。	1 回	800
視点③ 学習情報提供事業	公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3 回	3,780 部

6 三池地区公民館

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	子どもづくり支援事業 子どもの居場所	公民館施設を子どもの居場所として毎月第 2 土曜日に開放し、実行委員会への支援を行いました。	10 回	子ども 167 ボランティア 61
	高取みんなの広場	子どもたちにとって最も身近な場所である通いなれた小学校で、月 1 回開設されている子どもの居場所を支援しました。	8 回	子ども 185 ボランティア 150

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	夏休み!子どもサークル体験事業	様々な体験活動を通して、学ぶ意欲やより豊かな知識を深めるきっかけとするとともに、異世代の人との交流により子ども達の豊かな人間形成を図る目的により実施しました。 【新型コロナ感染予防のため、3サークルがキャンセル。それに伴い体験申込者 23 人がキャンセル】	1 回	参加サークル 16 体験者 12
	こどもたちに夢をおくるサンタクロースプロジェクト in「みいけ」	主に、三池、羽山台、高取、銀水校区に居住または通学する中高生を対象に、児童発達支援センターりんどう学園のクリスマス会の企画を自ら考え実施する事業を実施しました。	6 回	44
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	健康実践デビュー編 ゆるめる・つくる・整える!からだメンテナンス講座	5 回	65
		地域デビュー編 気軽に始める韓国語講座	5 回	91
		ボランティアデビュー編 ～日本の伝統つたえます～着付けボランティア養成講座	6 回	44
	(一般成人事業) (仮称) 郷土の歴史講座	地域の歴史の学習を通じて、地元に対する理解を深め、郷土愛を育むことを目的として実施します。 ※コロナ感染症対策、その後は2校区において、歴史講座、歴史ウォーキングを行われており、日程重複のため中止とする。	—	—
	(一般成人事業) はじめてさんのかぎ針編み♪ 小物づくりに挑戦!	様々な世代の人と性別に関係なく楽しんでもらい、自宅でも出来ることの楽しさ、さらにはいつまでも健康で自立した生活の継続につながることを目的とした講座を実施しました。	3 回	21
	フレンチのシェフから学ぶ家庭でできるフランス料理	公民館に脚を向けさせるきっかけづくりとし、まなびの継続事業として生涯学習の関心の薄い世代の人たちへ地区公民館を周知することを目的に実施しました。	1 回	8

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	『小1プロブレムって…?~楽しい小学校生活を送るために~』	「小1プロブレム」の原因を探り、今後の生活習慣を親子で考える機会を創出することを目的に、対面とオンラインを活用した講座を実施しました。	1回	会場5 オンライン3
	子育てふれあい広場 「じゃじゃり子み〜け」	親子が自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第2〜4月曜日（月3回）に地区公民館の一室を開放し、ボランティアスタッフとともに、ふれあい広場「じゃじゃり子み〜け」を開催しました。	29回	保護者181 子ども205 ボランティア94
	就学前子育て講座 (4校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。 【高取校区は、寒波の影響により中止】	各小学校 1回	150
視点② 人材育成・ 地域活動促進事業	子育てふれあい広場ボランティアスキルアップ講座	手鎌・三池地区公民館の「子育てふれあい広場」のボランティアスタッフがスキルアップ、意見交換、交流、広場の活性化を図るために実施しました。	3回	15
視点② 地域ESD 推進事業	〜まち協設立に向けたワークショップ〜高取校区のみらいを考える	校区まちづくり協議会の設立に向けて、様々な世代や立場の人が意見を出し合い、誰もが地域の主役である意識を育むことを目的に実施しました。	1回	19
	三池ゆかりの大牟田大使3人が語る「み・い・け」	大牟田大使であり、三池地区公民館エリアの出身である3人の大牟田大使から、三池の魅力などを語ってもらい、参加者の郷土愛を育むトークショーを行いました。 地区公民館の近くの古民家をメイン会場、地区公民館をサブ会場としてオンラインでつながりました。	1回	59
	地域団体連携事業	地域住民とのふれあいと連携を深め、生涯学習の推進と校区まちづくり協議会・地域の実行委員会等の活動の活性化を図りました。 ・羽山台校区春まつり 4月 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】 ・三池本町夏祭り（7月17日、24日） ・三池光竹（11月5日、6日） ・三池初市（R5年3月1日、2日）	1回 1回 1回	—
視点② 学校ESD支援事業	「銀水校区花いっぱい“絆”プロジェクト」	R3年度に引き続き、ESD、地域の絆づくりの視点を踏まえた事業を実施しました。地域・地区公民館は、花壇づくりなどの作業のほか、子どもたちからインタビューを受けることなどにより、子どもたちの学びを支援しました。	3回	245

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	「三池の歴史学習資料作成支援事業」	三池小学校は1年から6年を通じて行っている史跡・大蛇山・民話等三池の歴史の学習を行っている。そのゲストティーチャーである「三池の歴史を学ぶ会」が学校と連携して作成する学習資料作成の支援を行いました。	3回	28
	「発見！羽山台の宝」	R3年度から学校ESDモデル事業として、子どもたちが、羽山台校区の史跡や文化財等を知り郷土愛を育むとともにゲストティーチャーの子どもを育む気持ちを高める事業を実施しました。 ①地域の人にいろんなことを聞いて学ぶ ②校区フィールドワーク ③ユネスコスクール・SDGs/ESD子どもサミットによる取組発表 ※R5年4月以降にイオンモール、三池地区公民館で取組展示	3回	130
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第28回ふれあい文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に3年ぶりに、コロナ感染症の対策を行いながら実施しました。	1回	325
視点② 人材育成・地域活動促進事業	(サークル社会参加促進事業) サークル育成・研修事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図るため、研修会を開催しました。 「笑って学ぶ“相続”～爆笑!!相続漫才～」	1回	29
	(地域・若者による公民館アート事業) 三池まちかどギャラリー	サークル利用者や個人で制作した作品を発表する作品展を開催することで成果発表の場とし、制作者の制作意欲の向上を図りました。	14回	
視点③ 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3回	7,200部

7 手鎌地区公民館

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 次世代育成事業(子どもの体験活動の強化・充実)	子どもの居場所づくり支援事業	手鎌校区、明治校区の子どもたちを対象に月1～2回実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。 (手鎌地区公民館、手鎌小学校)	18回	子ども137 ボランティア11
	きらめき広場	明治校区の子どもたちを対象に、季節のイベント(クリスマスのケーキづくり)の支援を行いました。 (通常年2回実施予定のところ1回のみ実施) (明治会館)	1回	子ども19 ボランティア11

(手鎌地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	子どもの体験活動事業	いきいきチャレンジ塾 「陶芸探検隊」 「手すきの体験とのりのおやつづくり」	手鎌地区公民館にある陶芸窯を使った「陶芸作品づくり」、手鎌地区で行われている「のりすきの体験」を通じ、心豊かで地域を愛する子どもたちを育みます。夏休み開催予定の陶芸体験はコロナ感染拡大のため3月に延期となりました。 のりすき体験はのり漁の最盛期である1月に行いました。	2回	1月 9 3月 15
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	(家庭教育支援事業) 毎日の子育てが楽しくなる講座		子育て中の保護者が、子どもをほめるコツや上手な言葉かけの方法を学ぶことで、子どもとよりよい関係性を作り、毎日の子育てを楽しめるようになることを目的に実施しました。 (受講方法は、「講師の話を会場で直接聞く」または「リモートで参加する」のどちらかを選択)	1回	会場 21 リモート 8
	就学前子育て講座 (2校区)		小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	76
	子育てふれあい広場 「れもんぐらす」		子育て中の保護者とその子どもが自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第1～3金曜日(月3回)に、ボランティアスタッフを中心として、子育てふれあい広場「れもんぐらす」を開催しました。 【8月、令和5年1月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	29回	子ども 301 保護者 264 ボランティア 149
	(一般成人事業) 「暮らしが整うお片づけ講座」		整理整頓は暮らしを心地よくするだけでなく、仕事や勉強、精神的にもメリットがあると言われています。受講生は整理、片づけ、収納について学び、快適な暮らしを送るノウハウを身につけました。	3回	68
	eスポーツ体験事業		高齢者を対象とした「eスポーツ体験事業」で、高齢者の交流の場を設ける機会を増やし、社会参加を促進させる目的で実施しました。	3回	36
	アクティブシニアデビュー塾	地域デビュー編 「デジカメでもスマホでも！初心者のためのカメラ講座」	デジタルカメラやスマートフォンの普及で「写真を撮る」ことが身近になっています。講座ではカメラ初心者が手持ちのカメラやスマホで気軽に撮影を楽しみ、心身のリフレッシュや脳の活性化を図りました。講座終了後は、新規サークルが立ち上がり、これからもカメラライフを満喫します。	6回	52
		ボランティアデビュー編 「子どもの居場所ボランティアスタッフ養成講座」	「子どもの居場所」の必要性やボランティアの楽しさなどを学んでもらい、ボランティアスタッフとして活動してもらうことを目的に実施しました。 受講生の多くが、今後も活動を続ける予定です。	5回	34

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	健康実践デビュー編 「楽ちん・レンチン料理講座」	毎日の料理で少しでも調理時間を短縮できるように、電子レンジを活用し、手軽に美味しく作ることのできる料理講座を開催しました。講座終了後は、既存のサークルで活動中です。	5 回	64
視点② 人材育成・地域活動促進事業	子育てふれあい広場ボランティアスキルアップ講座	手鎌・三池地区公民館の「子育てふれあい広場」のボランティアスタッフがスキルアップ、意見交換、交流、広場の活性化を図るために実施しました。	3 回	25
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 ①『エンディングノートから始める楽しむ終活』 ②『救急救命講習～AEDを使った心肺蘇生法』	①1 回 ②1 回	① 28 ② 22
	(一般成人事業) 春のサークル体験会	新年度の始まりにサークル活動を体験し、新たに自分の趣味や好きなことを見出し、生きがいづくり、社会参加を目的に実施しました。また、新たな会員増加をめざしてサークル会員の学習意欲向上、サークル活動の活性化を図りました。	1 回	31
視点② 地域 ESD 事業	〔手鎌校区・明治校区〕 あなたが主役です！ 2 校区で考える地域のつながりづくり	手鎌・明治両校区の地域行事において、さらに地域住民の関心や参加を促すことができるよう、住民が一丸となって取り組んでいる事例について話を聞き、これからの地域活動に生かしてもらう事業です。2 校区合同の事業は初めての試みで、両校区の情報交換、意見交換の場としました。	1 回	20
	〔手鎌校区・明治校区〕 まなびの継続事業 「手鎌地区公民館“門松”プロジェクト」	新年の幸せを願って飾られる門松。手鎌地区公民館には 10 年以上門松が飾られていませんでした。そこで手鎌・明治両校区の皆さんの協力を得て、手鎌地区公民館には 10 数年ぶり、明治会館には開館以来初めて門松を飾ることができました。	2 回	43
視点③ 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	5 回	3,200 部

8 駿馬地区公民館

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子ども交流体験事業 (次世代を担う人づくり事業)	夏休み PTA 子ども体験事業	日ごろ体験できない活動を通して、親子の絆や PTA 会員相互の親睦を深め、PTA 活動の活性化を図ることを目的に実施します。 (駿馬小学校 PTA、駿馬地区アンビシャス広場と共催) 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】	—	—

(駒馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	自然を楽しもう！ ふれあいカヌー デー2022	諏訪川でのカヌー乗船体験をすることで自然を愛する心を育むとともに、家族や友人等とのふれあいを深める場・機会を提供するために実施しました。 (6月のカヌーイベントが悪天候により中止になったため、駒馬地区アンビシャス広場と共催で実施)	1回	参加者 65 カヌーサポ ーター会 15 PTA役員 1 アンビシャ ス委員 4 大学生ボラ ンティアス タッフ 12
	駒馬地区アンビシャス広場	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生きる力を育むことができるよう、地域の大人が見守るアンビシャス広場委員会への支援を行いました。 【7月23日、30日、8月6日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉所】	48回	子ども 1,188 アンビシャス委員・PTA 360
視点① 各世代に応じた学習活動支援事業	アクティブシニアデビュー塾	地域デビュー編 はじめてのDIY講座～温もりあふれる自分好みの雑貨づくり～	5回	48
		健康実践デビュー編 シニアピラティス♪足から整えて楽しく健康づくり！	5回	70
		ボランティアデビュー編 歴史ボランティアガイド養成講座～子どもたちに伝えよう 駒馬の宝～	—	—
	(一般成人事業) はじめてさんのパン作り講座	パンづくりを基礎から学び、技術を身につけ、自宅での生活を豊かにすることを目的に、初心者向けのパン作り講座を開催しました。講座終了後は、新規サークル「こむぎ」が立ち上がりました。	3回	23

(駒馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	就学前子育て講座 (1校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	41
	(家庭教育支援事業) 思春期の子育てに役立つ！コミュニケーション術を学ぼう	思春期の子どもを取り巻く環境や子どもの悩みを知り、よりよい親子関係になることを目的に、コミュニケーション術を学ぶ講座を開催しました。	1回	21
視点② 地域 ESD 推進事業	駒馬校区防災講座(図上訓練)	校区内の危険箇所や要支援者の所在地を把握し、万一の災害発生時に、地域内の人々が連携協力して速やかに避難できるようにすることで、安心安全に暮らすことができる地域づくりを目的に実施しました。 ＜駒馬校区まちづくり協議会との共催＞	1回	48
	諏訪川清掃活動支援	地域団体主催の諏訪川清掃活動に対し、「はやめカヌーサポーター会」と支援を行いました。 ・駒馬校区社会福祉協議会主催 「諏訪川浄化活動」8月、2月開催。 ・駒馬校区まちづくり協議会主催 「精霊流し片付け」【悪天候のため中止】	2回	120
視点② 学校 ESD 推進事業	駒馬のまち発見隊	駒馬地区公民館の定期利用サークルである「はやめ郷土の会」がボランティアガイドを務め、駒馬小学校3年生の総合学習「駒馬の歴史学習」の事前学習として「地域を知る」の一環で実施した古道歩きの支援を行いました。歴史学習を通して、学校と地域のつながりを強化することを目的としています。	1回	60
	カヌー体験活動支援	児童の健やかな成長に寄与するため、近隣小学校が実施する体験学習(海洋教育としてのカヌー乗船体験)に対し、支援を行いました。	3回	児童 165 教諭・PTA 47 カヌーサポーター 34
視点② 人材育成・地域活動促進事業	第24回はやめカップ祭り	河川浄化と意識の向上と、世代間交流の促進、地域の連帯意識の醸成を図ることを目的として開催される当該イベントの支援を行いました。 ＜はやめカップ祭り実行委員会主催＞	1回	1,500
	2023 なの花フェスタ	環境美化及び青少年の健全育成を目的に、諏訪川及び駒馬地区公民館を会場に開催されるイベントの支援を行いました。 ＜2023 なの花フェスタ実行委員会主催＞	1回	1,000
	炭鉱の祭典(宮原坑フェスタ)	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される「宮原坑フェスタ2022」のイベントの支援を行いました。 ＜大牟田市世界遺産・文化財室主催＞	1回	2,500

(駒馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
	カヌーボランティア活動支援	新たなボランティアの育成によりカヌー事業の継続発展を図ることを目的に、カヌーサポーター養成講座を開催しました。	1 回	受講者 6 カヌーサポーター 8
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①研修会 講話「これからもイキイキと生きるために」 ②交流会「ペタンク大会」の開催	各 1 回	160
視点② 学習成果活動促進事業	(学習成果活用促進事業) 第 26 回駒馬地区公民館文化祭(翔馬祭)	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に、コロナ感染症の対策を行いながら 3 年ぶりに実施しました。	1 回	1, 149
	展示コーナー・ロビーの活用促進	館内の展示コーナーを活用し、小・中学校の作品展などを開催することにより学習活動の成果発表の機会を提供しました。	12 回	—
	はやめほっとギャラリー 「音楽の贈り物 スプリングコンサート～春をまちわびて～」	公民館で生演奏を鑑賞する機会を提供することで、気軽に音楽に親しんでもらい、地域の文化振興に寄与することを目的に開催しました。 〈大牟田文化会館との共催〉	1 回	84
視点② 学習情報提供事業	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3 回	4, 000 部

9 登録サークル活動

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駒馬	合計
R 2	サークル数	26	30	20	28	41	29	29	203
	会員数(人)	279	440	279	357	551	361	298	2, 565
R 3	サークル数	22	29	20	27	36	29	27	190
	会員数(人)	238	441	261	315	418	327	274	2, 274
R 4	サークル数	16	33	21	27	32	28	26	183
	会員数(人)	186	438	271	302	338	309	235	2, 079

10 図書関連事業

(1) 各地区公民館別図書貸出冊数

(単位: 冊)

区 分		三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駒 馬	合 計
R 2	一 般	1, 740	1, 695	3, 280	7, 615	3, 686	818	18, 834
	児 童	528	322	1, 467	2, 830	1, 570	190	6, 907
	計	2, 268	2, 017	4, 747	10, 445	5, 256	1, 008	25, 741

区 分		三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬	合 計
R 3	一 般	3,778	1,495	3,145	7,643	3,409	1,254	20,724
	児 童	1,974	279	1,344	2,991	1,481	755	8,824
	計	5,752	1,774	4,489	10,634	4,890	2,009	29,548
R 4	一 般	4,060	1,613	3,506	8,456	4,055	1,437	23,127
	児 童	3,029	500	1,963	3,004	1,474	766	10,736
	計	7,089	2,113	5,469	11,460	5,529	2,203	33,863

(2) 図書関連事業

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地区公民館において絵本の読み聞かせなど行いました。

1 1 施設利用状況

R 4 年度は、自然災害等による避難所開設のため休館及び開館時間の短縮を行いました。

(単位：人)

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
R 2	件数	2,608	1,461	1,515	1,774	2,038	2,389	1,006	12,791
	延人員	22,314	12,076	12,301	17,069	19,319	21,963	8,319	113,361
R 3	件数	2,254	2,147	1,356	1,661	2,032	1,871	1,300	12,621
	延人員	19,654	18,661	11,681	15,929	16,749	16,888	11,960	111,522
R 4	件数	3,024	3,408	2,130	2,408	2,814	2,915	2,328	19,027
	延人員	28,842	28,186	17,942	22,318	24,118	27,653	23,157	172,216

○自主及び指定避難所開設のため休館

7月5日(火) 9時～正午

7月15日(金) 17時～21時30分

7月18日(月・祝) 18時～19日(火) 14時

9月18日(日) 9時～19日(月・祝) 15時

R5年1月24日(火) 18時～25日(水) 正午

1 2 施設改修・施設整備

(1) 社会教育施設・設備充実事業

地区公民館の利用者が、安心、安全に施設を利用できるように、必要に応じて施設修繕を実施しました。

R 4 年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、地区公民館の換気設備等更新工事及び内装抗菌化工事を実施しました。

1 3 研修・研究

毎月第1月曜日(休館日)に開催する地区公民館職員研修会において、各種研修及び各種計画の紹介等を行ったほか、社会教育センター等で開催される研修に参加しました。

《多目的活動施設リフレスおおむた》〔生涯学習課〕

リフレスおおむたは、市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するため、H11年に設置しました。青少年の多様な体験活動の場、生涯学習・生涯スポーツの場、広域的な住民交流の場の提供に努めています。

また、野外・自然体験活動等の事業をはじめ、施設設備の有効的な利活用を図るための指導者養成事業、施設ボランティア養成事業等の実施により、青少年の健やかな成長と豊かな心を育むことを目指しています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、R4年度からR8年度までの5年間は公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定していました。次の指定管理期間（R4年度からR8年度までの5年間）についても、公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定しております。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。なお、一部の事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を中止・縮小しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
農業生活体験がまだす隊	小学校1年生から2年生を対象に、子どもたちの生きる力を育てることを目的として、収穫体験や自然の大切さを学ぶ事業です。	5月～12月	6	137
リフレスなんでもやる隊	小学校3年生から6年生までを対象に、「自然体験」を中心として、命の尊さ、食の大切さを自然から学ぶ実践体験事業です。	6月～R5.1月	6	112
春の野草を食べよう	施設周辺で春の野草などの自然観察を行いながら、草木にふれあう機会と、専門ボランティアの解説、試食等を通して、参加者同士の交流を深める事業です。	4月（中止）	—	—
リフレスキャンプ2022 （長期宿泊体験事業）	キャンプ体験初心者の家族を対象としたファミリーキャンプを実施し野外活動の楽しさや大切さを感じてもらう機会を提供しました。また、小学校の異学校、異学年での日常生活活動や特別活動（キャンプファイヤー、野外炊飯）を通して、自主性・社会性を養うと共にコミュニケーション能力を高める集団宿泊体験事業です。（年3回：ファミリーキャンプ・サマーキャンプ・ウィンターキャンプ） ※R3年度は、宿泊体験事業の代わりに、日帰りスキー＆雪遊びデイキャンプを自主事業として実施。	8月 10月 12月 R5.2月 R5.3月	5	71
キャンパーズコネクション （野外活動指導者養成事業）	高校生・大学生を対象に、野外活動の楽しさを知り、体験したことを指導者として発揮できるための講座です。	7月	1	4
レクリエーション指導（青少年団体支援事業）	学校や子ども会などを対象に、要請に応じて指導者を派遣して、レクリエーションや野外活動の指導を行う事業です。出前講座にも登録しています。	11月	2	128

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
楽しいキャンプファイヤー指導（青少年団体支援事業）	要請に応じて学校や子ども会、地域行事などに職員を派遣し、キャンプファイヤーやレクリエーション指導を行う事業です。 ※R3 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため宿泊プログラムを行っておらず、事業未実施。	—	—	—
青少年ボランティア活動支援	野外活動や自然活動を支援するリーダー育成を目指す事業です。	5月～7月 9月～12月	11	48
星空観察会	夏・冬の星座観察を通して、星座の成り立ちや神話、星に関わる疑問等を学び、自然の大切さを理解し環境保護について考える機会とすることを目的に、大牟田市環境保全課と星空観察ボランティアとの共催で実施する事業です。	8月 R5.2月	2	15
ほたる観察会	ほたるについての学習会などを行い、観察だけでなく、自然環境のほたるへの影響などを学び、自然保護の意識を醸成させることを目的に、市環境保全課と四ヶ友和会との共催で実施する事業です。	5月	1	18
学習の相談及び支援（アドバイス）	学校やスポーツ団体等、リフレスを利用される野外活動などの相談支援を行う事業です。	通年		4校 (小学校)

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した特性を生かした事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
陶芸教室（大人対象）	10月～11月	35
陶芸教室（親子対象）	6月～7月	30
クライミング講習会	R5.1月～3月	50
高齢者向け健康体操（フレイル対策プログラム）	11月	4
リフレスクッキング教室	5月、11月	34
物づくり教室	10月～11月	49
ヨガ&健康体操教室	毎週火、水曜日	279
ペン字講座	6月、R5.1月	20
競技かるた教室	R5.2月	2

（３）自主事業（指定管理者が独自に実施する事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
HIPHOP ダンス教室 「Swich Club」	毎週火曜日	104
はじめてのドローン体験教室	9月、11月	17
日帰りスキーキャンプ	R5.1月、2月	31
雪遊びデイキャンプ	R5.1月	13

2 利用状況

(1) 開所日数 340日

(2) 利用者数等

年度	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
R2	1,854	13,120	189	16	12,915	7,129	722	5,269
R3	1,704	12,408	238	8	12,162	6,590	281	5,537
R4	2,315	18,193	577	224	17,392	10,446	501	7,246

(R4年度内訳)

区分別	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
個人	1,386	5,237	26	23	5,188	3,348	115	1,774
少年	251	4,789	175	9	4,605	767	46	3,976
学校	16	499	84	0	415	174	155	170
他団体	466	5,383	226	192	4,965	4,471	139	773
主催事業	196	2,285	66	0	2,219	1,686	46	553
計	2,315	18,193	577	224	17,392	10,446	501	7,246

※「利用者数」には利用した実人数を計上しています。

※「個人」とは、団体名を持たない利用者（複数人を含む）をいいます。

※「少年」とは、青少年を主とした団体で、「学校」及び「他団体」以外の団体をいいます。

※「学校」とは、小学校以上の学校の団体をいいます。

※「他団体」とは、一般団体やサークル、幼児の団体をいいます。

※「主催事業」とは、リフレスおおむたが主催する事業に参加した利用者をいいます。

3 施設整備等

R4年度は、クライミングウォールの改修工事を行いました。また、公共施設維持管理計画に基づく予防保全のための工事として、外壁改修工事等をR4年度からR5年度にかけて行っており、施設の長寿命化を図っています。

《大牟田文化会館》〔生涯学習課〕

大牟田文化会館は、事業の企画・実施や、市民の文化活動に係る施設や附属設備等の提供、文化活動に関する相談・支援・情報収集、プラネタリウム投影などを通して、大牟田市、柳川市及びみやま市の圏域における文化の向上と住民の福祉の増進に資するためにＳ６１年に設置しました。文化事業については音楽や古典芸能、講演など幅広いジャンルの催しを開催することを目的としています。

H１８年度から指定管理者制度を導入し、R４年度からR８年度までの５年間は公益財団法人大牟田市文化振興財団を指定管理者に指定しています。

１ 事業の実施状況（プラネタリウム関連事業を除く）

施設の特性を生かし、文化の向上と住民の福祉の増進に資する文化芸術事業を指定管理者が実施しました。（多様な文化にふれ親しむ鑑賞型、市民が主体的に参加する参加型、将来の文化を担う人材を育成する育成型の文化芸術事業を地域の音楽・文化関係団体等と連携して実施。）

①鑑賞型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
第77回福岡県美術展覧会（県展）筑後ブロック展	10月10日（月・祝） ～16日（日）	文化会館	出品数 188点 入場者 782人
開館35周年記念事業 「砂音の奏でる世界～サンドアートと生演奏～」	6月11日（土） （R3年度延期分）	文化会館	350人
荒巻陽子×松浦航大 最強!!歌マネ LIVE	R5年1月29日（日）	文化会館	1,489人

②参加型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
大ホールピアノ体験 「スタインウェイを弾いてみよう」	5月3日（火・祝） 5月7日（土） 5月8日（日） 5月21日（土） 5月22日（日）	文化会館	73人
第40回有明美術展	5月31日（火）～6月5日（日）	文化会館	出品数 158点 入場者 976人
第15回びあの1日マラソン	6月26日（日）	文化会館	599人
クリスマスファミリーコンサート	12月25日（日）	文化会館	201人
大牟田市わくわくシティ基金事業 ダンスチャレンジおおむた	R5年1月15日（日） 〔ワークショップ〕 11月27日（日） 12月4日（日） 12月18日（日） 12月24日（土） R5年1月7日（土）	文化会館	751人

事業名		とき	ところ	入場者等
文化芸術 が生み出 すまちの 魅力アッ プ事業	羽山台小学校演劇ワークショップ	11月22日(火) R5年2月10日(金)	羽山台小学校	155人
	小学生のためのコミュニケーションワークショップ	11月23日(水・祝)	文化会館	
	講演会	11月23日(水・祝)	文化会館	
	中高生、大人対象の演劇ワークショップ	R5年2月11日(土・祝)	文化会館	
七夕飾り～星にお願い～		6月24日(金) ～7月23日(土)	文化会館	610人
ツリーにお願い！		11月23日(水・祝) ～12月25日(日)	文化会館	120人
おむタンおみくじ		R5年1月11日(水)～ 1月31日(火)	文化会館	480人
文化体験講座 「バイオリンを弾いてみよう！」		①4月23日(土) (R3 年度延期分) ②9月10日(土)、10 月8日(土) ※全2回	文化会館	①28人 ②34人
大牟田市わくわくシティ基金事業 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」ハイライト 公演		10/21(金) 〔ワークショップ〕 ①9/20(火) ②9/27(火) ③10/6(木) (R3年度延期分)	文化会館 ①高取小 吉野小 ②大正小 ③明治小 上内小 平原小	762人
音楽の贈り物事業スプリングコンサート ～春を待ちわびて～in 駛馬地区公民館		R5年2月12日(日)	駛馬地区 公民館	84人
憩いの mori 午後のミニコンサート ～音楽のさんぽみち～		ミニコンサート 4月10日(日) 5月8日(日) 6月12日(日) 7月10日(日) 8月27日(土) 10月16日(日) 11月13日(日) 12月4日(日) R5年1月22日(日) R5年3月5日(日) スペシャルコンサート 10月9日(日)	文化会館	426人
ふるさと支援事業 「大牟田文化会館市民企画応援プロジェクト」 ①女性合唱団(スウィートハーモニー) ②創作エイサー他(琉球の風 真心) ③押し花展示会(花かざり)		①5月15日(日) ②R5年1月7日(土) ③R5年3月9日(木) ～12日(日) ※①はR3年度延期分	文化会館	943人

③育成型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
第20回ありあけジュニアピアノコンクール ①Aコース予選、②Aコース本選 ③Bコース、④アンサンブルコンサート ⑤第20回記念演奏会	①8月7日(日) ②11月3日(木・祝) ③8月6日(土) ④R5年3月12日(日) ⑤R5年3月21日(火・祝)	文化会館	参加者 127人 入場者 1,204人
マロプロジェクト in 大牟田 ～子どもたちの未来へ 音のメッセージ～	8月16日(火)～ 18日(木)	文化会館	参加者 42人 入場者 213人
サロン de アート 「ピアノミニコンサート」	11月6日(日)	文化会館	56人
第46回九州青年美術公募展	11月20日(日)～ 26日(土)	文化会館	応募数 107点 入場者 338人
大牟田文化会館・有明高専合同 星空観望会 ほしぞら☆探検隊	11月4日(金)	有明工業高等専門学校	31人
大牟田文化会館・有明高専合同 「アクリル星座板工作教室」	8月21日(日)	文化会館	36人
大牟田文化会館・有明高専合同 「はじめてのプログラミング教室」	8月21日(日)	文化会館	28人
大牟田文化会館・有明高専合同 「電子工作マイクロビット体験教室」	12月17日(土)	文化会館	16人

2 プラネタリウム関連事業の実施状況

プラネタリウムでは、新型コロナウイルス感染防止の観点から120人の定員を60人程度に縮小し、土・日・祝日に1日2回、午前と午後で番組を入れ替え、四季に応じた星座の生解説を入れた一般投影を行いました。また、地域の祭りや産業遺産等を紹介する会館オリジナル番組の無料特別投影を行いました。

平日は予約による団体投影を行い、幼稚園・保育園、小学校・特別支援学校・学童保育、福祉施設、サークル団体、個人グループなど、圏域内外より50団体の来場がありました。

そのほか、大人向けの音とアロマの特別投影を年4回実施しました。

事業名	とき	ところ	入場者等
音とアロマのプラネタリウム 「星空ヒーリング」	①7月16日(土) ②10月8日(土) ②12月10日(土) ③R5年3月18日(土)	文化会館	130人

プラネタリウム来場者数の推移

年 度	R2	R3	R4
来場者数	1,202人	2,809人	3,077人

3 利用状況及び収入状況

(1) 利用状況

	稼働率 (%)			利用人数 (人)		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
大ホール	24.6	32.8	43.1	13,872	26,443	48,172
小ホール	43.5	34.6	51.6	11,201	14,199	22,609
その他				37,519	52,736	69,946
計				62,592	93,378	140,727

(2) 収入状況

(単位：千円)

会場使用料・観覧料	付属設備使用料・冷暖房料	その他	合計
26,942	16,588	1,435	44,965

《三池カルタ・歴史資料館》〔生涯学習課〕

三池カルタ記念館は、H 3 年に開設しました。その後、H 1 8 年に歴史資料館と統合し、三池カルタ・歴史資料館として現在に至っています。カルタや歴史に関する展示を中心とした企画展の開催をはじめ、資料の収集・保存、調査研究、文化・歴史講座等の実施により、市民の文化的教養の向上に努め、市民の豊かな心と郷土を愛する心を育み、地域社会の文化の向上に資することを目的としています。

H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 4 年度から R 8 年度までの 5 年間は T R C ・ アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①企画展

事業名	期間	内容	入館者
春の企画展 郷土カルタで日本一周	4 月 5 日(火)～ 6 月 26 日(日)	近年精力的に収集してきた全国各地で盛んに作られている「郷土カルタ（ご当地カルタ）」の中から厳選した約 30 点を紹介する展示を行いました。	大人 1,162 人 子ども 193 人 計 1,355 人
平和展 2022 大牟田空襲と戦争 ーあの日焼夷弾の雨が降ったー	7 月 5 日(火)～ 9 月 25 日(日)	戦時中の資料や写真などを公開し、空襲の実態や被害状況を示す資料も合わせて紹介する展示を行いました。	大人 1,463 人 子ども 541 人 計 2,004 人
秋の企画展 新収蔵カルタ展 2022	10 月 4 日(火)～ 12 月 4 日(日)	R 3 年度に収集したカルタやトランプの中から厳選した約 30 点を紹介する展示を行いました。	大人 930 人 子ども 466 人 計 1,396 人
冬の企画展 百人一首カルタの美と雅	12 月 13 日(火)～ R 5 年 3 月 26 日(日)	江戸時代初期の豪華な百人一首カルタをはじめ昭和までに作られた多様で多彩なカルタを一堂に展示しました。	大人 1,161 人 子ども 204 人 計 1,365 人

②おおむたカルタものがたり（市民カルタフェア）

と き 7 月 3 1 日(日)

ところ イオンモール大牟田

参加者 73 人（大人 28 人、子ども 45 人）

本市が「日本のカルタ発祥の地」であることを広く周知するため、本市の特色を活かした文化芸術事業実行委員会を組織し、ワークショップやカルタ体験を実施しました。

③第 3 0 回三池カルタ・歴史資料館杯《小倉百人一首》九州新人かるた競技大会

と き 1 0 月 2 3 日（日）

ところ 大牟田市立大牟田中央小学校 体育館

参加者 1 0 9 人 個人戦のみ（大人 3 人・子ども 5 3 人）、観覧者等 5 3 人

新型コロナウイルス感染症対策として、個人戦のみでの開催としました。

④普及・啓発事業

ア カルタの貸出（小倉百人一首かるた等） 65件 延べ 126組

イ 講座等の開催

内 容	と き	受講者数
歴史講座「滔天からのメッセージ-没後 100 年迎えて-」	7 月 10 日(日)	22 人
歴史講座「近代立花家と橘香園」	9 月 4 日(日)	16 人
文化講座「筑後洋画壇の画家たち」	11 月 20 日(日)	16 人
文化講座「没後 80 年-北原白秋の誕生と白仁秋津-」	R5 年 2 月 19 日(日)	23 人

(2) 提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①企画展関連イベント等

事 業 名	期 間	内 容	参加者等
春の企画展関連事業 昔話で日本一周	4 月 24 日(日)	日本各地に残る昔話を語り紹介することで、郷土カルタの展示に合わせたイベントを開催しました。	8 人 (大人 7 人、 子ども 1 人)
春の企画展関連事業 ミュージアム・コンサート	6 月 5 日(日)	展示室内でのコンサートを実施することにより、企画展の周知と集客を図りました。	39 人 (大人 34 人、 子ども 5 人)
平和展 2022 関連事業 平和の朗読会「空襲の果ての青い空」	8 月 7 日(日)	過去の空襲の歴史を振り返りながら大牟田が被災した 5 回の空襲について体験者の証言など朗読を通して紹介しました。	18 人 (大人 18 人)
平和展 2022 関連事業 夏休みアニメーション上映会	7 月 16 日(土)～ 8 月 10 日(水) 全 42 回	夏休み期間にアニメーション上映を通じて、平和展の来館を促し、平和学習の一助となるよう実施しました。	112 人 (大人 47 人、 子ども 65 人)
秋の企画展関連事業 ミュージアムガイド	10 月 30 日(日)	「団琢磨没後 90 年特別展示」について館長が展示資料の解説を来館者に行いました。	14 人 (大人 14 人)
秋の企画展関連事業 ミュージアム・コンサート	11 月 26 日(土)	生涯学習ボランティア登録派遣事業を活用し、展示室内でハーモニカ演奏のコンサートを実施することにより、企画展の周知と集客を図りました。	20 人 (大人 19 人、 子ども 1 人)

②普及・啓発事業

ア 博物館学芸員実習・インターンシップ（就業体験）受け入れ

8 月 23 日（火）に 1 名受け入れました。

イ 出張カルタ

場 所	と き	参加者数
倉永小学校	6月10日(金) 10月20日(木)	65人 42人
てとての学童	8月3日(水)	18人
銀水小学校	10月21日(金)	162人
駛馬小学校	11月16日(水)	64人
ふれあい教室	R5年1月21日(土)	70人

ウ 講座等の開催

講 座 名	と き	受講者数
古文書入門講座(第8期)	全24回 4月8日(金)～R5年3月17日(金)	延べ323人
『源氏物語』の光と影を読む(第9期)	全24回 4月10日(日)～R5年3月26日(日)	延べ338人

エ イベント等の開催

事 業 名	期 間	内 容	参加者等
古代体験 「勾玉づくり」	8月17日(水)	世界遺産・文化財室と連携して市内出土の勾玉の歴史の解説と勾玉制作を行いました。	8人 (子ども)
大牟田史跡めぐりウォーク - 櫛野編 -	R5年 3月12日(日)	世界遺産・文化財室と連携して櫛野方面に点在する史跡や自然をめぐりました。	15人 (大人)

2 報道関係等への資料提供とPRの状況

新聞 35件 テレビ・ラジオ 22件 機関紙・雑誌等 17件

3 観覧者数等の状況

年 度	開館日数	入 館 者 数 (人)			図 録 関 係 頒布収入(千円)
		一 般	児童生徒	合 計	
R2	240	3,952	711	4,663	167
R3	211	3,673	1,120	4,793	83
R4	274	4,716	1,404	6,120	128

※ 観覧料については、H19年度に指定管理者制度導入後、無料となっています。

※ H18年度の入館者数は、5,479人です。

《図 書 館》〔生涯学習課〕

市民の図書資料に対する要求に応え、自由で公平な図書館資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業を実施します。また、施設設備を有効に活用し、読書ボランティア養成講座事業、おはなし会等を実施します。

三池カルタ・歴史資料館との複合施設であり、H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 4 年度から R 8 年度までの 5 年間は T R C ・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 利用状況

(1) 図書貸出の登録者及び利用者

(単位：人、団体)

区 分				計	本 館	地 区 公 民 館						
						三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	
登録者数	個人	新規登録者	小学生以下	324	297	10	3	5	4	4	1	
			中 学 生	63	61	1	0	1	0	0	0	
			高 校 生	66	65	0	0	0	1	0	0	
			成 人	1,096	1,012	24	8	13	24	12	3	
			計	1,549	1,435	35	11	19	29	16	4	
	登録者数			24,085	22,118	335	155	385	543	380	169	
	団体	新規登録団体数			10	10						
		登録団体数			583	583						
利用者数	個人	実利用者数			7,282	6,752	105	47	93	147	101	37
		のべ利用者数			103,729	92,350	2,130	866	1,812	3,956	1,797	818
	団体	実利用団体数			65	65						
		のべ利用団体数			366	350	0	1	0	0	14	1

(2) 図書貸出冊数及びその他資料貸出数

(単位：冊、点、日)

区 分		計	本 館	地 区 公 民 館					
				三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬
図書資料	一般書	242,031	218,904	4,060	1,613	3,506	8,456	4,055	1,437
	児童書	126,245	115,509	3,029	500	1,963	3,004	1,474	766
	小 計	368,276	334,413	7,089	2,113	5,469	11,460	5,529	2,203
	開 館 日		284	336	333	336	333	333	333
	1 日 平 均		1,177.5	21.1	6.3	16.3	34.4	16.6	6.6
その他資料	A V 資 料 (CD・DVD 等)	14,591	14,421	59	6	33	5	43	24
	雑 誌	13,495	13,032	4	22	89	129	216	3
	小 計	28,086	27,453	63	28	122	134	259	27
総 計		396,362	361,866	7,152	2,141	5,591	11,594	5,788	2,230

※本館館内閲覧受付 7 0 9 冊

○本館の蔵書点検に係る臨時休館 R 5 年 3 月 2 日（木）～ 3 月 1 3 日（月）

(3) 図書貸出冊数（一般書・児童書）と予約・リクエストの推移

区分 年度	貸 出（冊）		予約・リクエスト	
	個 人	団 体	件 数	左のうち、購入した冊数
R2	332,370	6,516	20,536	905
R3	324,727	6,098	35,914	767
R4	361,124	7,152	33,020	1,107

(4) 障害者サービス

	登録者	貸出数	市内送付サービス	市外送付サービス
点字サービス	28 人	104 タイトル 329 点	104 タイトル 329 点	0 タイトル 0 点
録音サービス (デージー※含む)	106 人	192 タイトル 301 点	188 タイトル 278 点	4 タイトル 23 点
計		296 タイトル 630 点		

※ デージー（DAISY）は、視覚障害者向けデジタル録音図書。Digital Accessible Information SYstem の略。ただし、本表では広報・新聞コラム等を除いています。

※ R 元年度から、フリーペーパー「どがしこでん」の DAISY の貸出しを開始しました。

(5) 予約処理状況

一般書・児童書 30,392 冊
雑誌 2,293 冊
AV 資料（CD・DVD 等） 335 冊 合 計 33,020 件

※ R 3 年 4 月より、在架予約を開始しました。

（市立図書館や地区公民館図書コーナーの棚にある資料を予約することができます。）

(6) 文献複写サービス（有料）

複写枚数 6,412 枚

(7) 人口類似都市図書館との比較

区 分	大 牟 田 市		人口類似都市平均 (R3 年度実績)
	R3 年度	R4 年度	
市民 1 人当たりの図書等貸出冊数	3.28 冊	3.68 冊	3.95 冊
全市民中に占める貸出登録者の割合	22.85%	22.38%	41.37%
蔵 書 回 転 率	1.19 回	1.32 回	1.19 回
市 民 1 人 当 た り の 蔵 書 冊 数	2.75 冊	2.78 冊	3.32 冊
市 民 1 人 当 た り の 図 書 等 購 入 費	220.89 円	223.98 円	174.44 円
職 員 1 人 当 た り の 図 書 等 貸 出 数	22,404 冊	23,315 冊	16,354 冊

※「人口類似都市平均」は、『日本の図書館（2022）』日本図書館協会 2023 年刊から、人口 11 万人以上 12.1 万人未満の 10 市の平均

※大牟田市以外の数値は、2022 年の公共図書館調査票の数値をもとに平均値を算出

2 図書館資料

拠点別蔵書冊数

(R 5 年 3 月 3 1 日現在)

区 分	一 般 書		児 童 書		計	
	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)
本 館	193,468	80.5%	47,012	19.5%	240,480	100.0%
三川地区公民館	6,767	58.6%	4,790	41.4%	11,557	100.0%
勝立地区公民館	6,318	65.7%	3,292	34.3%	9,610	100.0%
吉野地区公民館	6,144	60.2%	4,067	39.8%	10,211	100.0%
三池地区公民館	5,921	54.7%	4,902	45.3%	10,823	100.0%
手鎌地区公民館	4,934	55.6%	4,332	44.4%	9,266	100.0%
駛馬地区公民館	4,228	55.6%	3,383	44.4%	7,611	100.0%
計	227,780	76.0%	71,778	24.0%	299,558	100.0%

3 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業 (指定管理者が必ず実施しなければならない事業)

① 定例事業

ア おはなし会 (おおむた読書推進ボランティアネットワークの協力を得て開催)

おはなし会名	開 催 日	開催回数	参加者 (のべ人数)	協力ボランティア (のべ人数)
幼児及び小学生低学年を対象としたおはなし会	毎週土曜日	46 回	390 人	125 人
乳幼児のためのおはなし会	第 1 週～第 3 週の木曜日	33 回	157 人	78 人
赤ちゃんのためのおはなし会	毎週火曜日	39 回	283 人	112 人

イ ブックデビュー事業

保護者と赤ちゃんが「初めての絵本」の楽しさを実感できる方法を提案するとともに、図書館の利用案内を行いました。

上記の「赤ちゃんのためのおはなし会」内で月 1 回、ブックデビュー事業を行いました。また、図書館の事業外では、先述のブックスタート事業「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」、子ども家庭課の「赤ちゃん広場」内で実施しました。

実施回数 24 回 参加者 (のべ人数) 261 人

ウ ブックリサイクルの実施

図書館で不用になった図書・雑誌を市民、学校及び施設に無料提供しました。

(ア) 子どもの本限定！ブックリサイクル

と き 4 月 2 9 日 (金・祝) 参加者 87 人

(イ) ブックリサイクル (一般書・雑誌)

と き 10月9日(日)・10日(月・祝) 参加者 66人

(ウ) 学校向けブックリサイクル

と き 9月7日(水)～9日(金) 参加者 17人(13団体)

ブックリサイクル提供図書総数 5,000冊

②行 事

ア イベント的事業

事業名	内 容	と き	参加者
「子ども読書の日 記念イベント 2022」	特設「スタンダードブック～20年以上読み 継がれてきた絵本～日本編①」	4月1日(金)～ 6月29日(水)	—
	子ども読書の日記念おはなし会 「どうぶつえんスペシャル」	4月23日(土)	11人
	ぬいぐるみおとまり会	5月4日(水・祝) 5月5日(木・祝)	児童のべ 6人
	子どもの本限定!ブックリサイクル〔再掲〕	4月29日(金・祝)	87人
特別おはなし会	子ども読書の日記念おはなし会〔再掲〕	4月23日(土)	11人
	七夕おはなし会	7月2日(土)	20人
	平和おはなし会	8月6日(土)	13人
	クリスマスおはなし会(2回開催)	12月17日(土)	①16人 ②14人
企画展示 「平和事業」	平和パネル展	7月29日(金)～ 8月24日(水)	—
	平和について考える	7月29日(金)～ 8月24日(水)	—
	平和おはなし会〔再掲〕	8月6日(土)	13人
	平和の映画上映会	8月7日(日)	5人

イ 講座及び研修会

読書ボランティア養成講座「読み聞かせのスキルアップ講座」

内 容	講 師	と き	受講者
「みなさんどうしてる?!おはなし 会のプログラムづくり」	講師:古賀 綾子 (絵本コンシェルジュ)	R5年1月15日(日)	7人
「絵本専門士オススメ!いま読みたい!最新読み聞かせ向け書籍紹介」～ たのしいおはなし、届けましょう～ 「発声・表現が上手くなるワンポイントレッスン」	講師:柴田 香 (絵本専門士)	R5年1月22日(日)	12人

内 容	講 師	と き	受講者
「絵本が育む愛着形成」	講師：福岡大学 絵本専門士 教授 安元 佐和	R5 年 1 月 29 日(日)	8 人

③有明圏域定住自立圏に係る取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、H 2 4 年度から柳川市及びみやま市、H 2 6 年度から荒尾市、南関町及び長洲町との図書サービスの相互利用を実施しています。

【大牟田市立図書館における相互利用状況】

年度 \ 区分	登録者数	登録者数のうち 新規登録者数	のべ利用者数	図書等貸出数
R2	2,375 人	101 人	7,855 人	35,362 冊
R3	2,339 人	134 人	7,084 人	32,756 冊
R4	2,206 人	72 人	6,872 人	28,067 冊

④ありあけ圏域電子図書館

R 4 年 5 月 1 日から大牟田市、柳川市、みやま市、長洲町の 4 市町共同運営による電子図書館サービスを開始しました。

【電子図書館利用状況】

貸出回数	一般図書	児童書	計
総数（うち大牟田市）	19,959（14,219）	16,597（14,949）	36,556（29,168）

(2) 提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①展示会（主に図書の展示と貸出し）ほか

ア 特設（一般）

展示テーマ	内 容	と き
心に一編の詩（うた）を	詩集を紹介してほしいという利用者からの要望から、日本の近代・現代詩が載っている詩集など 35 冊の展示・貸出しを行いました。	4 月 1 日(金)～ 4 月 27 日(水)
日本の美	コロナが収束したら行きたい国に選ばれる日本の美しい場所や物の本 81 冊の展示・貸出しを行いました。	4 月 29 日(金・祝) ～5 月 25 日(水)
防災について学ぼう！	さまざまな災害に備えるため「令和 2 年 7 月豪雨」があった 7 月に向けて防災に関する本 66 冊（うち 5 枚 DVD 資料）を集めて展示・貸出しを行いました。	5 月 27 日(金)～ 6 月 29 日(水)
洋館建築さんぽ	洋館、異人館と呼ばれる建築物の本や、その建築物を紹介したガイドブック等の本 39 冊を集めて展示・貸出しを行いました。	7 月 1 日(金)～ 7 月 27 日(水)
平和について考える〔再掲〕	パネル展「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」に合わせ、戦争と平和に関する本 72 冊の展示・貸出しを行いました。	7 月 29 日(金)～ 8 月 24 日(水)

展示テーマ	内 容	と き
世界の絵本を集めてみました！	国際子ども図書館の展示セット「絵本で知る世界の国々」を参考にして、日本で出版されている世界の絵本を 69 冊集めて展示・貸出しを行いました。	8 月 26 日(金)～ 9 月 28 日(水)
日本の鉄道開業 150 周年	日本の鉄道開業 150 周年を記念し、鉄道に関する本と「炭鉱電車」として知られた三池鉄道に関する資料 75 冊の展示・貸出しを行いました。	9 月 30 日(金)～ 10 月 26 日(水)
アンドロイドは人間になれるのか？	アンドロイド・A I ・ロボットなどの人間に近い存在を描いた小説や工学についての本 70 冊の展示・貸出しを行いました。	10 月 28 日(金)～ 11 月 23 日(水・祝)
本とコーヒー	読書時間をより豊かに過ごせるよう、コーヒーや喫茶店、カフェ等をテーマにした本 69 冊の展示・貸出しを行いました。	11 月 25 日(金)～ 12 月 21 日(水)
アジアっぱ	近隣アジア(韓国・台湾・中国)のカルチャー・旅行・文学・語学などの本 150 冊の展示・貸出しを行いました。	12 月 23 日(金)～ R5 年 1 月 25 日(水)

イ 特設(児童)

展 示 名	展示冊数	と き
子ども読書の日記念イベント 2022 スタンダードブック～20 年以上読み継がれてきた絵本～日本編①〔再掲〕	61 冊	4 月 1 日(金)～6 月 29 日(水)
スタンダードブック 海外編①	56 冊	7 月 1 日(金)～9 月 28 日(水)
スタンダードブック 日本編②	60 冊	9 月 30 日(金)～12 月 21 日(水)
スタンダードブック 海外編②	48 冊	12 月 23 日(金)～R5 年 3 月 29 日(水)
児童 BOX 特設「動物のえほん」	35 冊	4 月 1 日(金)～4 月 27 日(水)
児童 BOX 特設「ぬいぐるみのほん」	20 冊	4 月 29 日(金・祝)～5 月 25 日(水)
児童 BOX 特設「家族のえほん」	34 冊	5 月 27 日(金)～6 月 29 日(水)
児童 BOX 特設「星のほん」	19 冊	7 月 1 日(金)～7 月 27 日(水)
児童 BOX 特設「平和のえほん」	56 冊	7 月 29 日(金)～8 月 24 日(水)
児童 BOX 特設「命のえほん」	24 冊	8 月 26 日(金)～9 月 28 日(水)
児童 BOX 特設「おばけのえほん(ハロウィン)」	47 冊	9 月 30 日(金)～10 月 26 日(水)
児童 BOX 特設人権を考える絵本	20 冊	10 月 28 日(金)～11 月 23 日(水・祝)
児童 BOX 特設クリスマスのえほん	105 冊	11 月 25 日(金)～12 月 21 日(水)
児童プチ特設「節分のほん」	15 冊	R5 年 1 月 27 日(金)～2 月 23 日(木・祝)
児童 BOX 特設「ひなまつりのほん」	23 冊	R5 年 2 月 25 日(土)～3 月 29 日(水)

ウ 特設（YA：ヤングアダルト）

展 示 名	内 容	と き
渡韓ごっこを楽しもう	日本に居ながら韓国に行った気分を味わう「渡韓ごっこ」が流行していることから、韓国の料理やお菓子、韓国語等の渡韓ごっこをテーマにした本や写真の撮り方の本 29 冊の展示と貸出しを行いました。	4 月 1 日(金)～ 5 月 25 日(水)
図書館 de ボードゲーム	ボードゲームの体験イベントに合わせて関連する本 54 冊の展示と貸出しを行いました。	5 月 27 日(金)～ 6 月 29 日(水)
読書感想文におすすめの本	中学生・高校生におすすめの読書感想文課題図書と読書感想文の書き方の本 55 冊の展示・貸出しを行いました。	7 月 1 日(金)～ 8 月 24 日(水)
いとをかし！平安時代	古典に苦手意識がある人にも興味を持ってもらえるように平安時代を舞台にした小説、漫画等 80 冊の展示・貸出しを行いました。	8 月 26 日(金)～ 10 月 26 日(水)
海の世界は謎でいっぱい	「海」に関する様々なジャンルの本（深海生物、海上保安、海に沈んだ遺跡、海を舞台にした小説等）があることを周知するため、55 冊の展示・貸出しを行いました。	10 月 28 日(金)～ 12 月 21 日(水)
異形・異能のモノたち	超能力に関する本や超能力を扱う主人公が出てくる小説、または鬼や吸血鬼など異形のものをテーマにした本 96 冊の展示・貸出しを行いました。	12 月 23 日(金)～ R5 年 3 月 29 日(水)

エ 常設展示

展 示 名	内 容
SDG s ってなんだろう	市内小中学校、特別支援学校が取り組む「ESD」や「SDG s」に関する資料を集めて展示・貸出しを行っています。
認知症コーナー 「認知症って？」	認知症にやさしい図書館&博物館プロジェクトとして、認知症に関する医療、介護、体験記などの関連本、地域の認知症に関する情報や資料を集めて展示しています。
科学道 100 冊ジュニア	理化学研究所と、本の可能性を追求する編集工学研究所の共同プロジェクト「科学道 100 冊ジュニア」の展示・貸出しを行っています。
内田麟太郎さんコーナー	大牟田市出身の児童文学作家・内田麟太郎の作品や絵本の原画を展示しています。

②行 事

ア イベント的事業

事 業 名	内 容	と き	参加者
図書館 de ボードゲーム	コミュニケーションツールとしてボードゲームが注目されていることから、YA 世代（中学生・高校生）を対象に来館のきっかけ作りとしてボードゲームの体験イベントを行いました。	①6 月 26 日(日) ②11 月 27 日(日)	6 人 4 人

事業名	内 容	と き	参加者
第6回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール	図書館の使い方や物事の調べ方の方法を学ぶ講座を開催し、図書館を使った生涯学習の発展に努めるためにコンクールを行いました。応募された作品は、審査・表彰を行い、その後全国コンクールへ出品しました。	作品募集期間 6月14日(火)～ 9月28日(水) 表彰式 11月23日(水・祝)	応募数 小学生の部 97点 中学生の部 0点
「乙女の本棚」パネル展	リットーミュージックの協力により、中学生・高校生に人気のシリーズ「乙女の本棚」のイラストパネル展と関連本の展示・貸出しを行いました。	7月1日(金)～ 8月24日(水)	—
動物愛護パネル展	保健衛生課の動物愛護のパネルの展示に合わせ、動物愛護に関する本17冊の展示・貸出しを行いました。	8月26日(金)～ 9月28日(水)	—
動物愛護おはなし会	保健衛生課による動物愛護の話と関連する絵本の読み聞かせを合わせたおはなし会を実施しました。	9月23日(金・祝)	3人
理科読「音」	科学の本への興味関心のきっかけづくりとして、理科実験と科学絵本の読み聞かせを組み合わせた「理科読」を開催しました。	11月13日(日)	15人
「税を考える週間」展	大牟田税務署の協力のもと、税に関する啓発チラシ・ポスターのほかコンクールで受賞した作文の展示と税金やお金に関する本15冊の展示・貸出しを行いました。	11月10日(木)～ 11月17日(木)	—
科学広場 in おおむたしりつとしょかん 2022	子どもたちに科学の楽しさを体験する機会を提供するイベントを実行委員会(事務局)として開催しました。	9月30日(金)～ 12月21日(水)	出展数 5校 参加者 212人
バリアフリー映画上映会	視覚や聴覚に障害があっても同じように映画を楽しめるよう、字幕と音声ガイドを使用した映像作品の上映を行いました。	R5年2月12日(日)	2人

イ 講座及び研修会

(ア) 第5回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール応援教室

内 容	講 師	と き	受講者
図書館を使った調べ方を学ぼう ①低学年向け ②高学年向け	講師：図書館スタッフ	①7月17日(日) ②7月31日(日)	2人 3人

(イ) その他

内 容	講 師	と き	受講者
ボードゲーム等体験会	熊本県立図書館司書	10月21日(金)	9人

《スポーツ施設》〔スポーツ推進室〕

人々の健康に対する関心の高まりとともにスポーツ参加への関心も高く、身近に利用できる安全で快適性が高いスポーツ施設が望まれています。市民や利用者の健康保持と体力増進のためにスポーツ施設の充実を行い、活用していきます。

1 体育施設の管理運営

体育施設 7 施設（市民体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、武道場、笹林庭球コート、第二市民体育館、第二グラウンド）については、H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 2 年度から R 5 年度までの 4 年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定しています。

同法人は、競技の専門知識・大会運営のノウハウ・各団体との連絡や協力体制を活かした各種スポーツ事業の実施により社会体育の普及促進に寄与しており、本市では、事業の計画的な実施状況や必要な保守点検業務の実施状況などについて、指定管理者からの聞き取りや月例報告書などによるモニタリングを行い、随時協議・連携を行っています。

延命プールについては、H 2 0 年度から指定管理者制度を導入しており、R 4 年度から R 5 年度までの 2 年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定し、プール開場中は各種イベントの実施や施設の衛生面や利用者の安全管理に努めています。

2 利用状況

（単位：人）

区 分		R2 年度	R3 年度	R4 年度
延命球場		10,825	11,213	14,044
市民体育館		57,895	50,051	82,642
御大典記念グラウンド		31,164	29,025	47,414
延命プール		4,882	7,576	10,443
武道場		2,620	2,351	3,668
宅峰中学校弓道場（※1）		4,228	3,920	4,247
第二市民体育館		23,190	24,501	31,157
笹林庭球コート		3,182	2,629	3,408
第二グラウンド		7,853	6,114	9,862
諏訪公園テニスコート		10,217	9,767	14,956
大牟田港 緑地運動 公 園 （※2）	ソフトボール場	3,546	4,195	4,836
	野球場	4,575	4,723	6,123
	運動広場	18,532	18,377	21,811
	庭球場	13,407	10,149	14,558
甘木中学校夜間照明		577	538	1,013
手鎌北町公園テニスコート		201	187	549
合 計		196,894	185,316	270,731

※1 宅峰中学校弓道場については、一般利用分のみの数値を計上しています。

※2 大牟田港緑地運動公園は県営施設ですが、市が管理委託を行っており、参考に記載しています。

3 施設の維持補修等

スポーツ施設を適切に管理運営するため、老朽化した箇所や設備について補修工事等を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図る工事を実施しました。

4 評価・課題

体育施設は、健康で豊かなスポーツライフを送るため、気軽に利用できる施設として親しめるよう、利用者の拡大や事業の充実に努めています。

R4年度の施設利用者数は、全施設で前年度を上回りました。これは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら運動・スポーツを実施できたためと考えられます。

今後も、利用者が気軽に利用できるよう施設情報等の提供を行うことにより、利用者数の増加に努めていきます。

市民体育館をはじめ、本市の体育施設は老朽化が著しいため、施設の機能維持や、利用者に対して安全性・快適性をどのように確保していくかが課題となっており、今後は、主に機能性・安全性の向上に係る工事や設備の更新を計画的に行っていきます。

〔指定・登録文化財一覧〕

(令和5年3月31日現在)

区 分		種 類	指定・登録年月日	文化財の名称	所 在 地
国指定	1	建 造 物 (重要文化財)	S 4 5 . 6 . 1 7	早鐘眼鏡橋 (附 旧水路 1 0 m)	早鐘町 1 2 8 番地
	2	〃	H 1 0 . 5 . 1	三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設	宮原町 1 丁目 8 6 番地 3
	3	史 跡	S 3 6 . 4 . 5	萩ノ尾古墳	東萩尾町 2 8 9 番地 ほか
	4	〃	S 5 2 . 2 . 1 7	潜塚古墳	黄金町 1 丁目 4 6 9 番地 ほか
	5	〃	H 1 2 . 1 . 1 9 (追加指定 H25.3.27) (追加指定 H26.10.6) (追加指定 H28.10.3)	三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	宮原町 1 丁目 8 6 番地 3 ほか 桜町 2 0 1 番地 2 ほか 新港町 1 番地 2 5
国登録	6	建 造 物	H 1 0 . 1 . 1 6	旧三池炭鉱宮浦坑煙突	西宮浦町 1 3 2 番地 8
	7	〃	H 1 2 . 1 2 . 4	旧三池炭鉱三川電鉄変電所 (信号電材株式会社本社)	新港町 1 番地 3 0
	8	〃	H 1 7 . 1 2 . 2 6	大牟田市役所本庁舎旧館	有明町 2 丁目 3 番地
	9	〃	R 3 . 2 . 4	古賀家住宅主屋	谷町 1 番地 1 2 ほか
県指定	10	史 跡	H 1 5 . 2 . 5	黒崎観世音塚古墳・経塚	岬 2 6 0 8 番地 2 ほか
	11	建 造 物	H 8 . 5 . 3 1	旧三池集治監外塀及び石垣	上官町 4 丁目 7 7 番地 三池工業高等学校
	12	〃	H 2 6 . 3 . 1 4	旧長崎税関三池税関支署	新港町 1 番地 2 5
	13	彫 刻	S 3 3 . 4 . 3	木造薬師如来坐像	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺境内
	14	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	木造慈覚大師坐像	〃
	15	考古資料	S 3 2 . 8 . 1 3	黒崎山舟形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	16	〃	S 3 3 . 4 . 3	宮原石層塔残欠	宮原町 1 丁目 1 9 1 番地 駛馬天満宮境内
	17	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	不動明王板碑 (附 梵字阿弥陀三尊板碑)	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺境内
	18	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	石造六地藏	大字倉永 8 7 2 番地 法雲寺境内
	19	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	南無阿弥陀仏名号板碑 (附 四面仏石塔残欠)	藤田町 7 4 3 番地 藤田天満宮境内
	20	〃	S 3 4 . 3 . 3 1	石甲	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館 (九州国立博物館へ貸出・展示)
	21	〃	S 3 6 . 4 . 1 8	今山普光寺ならびに定林寺石塔群	大字今山字本村、字大塔
	22	〃	S 3 7 . 4 . 1 9	宮原天満宮石幢残欠	宮原町 1 丁目 1 9 1 番地 駛馬天満宮境内
	23	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	蜜柑山舟形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	24	〃	S 4 5 . 5 . 2	乙宮神社の石殿	宮坂町 2 0 番地 乙宮神社境内
	25	〃	S 5 7 . 4 . 1	倉永古墳壁画残欠	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	26	〃	S 5 7 . 4 . 1	高塚舟形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	27	〃	S 5 7 . 4 . 1	古城山家形石棺	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	28	有形民俗文化財	S 3 8 . 1 . 1 6	湯谷柳川領境界石	大字四ヶ字湯谷
	29	天然記念物	S 3 3 . 4 . 3	臥龍梅	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺境内
	30	〃	S 5 4 . 3 . 6	土穴のエノキ	大字櫟野字土穴 9 2 8 番地
	31	〃	H 1 8 . 3 . 3	米ノ山断層及び石炭層の露頭	大字櫟野字石坂 2 9 6 4 焼石山公園内
市指定	32	建 造 物	H 1 7 . 1 2 . 9	三井港倶楽部	西港町 2 丁目 6 番
	33	彫 刻	H 5 . 3 . 1 0	普光寺仁王像	大字今山 2 5 3 8 番地 普光寺堂内
	34	〃	H 1 2 . 4 . 1 4	教楽来天満神社石造狛犬	大字教楽来字権現堂 1 1 1 4 番地 教楽来天満神社
	35	考古資料	S 3 4 . 1 2 . 1 2	四方佛塔 (附 五輪塔地輪)	宝坂町 2 丁目 2 番地 3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	36	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	大間劫月院跡の石造遺物	大字三池 2 2 6 番地
	37	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	明正寺六地藏幢	大字三池 7 7 9 番地 明正寺境内
	38	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	定林寺中興開山塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	39	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	本村の四仏塔婆	大字勝立字本村
	40	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	三池氏供養塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	41	有形民俗文化財	S 3 7 . 7 . 1 6	焚石山鎮守社稻荷石祠	岬町 6 番地 2 3 大牟田市石炭産業科学館
	42	無形民俗文化財	S 5 0 . 3 . 1 8	岡天満宮祭礼行事	大字上内 岡・坂井地区
	43	無形民俗文化財	H 2 2 . 4 . 1 4	三池地区祇園社祭礼行事 “三池の大蛇山”	大字三池・大字新町
	44	史 跡	S 3 7 . 7 . 1 6	歴代三池藩主墓地	大字今山 2 5 8 5 番地 紹運寺境内ほか
	45	〃	S 3 8 . 7 . 1 1	上内立花内膳家墓地	大字上内字柗 2 2 4 8 番地
	46	天然記念物	S 4 1 . 9 . 3 0	上内八幡宮のイチイガシ	大字上内 1 5 2 8 番地 上内八幡宮境内
	47	〃	S 4 4 . 6 . 1 1	玉垂神社の大樟	大字岬 2 3 6 3 番地 玉垂神社境内
	48	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	下正原のシラカシ	大字勝立字下正原 1 6 8 5 番地
	49	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	一ノ尾のアラカシ	大字教楽来字一ノ尾 8 4 1 番地

令和5年度版（令和4年度実績）

大牟田の教育

令和5年10月

発行 大牟田市教育委員会
大牟田市
編集 大牟田市教育委員会事務局
総務課 教育みらい創造室

〒836 - 8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
電話 0944 - 41 - 2867 ファクシミリ 0944 - 41 - 2862
電子メール e-kyoikusoumu01@city.omuta.fukuoka.jp
大牟田市教育委員会ホームページ
<http://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/>